



DB12

ASTONMARTIN.COM®

ようこそ

お客様のアストンマーティン DB12 について

本書の目的は、車両の操作方法やシステムの制御方法を分かりやすく解説することです。運転開始前にお読みください。本書は型式承認にとって不可欠な書類のため、常に車内に保管してください。

警告・注意・注記

本書では、オーナーの皆様の注意を喚起するために、重要度に応じて「警告」、「注意」、「注記」の表記を使用しています。

⚠ 警告：人身事故を防ぐために厳守すべき事項を示します。

⚡ 注意：車両の損傷を防ぐために厳守すべき事項を示します。

📖 注記：車両の操作中に発生するトラブルを回避するために役立つヒントを示します。

部品の位置

車両各部の位置はすべて運転席を基準にしています。例えばこの図の給油フラップは、車両の後部右側に位置しています。



車両の識別

車両識別番号 (VIN) は、フロント ガラス下部の左隅に記載されています。



さらに、助手席側ドアシャット パネルには VIN プレートが取り付けられており、右側フットウェルには VIN ガレーザーで刻印されています。

 フロア パネルに刻印されている VIN を確認するには、前側からカーペットをめくり上げ、防音材を持ち上げます。

データの記録

本車両にはイベントデータレコーダー (EDR) システムが搭載されています。本車両の電子モジュールは以下をはじめとする詳細データを記録します。

- ・ 拘束システムの使用 (ドライバーおよび乗員のシートベルトなど)
- ・ 車両の各種システム / モジュールのパフォーマンスに関する情報
- ・ エンジン、スロットル、ステアリング、ブレーキ、その他システムのステータス情報

これらのシステムには、車速 (インストルメント クラスタに表示されたドライバー向けの表示値の記録を含む)、ステアリング入力、ブレーキ / スロットルの使用状態を計測したドライバーの運転状況に関する情報が含まれている場合があります。一部の情報は、通常操作や衝突時 (またはそれに近い状況) に保存されます。

以下の組織はこれらの情報を読み出して使用することができます。

- ・ アストンマーティン
- ・ 点検修理施設
- ・ 警察当局または政府関連機関
- ・ 情報を閲覧する権限を有するか、お客様が同意した他の組織

EDR の記録データを読み取るには、車両または EDR に専用装置を接続する必要があります。車両メーカー以外に、専用装置を所有する警察当局などの第三者が車両または EDR に接続して情報を読み取る場合もあります。

イベントデータの保存

使い捨て拘束装置が展開した結果として保存されたイベントはロックされ、上書きできなくなります。トリガー イベントのしきい値 (150 ミリ秒以下で生じた 8 km/h (5 mph) の速度変化) と展開イベント間に記録されたイベントはロックされ、上書きされません。

データはまず空の記録エリアに保存されます。全 6 個の記録エリアが埋まると、最も古い、ロックされていないイベントが先の上書きされます。全 6 件のイベントが書き込まれ、ロックされると、それ以上のイベントは記録できなくなります。

4 件以上のイベントがロックされた後は、故障コードが記録され、警告メッセージが表示されます。アストンマーティン ディーラーまでご連絡ください。

安全面の不具合の報告

車両に衝突事故や負傷 / 死亡事故を招くおそれがある安全面の不具合があると考えられる場合は、アストンマーティン代理店またはアストンマーティン顧客サービス部門（以下参照）まで早急にご連絡ください。

Aston Martin Lagonda Limited
クライアントサービス
Banbury Road
Gaydon
Warwick
CV35 0DB
England
Telephone(電話) :
+44 (0)1926 644700

安全運転のために

- ・常にシートベルトを着用してください。
- ・酒類または薬物摂取の影響がある場合は、絶対に運転しないでください。
- ・すべての交通法規および速度制限を厳守してください。いかなる場合でも、定められた速度制限、または状況により妥当であると考えられる速度を超えて運転しないでください。
- ・滑りやすい路面、濡れた路面では、特に注意して運転してください。
- ・本車両は高性能車であり、操作特性に慣れるには経験が必要です。車両に慣れるよう努め、常にご自分の限界や車両の限界を認識しながら慎重に運転してください。他の高性能車両と同様、本車両は適切に操縦しないと事故や負傷を招きます。
- ・本書記載の点検整備スケジュールに従ってください。
- ・本車両は絶対に経験の浅いドライバーには運転させないでください。

 **必ずペダル類の効率的な操作に適した靴を着用してください。フロアマットなどがペダルの下側に挟まってペダルの動きが妨げられていないか確認してください。**

サイバー セキュリティ システム

本車両のサイバー セキュリティ システムは、接続されている車両コンポーネントに対する悪意あるマルウェア ソフトウェアからの不正アクセス リスクを低減するよう設計されています。そうしたリスクは車両制御モジュールに対するインターネット経由の攻撃の形態をとり、機能に影響を及ぼしたり、データにアクセスしたりします。

コネクテッド カー コンポーネント

本車両のいくつかのコンポーネントはコネクテッド カー システムを構成しており、マルチメディアや診断などの多くの機能向けに外部デバイスやインターネットと通信します。そうしたコンポーネントはサイバー セキュリティの中核部であり、外部からの不正アクセスからデバイスを保護するためにさまざまな対応を行います。

コネクテッド カー デバイスの例には、以下が含まれます：

- オン ボード診断 (OBD) ソケット。
- テレマティクス ゲートウェイ モジュール。
- 携帯電話インタフェースおよび関連するコネクテッド カー アプリ
- Bluetooth® システム
- USB ポート
- セキュリティ トラッカー

セキュリティ アップデート

本車両のソフトウェアとセキュリティ システムには、継続的な改善と開発が行われています。その一環として、本車両内のコネクテッド カー システムのセキュリティ、安定性、作動速度を向上させるために、定期的なソフトウェア アップデートが必要になることがあります。

リスクの低減

! インターネットに接続可能か、パブリック ネットワークまたはプライベート ネットワークで使用されているコンピュータ、モバイル デバイス、データ メディアには、不正なデータやマルウェアにより影響を受けるリスクがあります。そうしたデバイスを保護するために、常に適切な対応 (例えば適切な最新のウイルス対策プログラムの導入) を行ってください。

車両のシステムや機能への不正アクセスのリスクを低減するために、車両の点検、整備、修理は必ずアストンマーティンディーラーにご依頼ください。さらに、マルウェア、破損データ、不正なデータが含まれていることが判明している USB メモリーやモバイル デバイスは絶対に車両に使用しないでください。

セキュリティ システムが導入されていても、マルウェアが制御モジュールを誤作動させ、一部の車両機能に影響を及ぼすおそれがあります。運転中に車両が影響を受けたときやシステムの動作が通常とは異なるときは、車両を制御しながら減速し、最寄りのアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

! マルウェアは、モジュール、インフォテインメント システム、接続済みデバイス (モバイル デバイスや USB メディアなど) に保存されているデータや情報にもアクセスするおそれもあります。





アストンマーティン オーナーズ クラブ (AMOC)

アストンマーティン・オーナーズクラブへのご招待

世界で最も高級なカークラブの一つ、アストンマーティン・オーナーズクラブ (AMOC) には、1930 年代のスポーティングスピリットが今も息づいています。偉大なる伝統を誇る象徴的なクルマへの想いに、世界ほぼ 60 力国の愛好家たちが一堂に会します。興味を同じくする他のオーナーの皆様と、夕刻の社交イベントや週末のお出掛け、自動車旅行など、さまざまな活動をお楽しみください。対抗心が強い方のためには、AMOC コンクールが開かれ、美しいクルマをこよなく愛される方々のベンチマークとなっています。また、スピードが必要とおっしゃる方のためには、トラックデーイベントやスプリントレース、ヒルクライムが企画されるほか、シルバーストーンやグッドウッド、アメリカのライムロックといったレース場でのサーキットレースも開催されます。



Aston Martin Owners' Club

Drayton St. Leonard

Wallingford

Oxfordshire

England

OX10 7BG

+44 (0) 1865 400 400

E メール : hqstaff@amoc.org

ウェブサイト : www.amoc.org

アストンマーティン ヘリテージ トラスト

アストンマーティン ヘリテージ トラストは、一世紀以上にも及ぶアストンマーティンの歴史を保存し、振興・発展させるための教育慈善活動を行っています。自動車博物館、歴史的価値の高い資料や所蔵品などで構成されるトラストのコレクションは、きめ細かに復元された第2種*重要文化財の車庫(英国オックスフォード、オーナーズクラブと共同所有)に収められています。オーナーズクラブの会員の皆様は、トラストの会員およびサポーターとして、ウェブサイトログインして詳細情報を検索するだけでなく、トラストを訪問し、コレクションをお楽しみいただくこともできます。



Aston Martin Heritage Trust

Drayton St. Leonard

Wallingford

Oxfordshire

England

OX10 7BG

Telephone : +44 (0) 1865 400 414

Eメール : secretary@amht.org.uk

ウェブサイト : www.amht.org.uk



簡易スタート	1
車両セキュリティ	2
運転前に	3
操作ボタン	4
運転操作	5
エアコン	6
電話システム	7
コネクテッドカー	8
メディアシステム	9
ナビゲーション	10
コンバーチブル ルーフ	11
車両および車両設定	12
保守および技術データ	13
点検整備担当者	A
アストンマーティン保証サービス	B
緊急サービス	C
認可と適合	D
索引	E

本書には最新の情報を正確に記載するよう万全を期しております。しかしながら、本書を提供する当社やディーラーは、いかなる状況下においても内容の誤りあるいはその結果として生じる損害には責任を負いかねます。

本書に記載されたソフトウェア手順は、出版時点において正確なものです。車両使用期間における継続的な更新により、ソフトウェアが変更される場合があります。詳しくは、アストンマーティンディーラーまでお問い合わせください。

© Copyright Aston Martin Lagonda Limited, 2023. 無断複写・転載を禁じます。本書は、車両の付属品として提供されるもので、個人の使用を目的とする非商用文書です。アストンマーティン・ラゴンダ社から書面による事前許可を得ることなく、本書の一部または全部を電子的、機械的、複写、録音、その他の方法で、検索可能なシステムに保存、再生、あるいは伝送することを一切禁止します。

弊社は、製品の継続的な改善方針に則って予告なしに仕様を変更する権利を有しています。

Aston Martin Lagonda Limited

Banbury Road

Gaydon

Warwick

CV35 0DB

England

Telephone (電話) : +44 (0)1926 644300

第 2 版 : 2023 年 8 月

部品番号 : RY53-19A321-FB

バーコードは AML 仕様 AMES000043 に適合

簡易スタート

車両キー	1.2
ドライビング ポジション	1.3
車両制御部	1.5
インフォテインメント	1.9

車両キー

キー上のボタンの操作法は？



[1] ロック: 車両がロックされ、セキュリティシステムが起動します。



[2] ロック解除: 運転席ドアまたは車両のロックが解除されます。



[3] テッキリッド開放: 押し続けると、テッキリッドのラッチが解除されます。



グローバル クローズ

 ボタンを押し続けると、全ドアのロックが解除され、全ウィンドウが開きます。

 ボタンを押し続けると、全ドアがロックされ、全ウィンドウが閉まります。

Volante: グローバル クローズ機能では、コンバーチブルルーフも開閉します。

キーレス エントリー

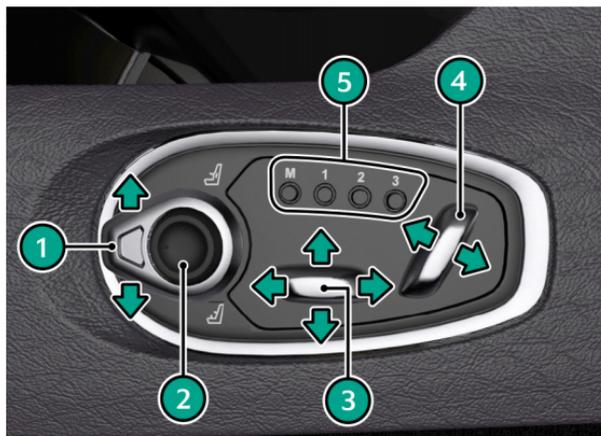
車両を解錠するには、ドア ハンドルの前端を奥まで押し込みます。システムが有効な信号を認識すると、ロックが解除されてドアが開きます。

車両を施錠するには、全ドアを開けてからドア ハンドルの後端を押し、ロックスイッチを作動させます。

ドライビング ポジション

シートの調整方法は？

パワーシートの調整



[1]: ボルスター/ランバー セレクタ スイッチ (オプション)

[2]: ボルスター/ランバー調整 (オプション)

[3]: シート クッション (座面) の調整

[4]: 背もたれ調整

[5]: メモリー シート ポジション

マニュアルシートの調整

(パフォーマンスシートのみ)

リリースストラップを引くと、座面を調整できます。



リアシートへのアクセス方法は？

リリースストラップ (A) を引くと、背もたれが解除されます。ストラップを引き続けると、シート後部を前側にスライドできます。



ドアスイッチの操作法は？



[A]: ドア ミラー セレクタ

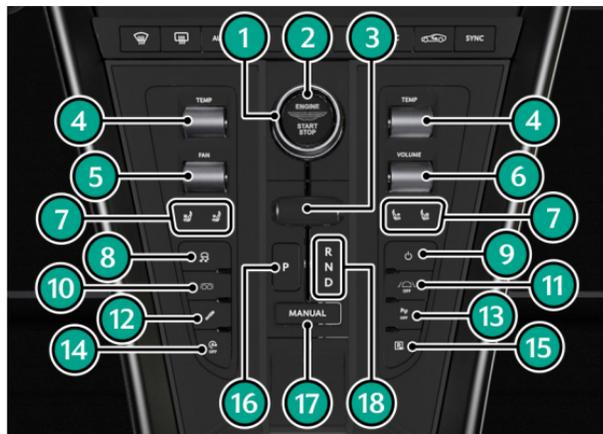
[B]: ドア ミラー 調整

[C]: ウィンドウ スイッチ

[D]: デッキリッド (長押し)

車両制御部

センター コンソール スイッチの操作法は？



- [1] **ドライブモードセレクタ**: 回転させてドライブモードを選択します。
- [2] **ENGINE START/STOP**: 押すとエンジンが始動 / 停止します。
- [3] **トランスミッションセレクタ**: トランスミッションモードを選択します。
- [4] **温度**: クライメートコントロールの設定温度が調整されます。
- [5] **風量**: 風量が調整されます。

- [6] **音量**: オーディオシステムの音量が調整されます。押すと、オーディオが消音状態になります。
- [7] **シートヒーター/クーラー**: 押すと、シートヒーターまたはクーラーの強さが変更されます。
- [8] **エレクトロニックスタビリティコントロール**: 押すと、ESPモードが切り替わります。
- [9] **インフォテインメントON/OFF**: インフォテインメントシステムがONまたはOFFになります。
- [10] **エキゾーストモード**: 押すと、エキゾーストモードが切り替わります。
- [11] **車線キープアシスト**: 車線キープアシスト機能が起動 / 停止します。
- [12] **アダプティブダンピング**: 押すと、アダプティブダンピングモードが切り替わります。
- [13] **駐車距離制御**: 押すと、駐車距離制御 (PDC) センサーが起動 / 停止します。
- [14] **ストップ/スタート**: エコストップ / スタート機能が起動 / 停止します。
- [15] **カメラ**: インフォテインメントシステム画面がカメラシステムに切り替わります。
- [16] **パーキング選択**: 押すと、P (パーキング) が選択されます。
- [17] **マニュアルモード**: 押すと、マニュアルトランスミッションモードに入ります。
- [18] **トランスミッションステータスインジケータ**: 選択されているトランスミッションモードが表示されます。

ステアリング ホイール スイッチの操作法は？ スイッチ類



[1] 取り消し:

タップすると、設定速度が取り消されます。

[2] 距離の調整:

スワイプすると、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 作動中の先行車両との車間距離が調整されます。

[3] 音声制御開始:

タップしてモバイル デバイスで音声制御システムを使用します。

[4] RES (再開):

タップして速度制御システムの設定速度を再開するか、ACC に新たな制限速度を採用します。

[5] 速度設定スイッチ:

ローラー ダイヤルを回して ACC または可変速度リミッターの設定速度を調整します。スイッチを押して速度を設定します。

[6] 速度制御システムの選択:

タップすると、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) と可変速度リミッター機能の切り替えができます ('速度制御システム', 5.14 ページ参照)。

[7] ホームメニュー:

タップすると、インストルメント クラスタ メニューが開きます('インストルメント クラスタ メニュー', 4.9 ページ参照)。

[8] メニュースクロール ボタン:

メニューをスワイプし、インストルメント クラスタ メニュー間を移動します。本ボタンを押してメニュー項目を選択します(本書ではこの操作を「OKを押す」と表記します)。

[9] 戻る:

タップすると、インストルメント クラスタ メニューの一段階前の項目に戻ります。

[10] 通話:

タップすると、着信に応答されるか、最後にダイヤルした番号が開きます。通話を終了するか、着信を拒否するには再び押します。('通話', 7.4 ページ参照)。

[11] 音量:

本スクロール ホイールを使用してオーディオシステムの音量を調整します。押すと、オーディオが消音状態になります。

[12] 次のトラック:

タップすると、次のオーディオトラックまでスキップされます。

トランスミッション パドル

いずれかのパドルを手前に引くと、セミアートマチックトランスミッションモードに入ります。



セミアートマチックまたはマニュアルモードでは、パドルを操作して変速します。

[1]:ダウンシフトパドル

[2]:アップシフトパドル

ステークコントロールの操作法は？

方向指示灯とヘッドライトビーム



ハイビーム

ステーク（レバー）を押すと、ハイビームヘッドライトが点灯します。手前に引いて元の位置に戻すと、ロービームヘッドライトに戻ります。

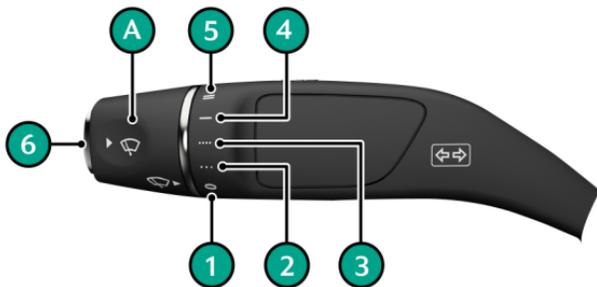
ヘッドライト点滅

ステークを手前に引くと、ハイビームヘッドライトが点滅します。

方向指示灯

押し上げると右側方向指示灯、押し下げると左側方向指示灯がしばらく点滅します。ロックされる位置までレバーを押すと、選択された側の方向指示灯が点滅を続けます。

ワイパー制御部



拭き取り速度セレクトタ (A) を回し、拭き取り頻度を選択します。

[1]:フロントワイパー停止

[2]:間欠作動 (レインセンサー低感度)

[3]:間欠作動 (レインセンサー高感度)

[4]:連続作動 (低速)

[5]:連続作動 (高速)

[6]: 押すと、一回作動します。押し続けると、フロントガラスウォッシャが働きます。

エクステリア ライトの点灯法は？



[1]: 左側駐車灯

[2]: 右側駐車灯

[3]: サイドライト (ナンバープレート ランプを含む)

[4]: オートヘッドライトモード

[5]: ロービームヘッドライト

[6]: リアフォグランプ

インフォテインメント

Bluetooth デバイスのペアリング方法？

新たなデバイスを追加するには、メインメニューから  を選択します。接続可能なデバイスが自動的に検索されます。

使用可能なデバイスが一覧表示され、個々のデバイスに接続する選択肢が表示されます。デバイス マネージャボタンは、個々のデバイスを管理する目的にも使用できます。

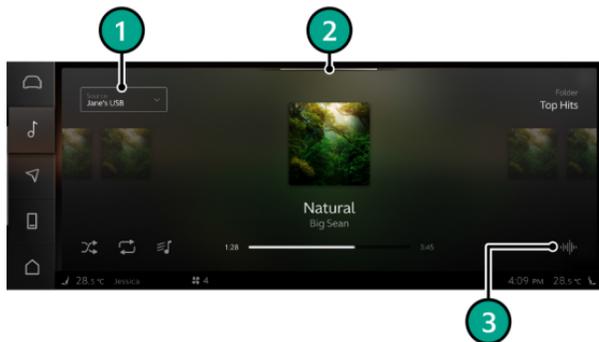
デバイスを接続するには、一覧からデバイスを選択し、[connect (接続)] をタップします。

Bluetooth デバイス管理方法の詳細については ('Bluetooth 対応デバイスの管理', 7.2 ページ参照)

メディアシステムの操作法は？

 をタップすると、メディアシステムにアクセスできます。

再生中画面には、使用中のソースメディアに関係なく表示される共通の要素がいくつかあります。個々のメディアの制御については、各関連セクションで取り上げます。



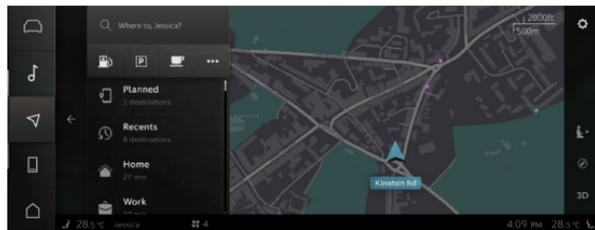
[1] SOURCE (ソース): タップするメディアソースを変更できます ('Source (ソース)', 9.4 ページ参照)。

[2] 最小化: 下方向にスワイプすると、メディア画面が最小化されて最下部のバーに表示されます。

[3] 設定: 設定メニューが開きます。('サウンド設定', 9.9 ページ参照)。

ナビゲーションの目的地を設定するには？

 をタップすると、ナビゲーションシステムにアクセスできます。



Where to(目的地)? テキストボックスをタップすると、住所を入力したり、自宅や職場などの保存済みの場所を選択したりできます。

車両セキュリティ

車両キー	2.2
ロック解除と開放	2.6
緊急アクセスと始動	2.11
盗難防止システム	2.13
Homelink® ワイヤレス コントロール	2.15

車両キー

本車両には、2本の車両キーが付属しています。2本目のキーは安全な場所に保管しておいてください。車両キーは絶対に車内に放置しないでください。

⚠ 警告：ブレーキペダルを踏んでSTARTボタンを押すと、車内の誰でもエンジンを始動できます。車両キーを車内に残したまま、絶対に幼いお子様やペットを車内に置き去りにしないでください。

📖 車両キーを紛失したときは、アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

📖 車内に車両キーがない状態でエンジンを始動しようとすると、インストルメントパネルに「Key Not Detected(キー未検出)」というメッセージが表示されます。このメッセージは、キーレス始動システムによって車両キーの電池残量不足が検知されたときにも表示されます。

⚠ 警告：ペースメーカーなどの埋め込み型医療機器を装着している場合は、スマートキーシステム装備車両の使用時に注意が必要です。そうした医療機器を車載トランスミッター(送信機)に近付けないでください。近付けると、スマートキーシステムと医療機器が干渉するおそれがあります。

干渉によって医療機器が誤作動し、重傷を負ったり、死に至ったりする可能性があります。



車両キーの機能



[1] ロック: 車両がロックされ、セキュリティシステムが起動します。

[2] ロック解除: 運転席ドアまたは車両のロックが解除されます。

[3] デッキリッド開放: 押し続けると、デッキリッドのラッチが解除されます。



ワンステップ ロック解除

車両キーを設定し、 を 1 回押したときに、運転席ドアのみのロックを解除するか、全ドアのロックを解除するかを選択できます。

運転席ドアのみのロック解除と全ドアのロック解除間の切り替えは、 と  を同時に 6 秒間押し続けます。

 運転席ドアのみのロックを解除するようキーを設定したときは、 を再び押すと全ドアのロックが解除されません。

 給油フラップのロックは影響を受けません。

 ワンステップロック解除は、車両キーを使用してのみ設定できます。

車両キーの電池

⚠ 警告：不適切なバッテリー（電池）を使用すると、車両キーが正常に働かなくなるか、火災や爆発が生じることがあります。バッテリー交換時は、必ず適切な種類のバッテリーを使用してください。

⚠ 警告：車両キーには小型電池が内蔵されています。電池を誤飲しないよう注意してください。電池を誤飲すると、窒息したり、内臓に化学物質による重度の火傷を負ったり、死に至ったりする危険があります。新品と使用済み電池は常にお子様手の届かない場所に保管し、お子様に車両キーを操作させないでください。誤飲の疑いがあるときは、直ちに医師の診察を受けてください。

電池の節電機能

車両キー内の電池の消費を抑えるために、車両キーには節電機能が搭載されています。

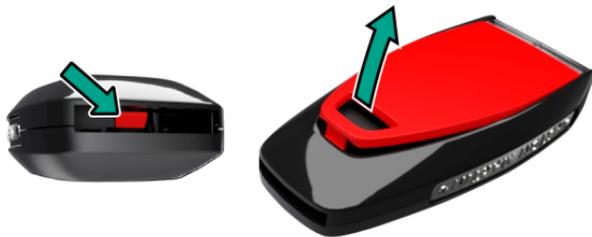
一定時間にわたって動かさないと、車両キーは自動的にOFFになります。

車両キーを手動でOFFにするには、を2回続けてタップします。

電池交換

車両キーの電池を交換するには：

1. 車両キーから緊急キーを取り出します。
2. 緊急キーを使用して車両キーの上部カバーを固定するタブを解除します。



3. 緊急キーで電池トレイを外します。



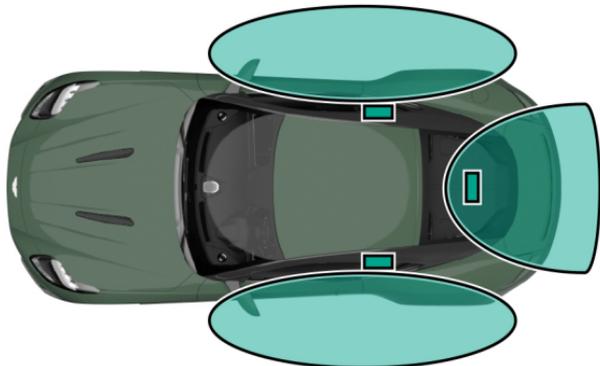
4. 車両キーの電池を交換します。

 CR2032 (ボタン型) 電池を使用してください。



キーレス エントリーの作動範囲

キーレスエントリー（車両の施錠とイグニション）機能は、車両キーがキャビン内にあるか、以下のいずれかの受信範囲内にあるときに働きます。



 キーレスエントリー機能は、車両キーがいずれかの受信範囲内にあれば働きます。例えば、車両キーが後方受信ゾーンにある場合、助手席ドアのロックを解除できます。

ロック解除と開放

車外からのロック解除操作

車両キー使用時

車両から5 m (16 ft) 以内の位置に立ち、を押します。セキュリティシステムが解除され、車両が解錠され、確認のために方向指示灯が点滅します。¹ ドアハンドルがせり出します。ドアハンドルを手前に引くと、ドアが開きます。

 暗い場所でも見やすいように、ドアハンドルには白色LEDが組み込まれています。LEDは、車両のロックが解除されると点灯します。ドアのLEDは40秒が経過するか、車両を再びロックすると消灯します。

グローバルクローズ

 ボタンを押し続けると、全ドアのロックが解除され、全ウィンドウが開きます。

 ボタンを押し続けると、全ドアがロックされ、全ウィンドウが閉まります。

Volante：グローバルクローズ機能では、コンバーチブルルーフもウィンドウと共に開閉します。

¹ 車両設定で確認音を鳴らすようにも設定できます ('Comfort (コンフォート)', 12.5 ページ参照)。

キーレス エントリー 使用時

キーレス エントリー機能が有効な状態でロックを解除するには、(A) の位置を軽く押し、ドア ハンドルを展開させます。ワンステップ ロック解除機能が有効な場合は、運転席ドアだけが開き、2 回目のロック解除操作で助手席ドアが開きます。

車両を施錠するか、発進すると、セリ出し式ハンドルは 25 秒後に格納されます。



セリ出し式ハンドル

車両のロックを解除するたびに、操作性を高めるためにドア ハンドルがドアから展開します。設定すると、セリ出し式ハンドルはワンストップ ロック解除機能の設定に従います。

走行中のドア開放

走行中にドアを開くと、ドアを再び閉めるまでは警告音が鳴り続け、インストルメント クラスタに警告が表示され続けます。

車外からのロック操作

車両キー使用時

全ドアを閉めます。車両から 5 m (16 ft) 以内の位置に立ち、車両キーを車両に向けて **🔒** を押します。方向指示灯が点滅し、すべてのドアがロックされます。車両設定で自動格納ミラーを有効にしているときは、ミラーが格納されます。

🔒 **🔓** を押した際に運転席ドアが開いていたときは、ドアを閉めるまで車両はロックされません。

キーレスエントリー使用時

全ドアを閉めます。ドアハンドルの後端を押すと、ロックスイッチが働きます。方向指示灯が点滅し、すべてのドアがロックされます。車両設定で自動格納ミラーを有効にしているときは、ミラーが格納されます。

インテリアロックスイッチ

マスターロック解除 **🔓** (1) とロック **🔒** (2) の各スイッチを使用してドアのロックとロック解除を行うことができます。



マスターロックスイッチで車両をロックしたときは、ドアハンドルを 1 回引くと全ドアのロックが解除され、操作したドアが開きます。

車両キーで車両をロックしなかったときは、イグニッションコントロールを OFF にしてから 7 分後にマスターロックスイッチが働いて車両がロックされます。

🔓 車両が事故に遭ったときは、ドアは自動的にロック解除されます。

自動ロック機能

セントラル ロック機能は、車速が 15 km/h (9 mph) を超えると自動的に起動するよう設定できます。

オート ロック機能は、車両設定メニューで有効 / 無効に設定できます ('Comfort (コンフォート)', 12.5 ページ参照)。

 オート ロック機能の設定変更は、必ず停車状態で行ってください。

乗降サポート

⚠ 乗降サポート機能は、乗員が車内に閉じ込められたり、負傷したりする原因になることがあります。本機能を使用するときは、ステアリングホイールとの距離を確保してください。

 乗降サポート機能は、ステアリングコラム調整レバーを動かしたり、メモリーポジションを選択したりすると取り消すことができます。

乗り降りが楽になるよう、運転席ドアを開いたときにステアリングホイールを移動させるよう設定できます。

乗降サポートは、車両設定メニューで設定できます ('Comfort (コンフォート)', 12.5 ページ参照)。

デッキリッド

Volante のみ

コンバーチブル ルーフのトノカバーが開いているときは、デッキリッドは操作できません。ラゲージコンパートメントにアクセスするには、コンバーチブルルーフを完全に開くか、閉めてください。

車外からデッキリッドを開くには

車両キーの  (A) を押し続けるとリリースラッチが解除され、デッキリッドが開きます。



  を押したときに車両がロックされていた場合、ドアはロック状態に留まり、セキュリティシステムも起動したままになります。

車内からデッキリッドを開くには

デッキリッド開放ボタン (B) を押し続けます。デッキリッドのラッチが解除されます。リッドを持ち上げて開きます。



デッキリッドを閉めるには

デッキリッドを押し下げ、ラッチを確実に締結します。ラッチが締結されると、リッドは自動的に閉まります。デッキリッドを強く閉めると、自動閉鎖機能は働かなくなります。

車両キーがラゲージ コンパートメント内にある状態でデッキリッドを閉めると、他のドアがロックされていても、ラッチは締結されません。キーをラゲージ コンパートメントから取り出してからでないとデッキリッドはロックできません。2本目のキーが車外の受信範囲内にあると、ラッチが締結され、デッキリッドがロックされます。設定によっては確認音やライトによるロック確認も行われます。

緊急アクセスと始動

緊急キー

車両キーが働かないか、車両バッテリーが完全に上がってしまったときは、緊急キーを使用して車両の施錠や解錠を行うことができます。

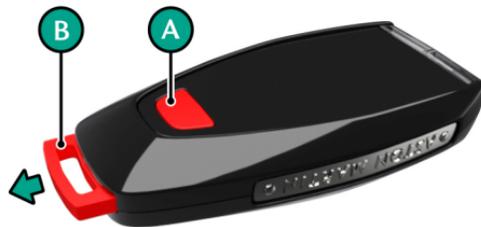
 緊急ドアロックは、常に左側ドアのドアハンドル内にあります。

▼ 注意：バッテリーが上がるとウィンドウが開かなくなるため、ドアを開くのに通常よりも強い力が必要になることがあります。その場合は、ドア開放時にウィンドウ上部を軽く押してください。

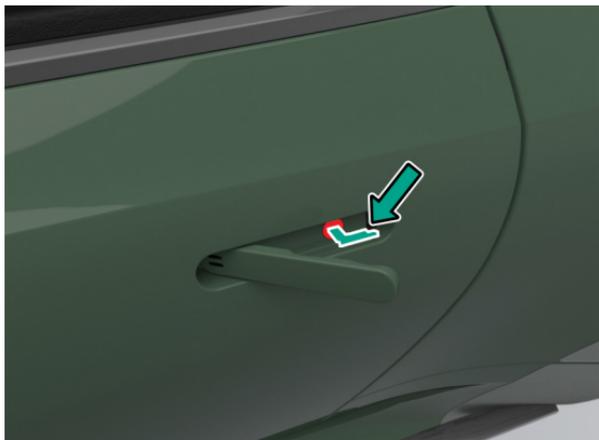
▼ 注意：車両バッテリーが完全に上がった際に緊急キーで操作ができるのは、左側ドアのロック/ロック解除のみです。右側ドアは車内からロック解除できますが、車両に電力がないときは、ドアを再ロックすることはできません。

 車両キーの電池が切れていても、緊急イグニッションスロットにキーを差し込むとエンジンが始動します。

ボタン (A) を押し続けて緊急キー (B) を固定するラチェットを解除し、キーを引き出します。緊急キーは完全に取り出すか、わずかに引き出してキーリングに取り付ける際のループとして使用できます。

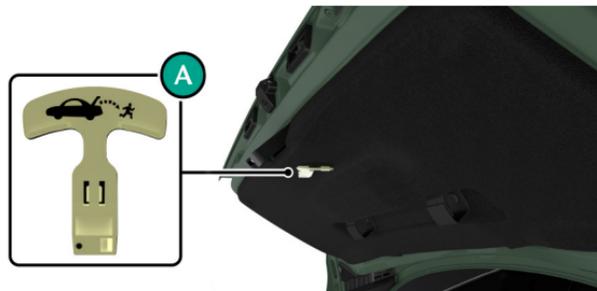


緊急キーを使用して左側ドアのロックを解除できます。ドアのロックを解除するには、ドアハンドルを開き、緊急キーをドアロックに差し込み、回転させます。



緊急時のデッキリッド解除

デッキリッドは、発光機能付きの緊急解除ハンドル (A) を引き、ラゲージコンパートメントの内側から開くことができます。



盗難防止システム

緊急始動

エンジンが始動せず、インストルメント クラスタに *Place the key in the marked space - See Owner's Manual (キーを指定の場所に置いてください - オーナーズガイド参照)* と表示されたときは、以下の操作を行ってください。

1. 車両キーをカップホルダー内の (A) の位置に置きます。



2. しばらくするとエンジンが始動します。
3. エンジン始動後は、車両キーを移動させることができます。

エンジンが始動しないときは、キーを (A) の位置に置いたままブレーキペダルを完全に踏み込み、通常どおりに始動/停止ボタンでエンジンを始動します。

アストンマーティンディーラーにキーの点検をご依頼ください。

はじめに

本車両は、以下の機能を含む電子セキュリティシステムで保護されています。

- アラームの遠隔起動と解除
- 周辺検知機能
- 遠隔操作によるドア、デッキリッド、給油フラップのロック/ロック解除
- バッテリーバックアップ機能付きアラームサイレン (警告サイレンが認可されている市場のみ)
- ランダムコードの暗号化 (車両キー識別コードの電子スキャン防止)
- エンジンイモビライザー
- 超音波車内モーションセンサー
- 傾斜 (牽引) センサー

セキュリティシステム起動中に、ウィンドウを割るか、ドア、デッキリッドまたはボンネットをこじ開けて侵入を試みると、フルアラームが発報します。

アラーム

アラームが発報すると、1 サイクル 25 秒間のサイレンが (最大で 10 サイクル) 鳴り、方向指示灯が¹ 5 分間点滅します。その後、セキュリティシステムは起動状態に戻ります。

この間、ドアとデッキリッドはロック状態に留まります。

車両キーのを押すか、キーレスエントリー機能が有効なときに車両ドアを開くと、アラームはいつでも停止させることができます。アラームが鳴りやむまでに約 10 秒の遅れがあります。

エンジン イモビライザー

エンジン イモビライザーは、適正なキーを使用しないエンジンの始動を防止します。

イモビライザー システムは、イグニッションを OFF にして、運転席ドアを開くと起動します。

⚠ 注意：車両のロック時には、必ずキーを所持してください。車内に有効なキーが存在すると、エンジンは始動が可能な状態になります。

車内モーション センサー

車両をロックし、セキュリティシステムが起動すると、車内モーション センサーが車内の動きを検知します。センサーが動きを検知すると、アラームが発報します。

 車内モーション センサーは、車両をロックし、全ドアとデッキリッドを開けてから 10 秒後に起動し、アラームはさらに 10 秒間の較正後に起動します。

 車内モーション センサーは、いずれかのドアが開いていると起動しません。

車内モーション センサーは、車両設定メニューで ON/OFF の切り替えができます ('Comfort (コンフォート)', 12.5 ページ参照)。

牽引保護

車両をロックし、セキュリティシステムが起動すると、傾斜センサーは車両の傾きや車両のジャッキアップ状態を検知します。例えば車両がジャッキアップされたり、牽引されたりした状態が検出されます。傾斜センサーが傾きを検知すると、アラームが発報します。

 牽引保護は、車両をロックし、全ドアを開けてから 60 秒後に起動します。

 牽引保護は、デッキリッドを含むいずれかのドアが開いていると起動しません。

牽引保護は、車両設定メニューで ON/OFF に設定できます ('Comfort (コンフォート)', 12.5 ページ参照)。

¹ 可視アラーム信号と警告サイレン音が認可されている市場向け。

Homelink® ワイヤレス コントロール

(オプション)

HomeLink®¹ ワイヤレス制御ボタンとトランシーバーはルーフ ミラー部分にあります。トランシーバーは、最大 3 台のトランスミッターを作動させてガレージ ドア、エントリゲート、家庭用照明、セキュリティシステム、他の無線装置を操作するよう設定できます。

⚠ 注意：車両を売却する前に、セキュリティ面での用心のために HomeLink システムの全設定を消去してください。

詳細については、最寄りのアストンマーティン ディーラーにお問い合わせください。

⚠ 警告：トランシーバーをガレージ ドア開閉システムと連動させる場合、設定中にドアやゲートが働くおそれがあるため、周囲に人や動物がおらず、車両やその他の障害物がないことを確認して事故や損傷を防いでください。

📖 無線周波数で動作するデバイスの完全なリストは、HomeLink のウェブサイトから入手できます。

📖 例えば新車を購入されたときは、将来の使用や設定に備えて元のトランスミッターを保管してください。

📖 本装置は、周囲にある携帯 / 固定トランスミッターの干渉を受けることがあります。干渉は、携帯トランスミッターおよび室内トランシーバーのいずれにも影響します。

📖 トランスミッターのメーカーは、装置を無許可で改造した場合のテレビ / ラジオの電波障害には責任を負いません。改造すると、装置の使用許可が取り消されることがあります。

¹ Gentex®, HomeLink®, および HomeLink® のハウス アイコンは、Gentex Corporation の登録商標です。

登録

 すべての登録が消去されるため、ステップ1は HomeLink の初回登録時や、既存の登録項目をすべて消去するときのみ従ってください。この手順は、追加デバイスを登録する際には不要です。HomeLink® ボタンは、個別に再登録できますが、個別に消去することはできません

1. HomeLink のアイコン (A) が 10 秒後に緑に点滅し始めるまで HomeLink の両方の外側ボタンを押し続けます。



両方のボタンを放します。以上で3個のボタンの設定がすべて消去され、HomeLink システムは設定モードに入ります。

2. 設定を登録する HomeLink のボタンを押します。HomeLink のアイコンがオレンジ色にゆっくりと点滅を開始します。
3. HomeLink のアイコンが見える範囲内の、HomeLink のトランスミッターから 20 mm ~ 80 mm (1" ~ 3") 離れた場所で、登録するデバイスのリモコンを押し続けます。

 リモコンとトランスミッター装置の最適距離は、登録するシステムによって異なるため、必要に応じてさまざまな距離で登録作業を試してください。

4. HomeLink のアイコンが急点滅するか、緑色の点灯状態に変化するまでリモコンのボタンを押し続けます。

 一部の市場では、リモコンのボタンを一定時間押し続けた後に、リモコンをタイムアウトさせる必要があります。登録作業中にリモコンの表示灯が消灯するときは、アイコンが緑色に変化するまで、2秒ごとにリモコンを押しては放す作業を繰り返してください。



5. 新たに設定を登録した HomeLink ボタンを押します。
- アイコンが緑色の点灯状態のときは登録作業が完了しており、HomeLink ボタンを押したときにデバイスが働くはずです。
 - アイコンが緑色で急点滅しているときは、HomeLink ボタンを2秒間にわたり2回押し続けます。デバイスのブランドによっては、登録プロセスを完了させるために3回押し続ける必要が生じることがあります。この時点でデバイスが作動すれば、登録作業は完了です。
 - デバイスが働かないときは、デバイスのマニュアルを参照し、ローリングコード搭載デバイスの登録作業を完了させるためにデバイスに必要な手順があるかどうか確認してください。

操作

デバイスの操作範囲内に停車し、イグニッションを ON にします。

HomeLink システムは、付属リモコンと同様にガレージドア オープナー（または他のデバイス）を作動させます。

 付属リモコンも使用可能です。



登録した HomeLink ボタンを押して、デバイスを操作します。

HomeLink のアイコンはボタンを押すと点灯し、ガレージドア オープナー（または他のデバイス）の操作中は点灯状態になります。

再登録

新たなデバイスを登録するには、LED がゆっくりと点滅し始めるまで、希望する HomeLink ボタンを 20 秒間押し続けます。以上の操作でそのボタンは別のデバイスの操作作用に登録できる状態になります。

 新しいデバイスの登録を完了していないときは、以前のデバイスを引き続きそのボタンに登録できます。

運転前に

運転前の点検.....	3.2
シート	3.2
ウィンドウ	3.5
ミラー	3.7
ステアリング コラム.....	3.8
メモリー機能.....	3.9
乗員拘束システム	3.11
お子様の安全.....	3.20
チャイルドシートの取り付け	3.26
キャビン収納.....	3.33
アクセサリ ソケット	3.35

運転前の点検

車両を点検し、すべてが本書に記載されている情報や仕様と合致しているか確認してください。

車外の点検：

- ホイール、ホイール ボルト、タイヤを目視点検
- ウィンドウ、ミラー、ランプ類に汚れが付着しておらず、動きを妨害するものがないか点検
- デッキリッド、ボンネット、給油フラップがしっかり閉まっているか確認
- 全ランプが正常に作動するか点検

車内の点検：

- ドアが確実に閉まっているか点検
- シート、ミラー、ステアリング ホイールが適切に調整されているか点検
- 全計器の値や警告灯が正常か確認
- 全乗員がシートベルトを着用しているか確認

シート

フロントシートのみ

⚠ 警告：運転中に運転席を調整しないでください。

以下の場合もシートの調整ができます：

- ドアのロックを解除してからイグニッションを ON するまでの最長 6 分間

- イグニッションを OFF にしてから 6 分以内

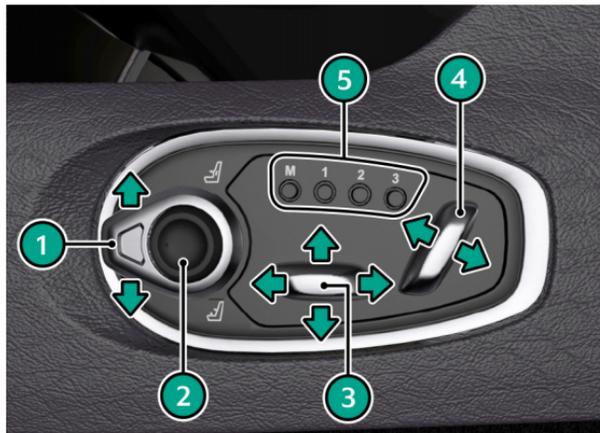
シート調整機能が時間切れになったときは：

- イグニッション コントロールを ON にします。
- ドアを開閉します。

シートの操作方法

パワーシートの調整

 ランバー/ボルスター サポートを調整するには、イグニッションを ON にしてください。



[1] ランバー/ボルスター調整セレクトスイッチ₁:スイッチを押し上げ、ランバー調整を選択します。押し下げてボルスター調整を選択します。

[2] ランバー/ボルスター調整:方向パッドを使用して、ランバーまたはボルスター サポートの位置を調整します。

[3] シートポジション調整:シートの前後位置と高さを調整します²。前部を上げ、シートクッションを傾けます。

[4] 背もたれ調整:背もたれの角度を調整します。

[5] メモリーシートポジション:シート、ステアリングコラム、ドアミラーのメモリーポジションの選択や登録に使用します。

-
1. オプション - スポーツシートのみ
 2. パフォーマンスシート以外

マニュアル シートの調整

シートを前後に移動させるには、ストラップを引いてシートのロックを解除します。



背もたれの解除

⚠ 注意：ヘッドレストがサンバイザーに当たらないことを確認してください。シートによってサンバイザーやサンバイザーのミラーが損傷するおそれがあります。

リリースストラップ (A) を引くと、背もたれが解除されます。

ストラップを引き続けると、シート後部を前側にスライドできます。



シート後部を定位置まで押し、ロックさせます。

 シートが定位置に適切にロックされていないと、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

ヘッドレスト

運転席と他の座席には固定式ヘッドレストが装着されています。ヘッドレストは、後面衝突時に頭部の後方移動を制限し、むち打ち症を負うリスクやむち打ち症の程度を軽減します。座席に座る際には、必ず背もたれを真っ直ぐに立て、乗員の後頭部をヘッドレストの中央に合わせてください。ヘッドレストは、乗員の後頭部とヘッドレスト間の距離が最短のときに保護効果が最大になります。



ウィンドウ

⚠ 警告：特にお子様は、誤ってウィンドウスイッチに触れ、閉まるウィンドウに挟まれて負傷するおそれがあります。ウィンドウを閉める際には、ドライバーは全乗員に注意を促し、ウィンドウの動きを妨げるものがないか確認してください。

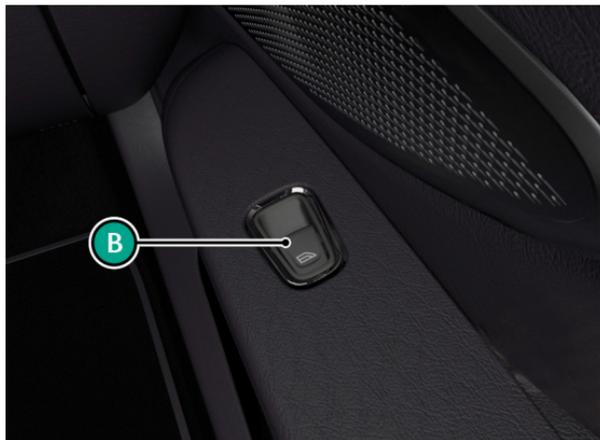
 イグニッションを OFF にしてから 1 分間はウィンドウの操作が可能です。

ウィンドウを開閉するには、イグニッションを ON にしてください。

運転席側 (A) または助手席側 (B) のウィンドウスイッチを押すと、ウィンドウが開閉します。



ウィンドウ スイッチを押すか、抵抗に逆らって引くと、ウィンドウをワンタッチ操作で開閉できます。



何らかの原因でパワー ウィンドウへの電源供給が中断されると、リセットするまではウィンドウは正常に働かなくなります。

ドアのシーリング

⚠ 警告：ウィンドウ機構の作動中は、ウィンドウに近付かないよう全乗員に徹底してください。

風切り音を最小限に抑え、ウィンドウからの水漏れを防ぐために、本車両にはドアを閉めたときにガラス部分をドア上部のシールに密着させるドアシーリングシステムが採用されています。

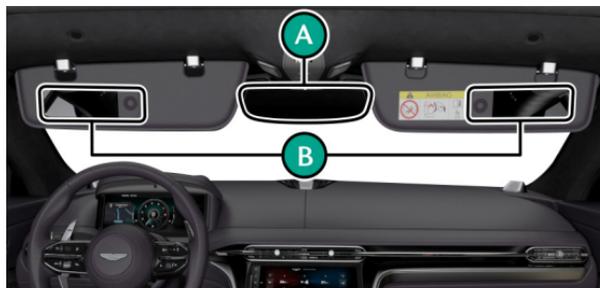
ドアを開けると、シールに当たらないようウィンドウが自動的にわずかに下がります。ドアを閉めると、ウィンドウが自動的に上がり、ボディ フレームのラバー シールと密着します。

ウィンドウのアンチトラップ機構

ウィンドウが偶発的に閉まった際に身体の一部や物が挟まらないよう、ドアウィンドウにはアンチトラップ機構が搭載されています。ウィンドウ モーターが障害物を検知すると、閉鎖動作が停止して開き、挟み込みを防ぎます。

ミラー

インナー ミラー



後方視界が良好になるよう、ボール マウント上でミラー (A) を調整します。

自動防眩機能

後続車のヘッドライトが明る過ぎるときは、インナー ミラーは自動的に暗くなり、まぶさが軽減されます。後続車のヘッドライトの明るさが受容可能なレベルになると、ミラーは通常モードに戻ります。

バニティ ミラー

バニティ ミラー (B) は各サンバイザーに装着されています。ミラーを使用するには、サンバイザーを下げてカバーをスライドさせます。

ドア ミラー

ドア ミラーを調整するにはミラー スイッチ (A) を左右に押し、調整したいミラーを選択します。方向パッド (B) を上下左右に動かし、選択されているミラーを調整します。



ヒーター ミラー

ヒーター (ヒーター付き) ドア ミラーは、ヒーターリア ウィンドウを ON にすると働きます。

ミラーの格納

ミラーを格納するには、ミラー スイッチ (A) を左側または右側に長押しします。

ステアリング コラム

自動格納

車両キーまたはマスタ ロック スイッチを使用して車両をロックすると、ミラーは自動的に格納されます。車両のロックを解除すると、ミラーはドライビング ポジションに戻ります。

この機能はシステム設定メニューで有効 / 無効にできます ('Comfort (コンフォート)', 12.5 ページ参照)。

メモリー機能

ドア ミラーのポジションは、運転席のポジションを登録すると保存されます。

リバース ティップ機能

リバース ティップ ミラーのポジションを登録するには、リバース ギアを選択した状態でミラー スイッチを使用して助手席側ミラーの位置を合わせます。運転席側ミラーが選択されていないならば、リバース ギア選択時に助手席側ミラーが設定済みのポジションに合います。運転席側ミラーが選択されていると、ミラーの位置は変化しません。ミラーを下向きにするには、助手席側ミラーを選択します。

調整

⚠ 警告：運転中はステアリング コラムを調整しないでください。

 ステアリング コラムは、イグニッションが OFF の状態でも調整できます。

調整レバーでステアリング コラムまでの距離 (リーチ) と傾き (チルト) を調整します。レバーを上下に押すと、ステアリング コラムの角度が調整されます。レバーを手前に引くとステアリング ホイールが近寄り、奥に押すと遠ざかります。



ヒーター付きステアリング ホイール

 ヒーター付きステアリング ホイールを ON にするには、イグニッションを ON にする必要があります。

ステアリング ホイール ヒーターを ON にするには、調整レバーの端にあるダイヤルを手前から反時計回りに回します。LED 表示灯も点灯します。

ステアリング ホイール ヒーターを OFF にするには、ダイヤルを時計回りに回します。

 ステアリング ホイール ヒーターは、イグニッションを OFF にすると常に OFF になります。

メモリー機能

運転席のポジションを保存すると、ステアリング コラムのポジションも保存されます。

メモリー機能

 **警告**：調整時は、シートやステアリング コラムの可動範囲に障害物がないか確認してください。

 **警告**：負傷する危険があるため、お子様をメモリー位置スイッチで遊ばせないでください。

 **警告**：シートやステアリング コラムが偶発的に動いたときは、いずれかのシート制御ボタンを押して停止させてください。

 ランバーとボルスターの位置は、メモリーに保存されません。

運転席 / 助手席、ステアリング コラム、ドア ミラーの各ポジションは、メモリーに登録し、呼び出すことができます。

メモリーには 3 種類のドライビング ポジションを登録できます。運転席の位置には、ステアリング コラムと両ドアミラーの位置も記憶されます。

インフォテインメントの設定も、各車両キーを最後に使用した時点から記憶されます。

メモリーポジションの登録



メモリーポジションを登録するには

⚠ 警告：運転中は運転席を調整しないでください。

シート、ステアリングコラム、ドアミラーを好みの位置に調整します。メモリーボタン(M)を押してから、登録したいメモリーチャンネルボタン(1、2、3のいずれか)を押します。登録されると、確認用にチャイムが鳴ります。上記の手順を繰り返し、未設定のボタンを押して2番目と3番目のドライビングポジションを登録します。

メモリーポジションの呼び出し

着席後、呼び出したいポジションに応じて1、2、3のいずれかのボタンを押し、すべての動作が完了するまでボタンを押し続けます。シートが登録済みポジションに合います。

メモリーチャンネルボタンを放すと、シートとステアリングホイールの動きが中断されます。ドアミラーは動作を続けます。メモリーチャンネルボタンを押し続けると、シートとステアリングホイールの動作が完了します。

緊急停止

シートが偶発的に動いたときは、いずれかのシート制御ボタンを押して停止させてください。

乗員拘束システム

システムは、さまざまな衝撃からドライバーと全乗員を保護します。

拘束システムは次の各装置で構成されています。

- デュアル プリテンションナと負荷軽減システム付き運転席 / 助手席シートベルト
- 運転席 / 助手席デュアル ステージ エアバッグ
- 運転席 / 助手席用サイド エアバッグ
- 運転席 / 助手席用ルーフ マウント式カーテン エアバッグ (Coupe)
- 運転席 / 助手席用ドア マウント式カーテン エアバッグ (Volante)
- 運転席ニー ボルスター エアバッグ
- 横転保護システム (ROPS) (Volante)

これらのシステムは、すべて乗員拘束コントローラー (ORC) によって制御されます。衝突時、ORC は衝突センサーやシート占有センサーなどのさまざまなセンサーからの情報を分析します。これらの情報に基づき、システムは適切な安全装置を作動させます。ORC はシートベルト プリテンションナを作動させる必要性や、デュアル ステージ エアバッグ補助拘束装置の作動段階 (不作動、初期ステージのみ展開、両ステージ展開) を判定します。

衝突時にプリテンションナやエアバッグが働かない場合でも、システムに不具合が生じているとは限りません。事故時の状態 (衝撃の強さやシートベルトの着用状況など) から、システムがそうした安全装置の作動を適切ではないと判定した可能性があります。

フロント エアバッグは、正面衝突や正面衝突に近い状況でのみ展開するよう設計されているため、前後方向の減速率が十分でない限り、横転、側面衝突、後面衝突の際には展開しません。

システム作動可否の判定

システムの状態は、インストルメント クラスタの  警告灯で表示されます。以下の場合には、システムの故障が疑われます。

- 警告灯が点滅するか、点灯する。
- イグニションを ON にした直後に警告灯が点灯しない。
- インストルメント クラスタの右側ウィンドウにメッセージと故障の詳細が表示される。

上記のいずれかの状態が断続的にせよ生じたときは、直ちにアストンマーティンディーラーに拘束システムの点検整備を依頼してください。点検整備を受けないと、衝突時に拘束システムが正常に働かないおそれがあります。

シートベルト

⚠ 警告：シートベルトは、ストラップがねじれたまま着用しないでください。

⚠ 警告：シートベルトは大人用に設計されています。乳幼児には必ず認定品のチャイルドシートを使用してください。

⚠ 警告：各シートベルト アセンブリは一人用です。乗員の腰に乗せたお子様にシートベルトを掛けるのは危険です。大人用のシートベルトを2名のお子様を使用しないでください。

⚠ 警告：着用時はシートベルトのウェビング(布部分)を尖った物に接触させないでください。通常使用時や事故の際にウェビングが摩擦したり、切断されたりするおそれがあります。必要に応じて、ウェビングを保護してください。

⚠ 警告：研磨剤、オイル、化学薬品、特にバッテリー液(酸)でウェビングを汚さないよう注意してください。お手入れには、中性の洗浄液を使用してください。ウェビングがほつれたり、汚れたり、破損したりしたときは、ベルトを交換してください。

⚠ 警告：安全を守るにはシートベルトの着用が欠かせません。シートベルトを着用しないと、事故の際の重傷/死亡リスクが高まります。

⚠ 警告：エアバッグが装備されていても、ドライバーと全乗員は必ずシートベルトを着用し、適切に使用してください。

⚠ 警告：背もたれを後傾（リクライニング）状態にすると、衝突時のシートベルトの効果が低下します。背もたれは直立位置に合わせてください。背もたれが適切にロックされているか確認してください。そうしないと、急停車や衝突時に背もたれが前方に動き、負傷することがあります。

⚠ 警告：シートベルトは、人体の骨格を考慮して設計されています。シートベルトは骨盤、胸、肩の前側の低い位置に掛かるように着用してください。腰用ベルトは腹部を横切るように掛けないでください。

⚠ 警告：ベルトのショルダー部分を腕の下や背中側に通さないでください。

⚠ 警告：眼鏡や携帯電話などの硬い物や壊れやすい物は、必ずポケットから取り出しておいてください。事故の際にそうした物体がシートベルトに挟まれ、負傷することがあります。

⚠ 警告：妊娠中の女性は、医師に相談のうえ、最も適切な方法でシートベルトを着用してください。

⚠ 警告：リトラクタが正常に作動するよう、シートベルトは常に清潔な状態にしておくことが不可欠です。ベルトのウェビングにねじれ、絡まり、ほつれがなく、動作を妨げるものがないか確認してください。シートベルトの状態や動作が正常かどうか不確かなときは、アストンマーティンディーラーに点検を依頼してください。

⚠ 警告：シートベルトを改変したり、物を取り付けたりしないでください。シートベルトの調整機能やたるみ除去機能が働かなくなるおそれがあります。シートベルトには絶対にアクセサリを装着しないでください。

⚠ 警告：シートベルトは快適さが損なわれない範囲内で、できるだけ身体に密着するよう調整すると、衝突時に本来の保護機能が発揮されます。保護機能は、ベルトを緩く着用すると大幅に低下します。

⚠ 警告：激しい衝撃を受けたときに着用していたシートベルトアセンブリは、損傷が目視されなくとも必ず全部を交換する必要があります。

⚠ 警告：シートベルトに交換が必要になったときは、必ず認定品と交換してください。フロントシートには、負荷軽減システムを搭載した認定品のシートベルトを使用してください。

プリテンショナと負荷の軽減

フロントシートのシートベルトには、デュアルプリテンショナと負荷軽減システムが搭載されています。

中程度の正面衝突や正面衝突に近い事故の大半では、フロントエアバッグと全プリテンショナシステムが同時に働きます。

エアバッグの展開中は、プリテンショナによってシートベルトのたるみが取り除かれます。負荷軽減システムはベルトのウェビング（布部分）を制御しながら緩め、乗員の胸部に加わる衝撃を軽減します。

 中程度の正面衝突や正面衝突に近い事故の一部では、プリテンショナシステムのみが働くことがあります。

フロントシートベルト リマインダー

 ドライバーまたは助手席乗員がシートベルトを着用せずにイグニッションを ON にすると、インストルメントクラスターのシートベルトリマインダー警告灯が点灯し、¹ 警告音が約 6 秒間鳴ります。（市場により異なります）

ドライバーがシートベルトを着用せずに運転開始から 60 秒が経過するか、車速が 25 km/h に到すると、警告音は 30 秒間鳴り続けた後に鳴りやみますが、警告灯はシートベルトを着用するまで点灯状態になります。

リアシートベルトの状態

リアシートベルトのバックルを外すと、リアシートの使用状況とは無関係に、インストルメントクラスターに警告が表示され、どのシートベルトのバックルが装着されていないかが表示されます。警告を消去するには、すべてのリアシートバックルを装着してください。



本警告は、イグニッションを ON にしたときもシステムのテスト用に表示されます。OK を押すが、60 秒待つと、警告は表示されなくなります。

 発進後にベルトバックルを外したときも、警告音が鳴ります。

¹ 助手席に乗車した場合

シートベルトの着用

 斜面に駐車すると、ベルトがロックして引き出せなくなることがあります。これは故障ではありません。その場合は、ベルトをいったん戻し、慣性ロックが働かないようにベルトを徐々に引き出してください。

各シートには 3 点式慣性リールシートベルトが取り付けられています。1～3 はシートベルトの 3 点の位置を示しています。3 はシートベルト バックルの位置も示しています。



慣性リールシートベルトでは、安全かつ快適な張力が自動的に維持されます。衝突や急ブレーキ時にはベルトリールがロックされます。

リトラクターのロック機能をテストするには、シートベルトを素早く前方に引きます。シートベルトがロックしない場合は、アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

シートベルトを引き出し、肩から胸にかかるようにバックルを渡します。



ベルト端部の金具をカチッと音がするまでバックルに差し込みます。



斜めに掛かったベルトを引き上げ、バックルが確実にハマっているか確認し、ベルトのたるみを取り除いてください。

腰用ベルトが腰の低い位置に快適な状態で掛かり、ねじれていないか確認します。

走行中に乗員がシートや着席位置を調整すると、ベルトが張力が不適切になることがあります。この場合、シートベルトを安全に調整できる場所に到着次第、肩用ベルトを静かに引き下げ、たるみを作ってから瞬時に手を放し、シートの新たな位置に合わせてベルトを締めてください。



シートベルトの取り外し

バックルのボタンを押します。ベルト端部の金具を持ち、シートベルトを収納位置までゆっくりと巻き取らせます。



⚠ 警告：シートベルトを収納ポジションに戻す際には、ベルトにねじれ、絡まり、ほつれがなく、動きを妨げるものがないが確認してください。

エアバッグ

エアバッグは、正面または側面から大きな衝撃が加わった場合に乗員を補助的に保護するものです。エアバッグは、シートベルトの機能を補完します。

サンバイザーとインストルメントパネル（助手席側）には、エアバッグの安全な使用に関する重要事項を記載したラベルが貼り付けられています。車両を運転する前に、ラベルに記載された注意事項をよくお読みください。

運転席 (A)、助手席 (B)、ニーボルスター (C) の各エアバッグは重度の正面衝突時のみ展開します。



3.18 運転前に

サイドエアバッグ (D) は両方の前席に装着され、カーテンエアバッグ (E) はルーフトリム¹ またはドアに装着されており、² 重度の側面衝突時に、衝撃の加わった側のみで展開します。



-
1. Coupe のみ
 2. Volante のみ

エアバッグの展開

⚠ 警告：アクセサリーのシートカバーを使用すると、事故の際にサイドエアバッグが展開せず、負傷する危険が高まるおそれがあります。アクセサリーのシートカバーは使用しないでください。

⚠ 警告：衝突事故の際に負傷/死亡リスクを軽減するために、エアバッグの有無にかかわらず、ドライバーを含めて全乗員は常にシートベルトを着用してください。

⚠ 警告：ステアリングホイールのセンターカバーや助手席ダッシュボードパネルには絶対に物を取り付けたり、載せたりしないでください。エアバッグが展開する重度の衝突時に、そうした物体によって負傷するおそれがあります。

📖 エアバッグシステムは、後方からの衝撃に対して乗員を保護するには設計されていません。

エアバッグは強い力で瞬時に膨張するため、特に乗員がシートベルトを正しく着用していない場合や正しい姿勢で着席していない場合にエアバッグが展開すると、骨折、顔面や目の負傷、内臓損傷などの重傷を負ったり、死亡したりするリスクがあります。エアバッグの展開によって負傷するリスクは、エアバッグが収納されているトリムパネル付近で最も高くなります。

衝撃を検知してからエアバッグが完全に展開するまでの行程は、ミリ秒単位で瞬時に完了します。

ステアリングホイール、助手席側ダッシュボード、エアバッグシステムの他の部分は変更/改造しないでください。システムが働かなくなるか、エアバッグが偶発的に展開するおそれがあります。

エアバッグシステムは、正面や側面への軽度の衝撃（駐車時の接触など）では作動しません。

エアバッグシステムに対する全作業は、必ずアストンマーティンディーラーにご依頼ください。

お子様の安全

当社では以下の点を強くお勧めしています。

- お子様は後部座席に座らせてください。
- 装着車では、常に ISOFIX アンカーを使用してください。
- 助手席には、絶対に複数のチャイルドシートを取り付けないでください。
- 走行中、お子様には年齢に関係なく拘束装置を使用してください。

本車両には、お子様用の拘束器具を取り付けるために以下の機構が備わっています。

- 乗員分類システム (OCS) 付き助手席。
- リアシートの ISOFIX アンカー
- リアシート テザーアンカー ポイント (Coupe のみ)
- 助手席用オート ロッキング リトラクタ (ALR) 付きシートベルト

⚠ 警告：フロントシートベルトリマインダー機能は、大人の体形の乗員のみを認識するように設計されており、チャイルドシートでは働きません。チャイルドシートをシートベルトで助手席に固定する場合は、メーカーの説明書に従い、適切に取り付けてください。取り付けが不適切なチャイルドシートは、衝突時にお子様为重傷を負ったり、死に至ったりする危険性を増大させるおそれがあります。

⚠ 警告：交通事故統計によると、お子様は助手席よりもリアシートに適切な拘束器具を取り付けて座せた方が一般的に安全です。適切なチャイルドシートを正しく取り付けて使用すると、大半の事故における乳幼児の保護機能が最大になります。

⚠ 警告：お子様を同乗させるときは、必ずお子様用の拘束器具を適切に使用してください。チャイルドシートまたはハーネスは、必ず認定品をご使用ください。

⚠ 警告：各シートベルトアセンブリは一名の乗員用です。乗員の隣に座せたお子様の上からシートベルトを着用するのは危険です。

⚠ 警告：取り付けしたチャイルドシートがドアに接触していないか、お子様がシートに正しい姿勢で座り、ドアやウィンドウに接近したり、もたれたりしていないかを確認してください。

お子様のシートベルト着用

⚠ 警告：乳幼児に適切な拘束器具を使用しないと、衝突事故で重傷を負ったり死亡したりするおそれがあります。シートベルトは大人用に設計されています。乳幼児には必ず認定品のチャイルドシートを使用してください。

ウェビングにたるみがなく、お子様の胸郭と腰部がしっかりと固定されるように正しく着用してください。胸郭と腰部は、衝突時に加わる衝撃に耐えうる最も丈夫な部分です。

腰用ベルトはお子様の太ももの上部を横切り、腹部ではなく骨盤に掛かるように着用します。

警告ラベル

⚠ 警告：重大な危険：展開可能なエアバッグが前側に装備されたシートでは、絶対に後ろ向き子供用拘束器具を使用しないでください。お子様が死亡したり、重傷を負ったりするおそれがあります。

サンバイザー両側と助手席側のインストルメントパネル端には、警告ラベルが貼られています。



乗員分類システム

乗員分類システム (OCS) は乗員拘束制御 (ORC) システムの一部であり、拘束システムの付加機能として働きます。

OCS は静電容量を測定して大人、チャイルドシートに座らせた子供 (1 歳児以下)、空席を判別します。静電容量は重量には敏感ではなく、化学的、物理的な特性によって助手席上の物体または人物を判別します。その情報は、次に ORC モジュールに送信されます。

OCS が助手席に成人が座っていると判定すると、助手席エアバッグが有効になります。

OCS がチャイルドシート (CRS) の装着や空席と判定した場合、助手席エアバッグは自動的に OFF になります。

 先進拘束システムを障害者に対応するよう変更する必要がある場合は、アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

助手席に大人が着席すると、助手席エアバッグ (PASS AIRBAG) 表示灯が  (A) の表示になります。

助手席エアバッグは次の場合は OFF に設定されます。

- 助手席が空席状態。
- 測定された静電容量が標準的な 1 歳児の値未満。

エアバッグが OFF に設定されると、助手席エアバッグ (PASS AIRBAG) 表示灯が  (B) の表示になります。



助手席	エアバッグ	表示灯
空席	OFF	
子供 + チャイルドシート	OFF	 
大人	ON	

  表示灯は、イグニッションを ON にすると正常な状態の確認としてしばらく点灯します。

警告

⚠ 警告：OCS の重要部品 (静電容量センサーや制御ユニットなど) は、助手席に装着されています。そうした部品が損傷しないよう、適切な注意を怠らないでください。トリム素材を貫通する傷といったシートトリムの損傷が生じたときは、必ずアストンマーティンディーラーに点検を依頼してください。損傷の程度によっては、システムが正常に働かなくなる点検も受け、OCS 部品に交換が必要になったときも、システムの再点検を依頼してください。シートが損傷している状態では、OCS の機能は保証できかねます。

⚠ 警告：OCS や他のシート部品の損傷を防ぐために、前席にひざまづいたり、前席の狭い範囲に強い圧力を加えないでください。シートに尖った物体を当てないでください。

⚠ 警告：絶対に助手席を車両から取り外したり、シートトリムを取り外したりしないでください。絶対にシートを分解したり、部品を取り外したり、シートからの配線を切り離したりしないでください。助手席を不適切に修理するが、分解すると、OCS が正常に働かなくなるおそれがあります。

⚠ 警告：助手席には追加アクセサリー (ビーズ付きトリムやパッド) を装着したり、クッションや毛布などを使用したりしないでください。そうした物を追加すると、乗員と座面間の距離が延び、OCS が乗員を正しく分類できなくなり、エアバッグが正常に働かなくなるおそれがあります。

⚠ 警告：インテリアの表面を清掃する際には、認定クリーニング剤を使用してください。センサー取り付け面 (座面のレザー下側) に溶剤や他の不適切なクリーニング製品を使用すると、センサーが損傷するおそれがあります。

⚠ 警告：助手席に水をこぼすが、スチーム洗浄を行うと、OCSによるシート乗員の分類が不正確になるおそれがあります。完全に乾かしてからシートを使用してください。助手席の座面には、濡れた物（濡れたタオルなど）を載せたり、水や他の液体をこぼしたりしないようご注意ください。

⚠ 警告：助手席には物を載せないでください。静電容量センサーは重量測定センサーではありませんが、シートに物を載せると、トリムが薄くなり、静電容量が増大するおそれがあります。助手席に物を載せると、OCSによるシート乗員の分類が不正確になり、エアバッグが正常に働かなくなるおそれがあります。常にエアバッグ表示灯を確認してください。

⚠ 警告：助手席上では電子機器を充電しないでください。OCSによるシート乗員の分類が不正確になり、エアバッグが正常に働かなくなるおそれがあります。常にエアバッグ表示灯を確認してください。

⚠ 警告：助手席には買い物を入れた袋を載せないでください。ボトル入りの水といった大量の液体によってOCSによるシート乗員の静電容量の分類が不正確になり、エアバッグが正常に働かなくなるおそれがあります。常にエアバッグ表示灯を確認してください。

⚠ 警告：チャイルドシートを不適切に取り付けると、乗員検出システムによって助手席エアバッグがONの設定のままになるおそれがあります。チャイルドシートが座席に適切に取り付けられているか常に確認してください。チャイルドシートの取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告：先進的な拘束システムが装備されていても、12歳以下のお子様はリアシートで適切に拘束してください。

⚠ 警告：助手席にお子様を座らせるときは、助手席の背もたれに物を掛けないでください。

⚠ 警告：助手席エアバッグ表示灯にエアバッグの状態が正しく表示されているか常に点検してください。

⚠ 警告：助手席に改造や変更を行うと、OCSの性能が低下するおそれがあります。

着席位置

⚠ 警告：常に背筋を伸ばして背もたれに背中を付けて座り、両足をフロアに付けてください。正しい姿勢で着席しないが、背もたれを後方へ過剰にリクライニングさせて座ると、OCSによる測定値が変化し、助手席乗員検出システムの機能が低下し、衝突時に重傷を負うか、死に至るおそれがあります。

各シートを調整し、シートベルトを着用した後、全乗員が正しい着席姿勢を維持することが極めて重要です。正しい着席姿勢とは、背筋を伸ばして背もたれに背中を密着させ、座面の中央に座り、足を快適な程度広げ、フロアに付けた姿勢です。不適切な姿勢で着席すると、衝突時に負傷する確率が高まります。例えば、だらしなく座る、寝そべる、横向きに座る、座面の前側に座る、前向きまたは横向きにかがむ、片足または両足を上げるといった座り方をすると、衝突時に負傷する確率が大幅に高まります。

大人の体格の乗員が助手席に座り、助手席エアバッグ表示灯 (PASS AIRBAG) が  の表示ときは、その乗員は正しい姿勢で着席していない可能性があります。

その場合は、以下を行ってください。

1. イグニッションを OFF にします。その乗員に背もたれを直立位置に合わせてもらいます。
2. 背筋を伸ばして座面の中央に着席し、足を快適な程度だけ広げてもらいます。
3. エンジンを始動し、乗員にその姿勢を 2 分程度維持してもらいます。それによりシステムはその乗員を検出するようになり、助手席エアバッグが ON に設定されます。
4. この指示に従っても助手席エアバッグ (PASS AIRBAG) 表示灯が  のまま変化しないときは、その乗員にリアシートに座ってもらってください。(装着車のみ)

上記の状態では、正しい姿勢で着席した乗員の体重が助手席乗員検出システムによって不正確に検知されている可能性があります。助手席乗員が実際よりも重たい体重または軽い体重として検出されているおそれがあります。

助手席エアバッグ (PASS AIRBAG) 表示灯が  のまま変化しないときは、助手席検出システムが故障している可能性もあります。

システムの修理や整備は行わないでください。早急に最寄りのアストンマーティン ディーラーに点検を依頼してください。

チャイルドシートの取り付け

チャイルドシート取り付け位置表

必ずチャイルドシート メーカーの指示に従ってください。
取扱説明書に従わずにチャイルドシートを取り付けると危険です。

当社では、チャイルドシートを助手席以外に取り付けることをお勧めしています。



着席位置

着座位置番号	1	2	3	4
汎用ベルト式に適する着座位置	いいえ	はい	いいえ	いいえ
i-Size 用の着座位置	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
横向き固定具に適した着座位置	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
適する最大の後ろ向き固定具	非該当	非該当	非該当	R1 ₁
適する最大の前向き固定具	非該当	非該当	F2X ₂	F2X ₂
適する最大のブースター固定具	非該当	非該当	B3	B3
支持用脚部と互換	いいえ	いいえ	はい	はい
ISOFIX アンカー付き	いいえ	いいえ	はい	はい
トップテザー付き	いいえ	いいえ	はい ₃	はい ₃

1. ISOFIX を使用してリアシートにチャイルドシートを取り付けるときは、前側のフロントシートを最前部の最も高い位置に設定してください。背もたれを最も前側の位置に合わせてください。背もたれは、シートリリースストラップではなく、シート制御スイッチで移動させてください。フロントシートに乗員が座することはできません。

2. Coupe のみ：ISOFIX を使用してリアシートにチャイルドシートを取り付ける場合、前側のフロントシートを最前部の最も高い位置に設定してください。前側のフロントシートの背もたれは、直立位置に合わせてください。

3. Coupe のみ

着座位置 - シートベルトによる取り付け

⚠ 警告：必ずチャイルドシートの取扱説明書に従って正しく取り付けてください。取扱説明書に従わずにチャイルドシートを取り付けると危険です。

⚠ 警告：シートベルトで取り付けるタイプの幼児拘束器具は、シートベルトの腰用ベルトと肩用ベルト部分で固定するように設計されています。チャイルドシートが車内で適切に固定されていないと、衝突時に子供が危険にさらされることとなります。

オートロックングリトラクタ (ALR) システムは、チャイルドシートを確実に固定するための機構です。ALR システムは、チャイルドシートを固定しているシートベルトを一時的にロックします。

ALR の操作法

シートベルトをゆっくりと完全に引き出します。ALR システムは、シートベルトを完全に引き出した時点でのみ働きます。

製品の取扱説明書に従い、ベルト端のプレートをチャイルドシートに通します。プレートをバックルにはめます。

ベルトのプレートの位置を調整して下側ベルトをきつく締め、次に上側ベルトを完全に巻き取らせ、チャイルドシートをしっかりと固定します。シートベルトが巻き取られると、ALR システムからカチツという音が聞こえます。

完全に巻き取られた時点で上側ベルトを引き下げ、ALR ロックが働いているか確認してください。

🚗 斜面に駐車すると、ベルトがロックして引き出せなくなることがあります。これは故障ではありません。その場合は、シートベルトを緩めてから、ロックがかからないようにシートベルトを徐々に引き出してください。

ALR システムは、シートベルトを完全に格納すると解除されます。その後は、必要に応じて通常のシートベルトとして使用できるようになります。ALR が解除された後にチャイルドシートを再度取り付けるときは、ベルトを完全に引き出し、システムを作動させる必要があります。

助手席へのチャイルドシート取り付け

シートベルトを使用してチャイルドシートを助手席に取り付ける際には、以下の手順に従ってください：

1. 助手席を最後部の最も高い位置に合わせます。シートクッション（座面）の前部を最下部まで下げます。
2. 必要に応じて背もたれを倒します。
3. 製品の取扱説明書に従ってチャイルドシートを助手席に取り付けます。
4. チャイルドシートが助手席の背もたれで支えられるまで背もたれを起こします。

リアシートへのチャイルドシート取り付け

当社は、シートベルトを使用して本車両のリアシートにチャイルドシートを取り付ける方法はお勧めしていません。

リアシートへのチャイルドシート取り付け

⚠ 警告：固定されていないチャイルドシートは危険です。緊急停止や衝突の際にシートが動き、お子様や乗員が重傷を負ったり、死に至ったりするおそれがあります。シートはメーカーの指示どおりに正しく取り付けてください。

⚠ 警告：チャイルドシートの取り付け時には、ISOFIX アンカーの周囲にシートベルトや異物がないことを確認してください。シートベルトや障害物によってチャイルドシートが確実に ISOFIX アンカーに固定されていないと、緊急停止や衝突事故の際にチャイルドシートが動き、お子様や他の乗員が重傷を負ったり、死に至ったりするおそれがあります。

⚠ 警告：ISOFIX アンカーを使用してチャイルドシートを取り付ける際には、必ずチャイルドシートのテザー ストラップを使用してください。

リアテザー アンカー シート

⚠ 警告：乳幼児に適切な拘束器具を使用しないと、衝突事故で重傷を負ったり、死亡したりする危険が増大します。シートベルトは大人と年齢の高いお子様用に設計されており、乳幼児には必ず認定品のチャイルドシートを使用してください。

⚠ 警告：テザー（チャイルドシート）アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられている場合にのみ負荷に耐えるよう設計されています。状況の如何にかかわらず、大人用シートベルトやハーネスとして使用したり、目的以外の物を固定するために使用しないでください。

⚠ 警告：必ずチャイルドシート メーカーの指示に従ってください。取扱説明書に従わずにチャイルドシートを取り付けると危険です。

⚠ 警告：チャイルドシートのテザーストラップの上下部分に障害物がないか確認してください。チャイルドシートとテザー アンカー ポイント間のテザーストラップには物を載せないでください。チャイルドシートとベルト アンカー ポイント間にある物の上にベルト ストラップを置かないでください。

⚠ 警告：固定されていないチャイルドシートは危険です。緊急停止や衝突の際にシートが動き、お子様や乗員が重傷を負ったり、死に至ったりするおそれがあります。シートはメーカーの指示どおりに正しく取り付けてください。

⚠ 警告：チャイルドシートの取り付け時には、ISOFIX アンカーの周囲にシートベルトや異物がないことを確認してください。シートベルトや障害物によってチャイルドシートが確実に ISOFIX アンカーに固定されていないと、緊急停止や衝突事故の際にチャイルドシートが動き、お子様や他の乗員が重傷を負ったり、死に至ったりするおそれがあります。

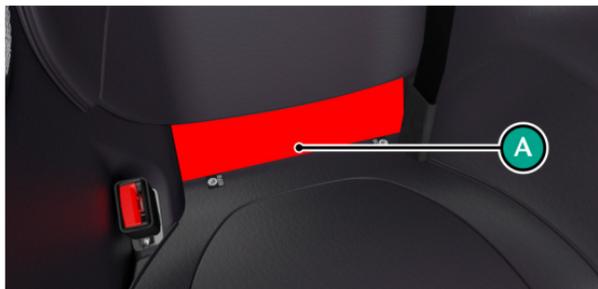
⚠ 警告：ISOFIX アンカーを使用してチャイルドシートを取り付ける際には、必ずチャイルドシートのテザー ストラップを使用してください。

3.30 運転前に

本車両には、チャイルドシートをリアシートに取り付けるための ISOFIX (国際標準規格 FIX) アンカーが装備されています。ISOFIX アンカーは、シートクッション(座面)と背もたれの間にあります。アンカーの位置は、各リアシートクッションの2個のタグで表示されています。

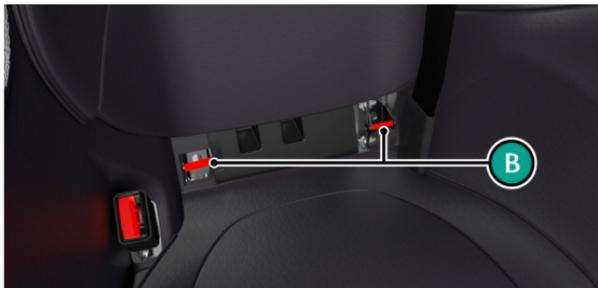


背もたれ下部パネル (A) を取り外します。



 背もたれトリム パネルには、左側用と右側用があります。

取扱説明書に従って ISOFIX アンカー (B) を使用し、チャイルドシートを固定します。



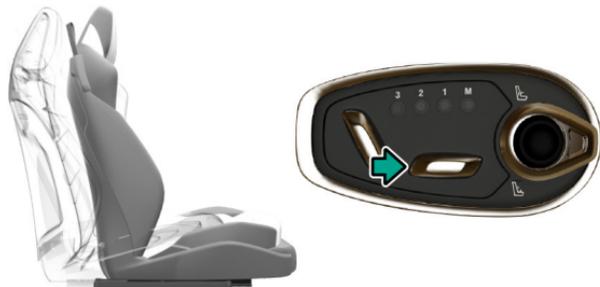
助手席の位置

ISOFIX を使用してリアシートにチャイルドシートを取り付ける場合、前側のフロントシートをチャイルドシートのサイズに応じて移動させてください。

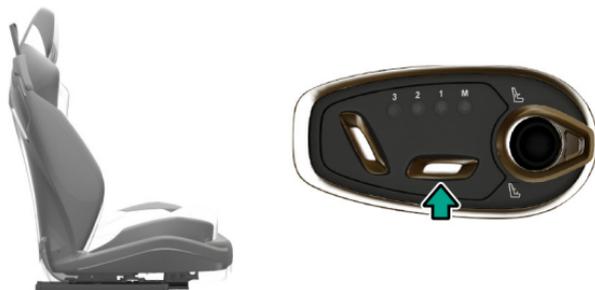
サイズクラス R1 固定具 ISOFIX シート :

Coupe のみ

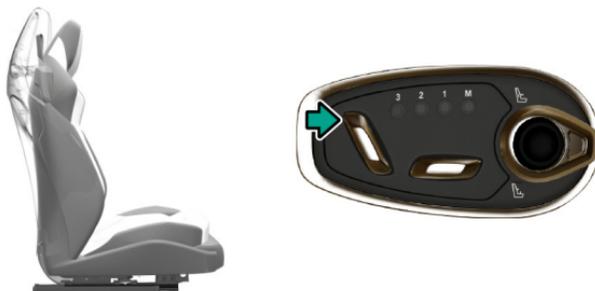
1. チャイルドシート前側のフロントシートクッションは最前部の最も低い位置に合わせてください。



2. シートクッションを最も高い位置に合わせます。



3. 背もたれを最前部に合わせてください。



サイズクラス F2/F2X 固定具 ISOFIXシート :

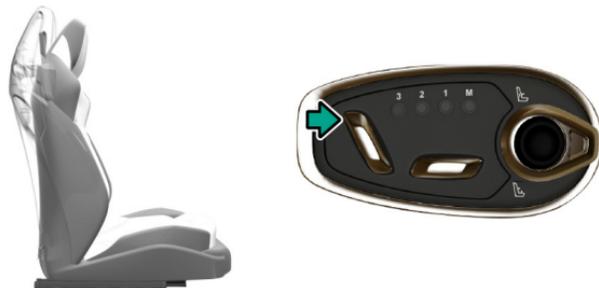
1. チャイルドシート前側のフロントシート クッションは最も低い位置に合わせてください。



2. シート クッションを最前部に合わせます。



3. 背もたれを完全直立位置に合わせます。



キャビン収納

ドア ポケット

 ドア ポケットにはドアを開いたときに落下しやすい物 (スマホや財布など) を収納しないでください。



グローブ ボックス

 **警告**：急ブレーキ、急なステアリング操作、事故の際には、グローブボックス内の物がキャビンに飛び出し、怪我をすることがあります。必ずグローブボックスを閉めてから走行してください。

グローブボックス ボタン (A) を押すと開きます。閉めるには、リッドを押し上げます。



センター収納ボックス

センター収納ボックスから2つのUSB-Cポートと1つの12Vアクセサリ電源ソケットにアクセスできます。



可変ラゲージスペース

(Volanteのみ)

本車両には可変ラゲージスペースデバイスが取り付けられており、コンバーチブルルーフを閉めた際にラゲージスペースを拡張できます。

操作

 可変ラゲージスペースのディバイダー(仕切り)は、コンバーチブルルーフを閉めた状態でのみ使用できます。

ラゲージスペースを開くには、ハンドルを押し上げます。これにより、約40L分の追加ラゲージスペースが確保されます。可変ラゲージスペースのディバイダーが上がっているときは、コンバーチブルルーフを開くことはできません。

 ルーフスイッチを押し、ディバイダーが上がっているときは、インストルメントクラスタに警告メッセージが表示されます。

可変ラゲージスペースのディバイダーを下げるには、ハンドルを押し下げます。

アクセサリ ソケット



⚠ 警告：電気系統が12Vの自動車用に設計されたアクセサリのみを接続してください。アクセサリソケットから10A以上の電流が流れると、電気系統が損傷するおそれがあります。必ず取扱説明書をお読み頂き、アクセサリソケットの定格電流を超える機器は接続しないでください。

⚠ 注意：使用していないときは、常にアクセサリソケットにカバーを被せておいてください。そうしないと、ソケットに異物が入り、損傷することがあります。

キャビンのアームレスト収納ボックスにはアクセサリソケットが装備されています。本ソケットは、10A未満の12V車両アクセサリに電源を供給する目的用です。

灰皿とシガーライター

(オプション)

⚠ 警告: シガーライターは使用中に超高温になります。必ず柄の部分でシガーライターを支え、お子様に触らせないでください。シガーライター付き車両の車内にお子様を置き去りにしないでください。

⚠ 警告: 運転中は気が散らないよう注意し、常に交通状況を把握してください。シガーライターは、交通状況が適切な場合のみ使用してください。危険な状況を回避しないと事故や衝突が起き、死に至ったり、重傷を負ったりするおそれがあります。

シガーライターは、イグニッションが ON のときにキャビンのアクセサリソケットで使用できます。

力チツと音がするまでライターを押し込みます。使用準備が整うとライターが飛び出します。

灰皿は、カップホルダーに取り付けられます。



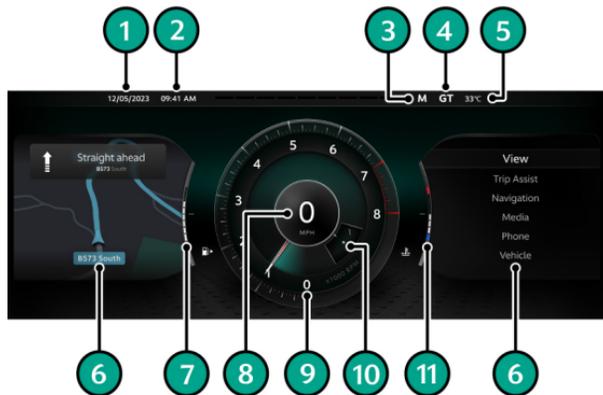
操作ボタン

インストルメント ディスプレイ	4.2
センター コンソール	4.7
ステアリング ホイール コントロール	4.8
インストルメント クラスタ メニュー	4.9
ワイパーコントロール	4.12
照明スイッチ	4.13

4.2 操作ボタン

インストルメント ディスプレイ

インストルメント クラスタの概要



[1] 日付:

現在の日付、月、年が表示されます。

[2] 時計:

時刻が表示されます。

[3] トランスミッション インジケータ:

選択されているギアが表示されます ('トランスミッションの制御', 5.5 ページ参照)。

[4] ドライブ モード:

現在のドライブ モードが表示されます ('ドライブ モード', 5.10 ページ参照)。

[5] 外気温:

外気温が表示されます。

[6] 補助ディスプレイ:

ADAS、ナビゲーション、インストルメント クラスタ メニュー、オーディオなどの車両システム用の補助ディスプレイが表示されます。

[7] 燃料計:

燃料タンクの残量が表示されます。

[8] スピードメーター:

車速が表示されます。

[9] タコメータ:

エンジン回転数が 1 分あたりの回転数 x 1000 単位で表示されます。

[10] ギア インジケータ:

選択されているギアが表示されます。セミオートマチック / マニュアル モードでは、ギアをシフトアップまたはシフトダウンするタイミングも表示されます ('セミオートマチック モード:', 5.7 ページ参照)。

[11] 水温計:

エンジン冷却水の温度が表示されます。

情報および警告

インストルメント ディスプレイの下側バーには、車両の作動に関する警告や重要情報が表示されます。



[1] バッテリー:

イグニッションを ON にするとすぐに電気系統の自己テストが行われます。本警告灯が消灯しないか、走行中に点灯したときは、バッテリーまたは電気系統に不具合が生じています。



[2] 故障表示灯:

黄色の点灯は、エンジン マネジメント システムの故障が表示されています。エンジン性能の低下を示すノイズ、目視可能な兆候または物理的な兆候がある場合は、運転を中止してください。早急にアストンマーティンディーラーにご連絡ください。



黄色の点滅は、エンジン マネジメント システムの重大な故障が表示されています。直ちに停車してください。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

[3] ランプ故障:

ランプの故障時に表示されます。アストンマーティンディーラーに点検を依頼してください。



[4] ストップ/スタートシステム:

ストップ/スタートシステムの現在の状態が表示されます('ストップ/スタート', 5.42 ページ参照)。



[5] パーキングセンサー:

パーキングセンサーを手動で OFF にすると表示されます。('駐車距離制御', 5.45 ページ参照)。



[6] 車速制御:

クルーズコントロールが起動しているかどうかが表示され、アダプティブクルーズコントロール用に前方車両との距離を設定します('速度制御システム', 5.14 ページ参照)。



[7] 車線アシスト:

車線アシスト機能の状態が表示されます('車線アシストシステム', 5.18 ページ参照)。



[8] リアフォグランプ:

リアフォグランプの点灯/消灯状態が表示されます。



[9] サイドライト/ロービームヘッドライト:

サイドライト/ロービームヘッドライトの点灯状態が表示されます。

[10] ハイビームヘッドライト:

ハイビームヘッドライトの状態が表示されます('オートハイビーム', 4.14 ページ参照)。

[11] 自動緊急ブレーキ:

アクティブブレーキアシストが正面衝突の危険を検知するか、システムが OFF に設定されると表示されます。('自動緊急ブレーキ (AEB)', 5.32 ページ参照)。

[12] 電動パワーステアリング (EPAS):

⚠ 警告: EPAS 警告灯が点灯した状態で車両を運転しないでください。アストンマーティンディーラーに点検を依頼してください。

本警告灯は EPAS システムに不具合が発生していることを示しています。早急にアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

[13] ドライバーアテンションアシスト:

ドライバーの注意散漫警告が発せられるか、ドライバーアテンションアシストに不具合が生じると表示されます。('ドライバーアテンションアシスト', 5.23 ページ参照)。

[14] シートベルトリマインダー:

⚠ 警告: シートベルト警告灯が点灯した状態のまま走行しないでください。アストンマーティンディーラーに点検を依頼してください。

ドライバーがシートベルトを着用せずにエンジンを始動すると、本警告灯が点灯し、チャイムが 6 秒間鳴ります。シートベルトを装着するまではチャイムは走行中も鳴り続けます。¹

[15] ブレーキ警告灯:

いずれかの警告灯が点灯した場合は、ブレーキシステムが故障している可能性があります('ブレーキ警告灯', 5.30 ページ参照)。

[16] 電動パーキングブレーキ (EPB):

電動パーキングブレーキが掛かると点灯し、完全に解除されると消灯します。

[17] EPB故障:

電動パーキングブレーキに不具合が生じると点灯します。インストルメントクラスタに警告メッセージも表示されます。早急にアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

¹ 市場により異なります。

[18] ABS:

⚠ 警告：ABS 警告灯が点灯した状態のまま走行しないでください。アストンマーティンディーラーに点検を依頼してください。

本警告灯は、イグニッションを ON にした直後のシステム点検中にしばらく点灯し、消灯します。本警告灯が消灯しないか、走行中に点灯した場合は、ABS 制御回路に不具合が生じています。ブレーキ性能の低下を示す音、目視可能な兆候、物理的な兆候がある場合は、運転を続行しないでください。警告灯が消灯しない場合は、早急にアストンマーティンディーラーにご相談ください。

[19] 乗員拘束制御 (ORC):

⚠ 警告：ORC 警告灯が点灯した状態では走行しないでください。アストンマーティンディーラーに点検を依頼してください。

本警告灯は、イグニッションを ON にした直後のシステム点検中にしばらく点灯し、消灯します。本警告灯が点灯しない、点灯後に消灯しない、あるいは走行中に点灯した場合は、拘束システムに不具合が検出されています。

[20] タイヤ空気圧:

本警告灯が消灯しないか、走行中に点灯したときは、1 本以上のタイヤの空気圧が規定値を下回っています。

[21] エレクトロニックスタビリティプログラム**(ESP) 警告灯:**

ESP が ON に設定され、作動中は、本警告灯が点滅します。ESP の起動中に ESP 表示灯が消灯しないか、走行中に点灯したときは、ESP システムに不具合が検出されます。その場合、メッセージセンターに ESP 故障メッセージが表示されます。早急にアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

ESP を手動で OFF に設定すると、インストルメントクラスタに本警告灯が表示されます。

[22] ガソリン微粒子フィルタ (GPF) 不良:

GPF に再生サイクルが必要になるか、GPF に不具合が生じると表示されます ('ガソリン微粒子フィルタ (GPF)', 5.44 ページ参照)。

[23] サスペンション故障:

アダプティブ サスペンション システムに不具合が生じると点灯します。

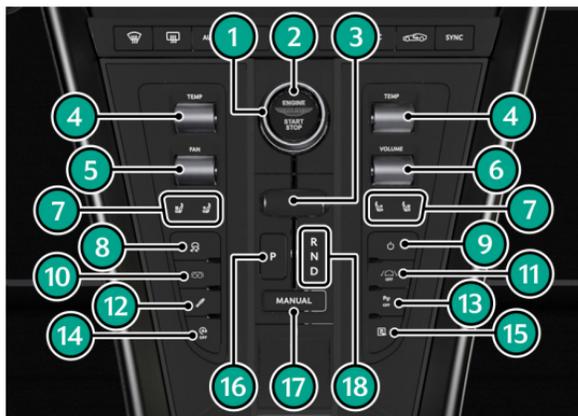
[24] エキゾースト モード:

デフォルト以外のエキゾースト モードが選択されている場合に点灯します。

[25] サスペンション モード:

現在のサスペンション モードが表示されます ('アダプティブ ダンピング', 5.27 ページ参照)。

センター コンソール



- [1] **ドライブモードセレクタ**: 回転させてドライブモードを選択します。
- [2] **ENGINE START/STOP**: 押すとエンジンが始動/停止します。
- [3] **トランスミッションセレクタ**: トランスミッションモードを選択します ('オートマチックモード', 5.6 ページ参照)。
- [4] **温度**: クライメートコントロールの設定温度が調整されます。
- [5] **風量**: 風量が調整されます。
- [6] **音量**: オーディオシステムの音量が調整されます。押すと、オーディオが消音状態になります。
- [7] **シートヒーター/クーラー**: 押すと、シートヒーターまたはクーラーの強さが変更されます。

[8] **車両スタビリティコントロール**: 押すと、スタビリティコントロールを設定できます ('ESP モード', 5.37 ページ参照)。

[9] **インフォテインメント ON/OFF**: インフォテインメントシステムが ON または OFF になります。

[10] **エキゾーストモード**: 押すと、エキゾーストモードが切り替わります。

[11] **車線キープアシスト**: 車線キープアシストが起動/停止します ('車線キープアシスト', 5.20 ページ参照)。

[12] **アダプティブダンピング**: 押すと、アダプティブダンピングモードが切り替わります ('アダプティブダンピング', 5.27 ページ参照)。

[13] **駐車距離制御**: 押すと、駐車距離制御 (PDC) センサーが起動/停止します ('駐車距離制御', 5.45 ページ参照)。

[14] **ストップ/スタート**: 押すと、エコストップ/スタート機能が起動/停止します ('ストップ/スタート', 5.42 ページ参照)。

[15] **カメラ**: インフォテインメントシステム画面がカメラシステムに切り替わります。

[16] **パーキング選択**: 押すと、P (パーキング) が選択されます。

[17] **マニュアルモード**: 押すと、マニュアルトランスミッションモードに入ります ('マニュアルモード', 5.9 ページ参照)。

[18] **トランスミッションステータスインジケータ**: 選択されているトランスミッションモードが表示されます。

ステアリング ホイール コントロール



[1] 取り消し:

タップすると、設定速度が取り消されます。

[2] 距離の調整:

スワイプすると、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 作動中の先行車両との車間距離が調整されます。

[3] 音声制御開始:

タップしてモバイル デバイスで音声制御システムを使用します。

[4] RES (再開):

タップして速度制御システムの設定速度を再開するか、ACC に新たな制限速度を採用します。

[5] 速度設定スイッチ:

ローラー ダイヤルを回して ACC または可変速度リミッターの設定速度を調整します。

[6] 速度制御システムの選択:

タップすると、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) と可変速度リミッター機能の切り替えができます ('速度制御システム', 5.14 ページ参照)。

[7] ホームメニュー:

タップすると、インストールメント クラスタ メニューが開きます('インストールメント クラスタ メニュー', 4.9 ページ参照)。

[8] メニュースクロール ボタン:

メニューをスワイプし、インストールメント クラスタ メニュー間を移動します。本ボタンを押してメニュー項目を選択します (本書ではこの操作を「OKを押す」と表記します)。

[9] 戻る:

タップすると、インストールメント クラスタ メニューの一段階前の項目に戻ります。

[10] 通話:

タップすると、着信に应答されるか、最後にダイアルした番号が開きます。通話を終了するか、着信を拒否するには再び押します。('通話', 7.4 ページ参照)。

[11] 音量:

本スクロール ホイールを使用してオーディオシステムの音量を調整します。押すと、オーディオが消音状態になります。

[12] 次のトラック:

タップすると、次のオーディオトラックまでスキップされます。

インストールメント クラスタ メニュー

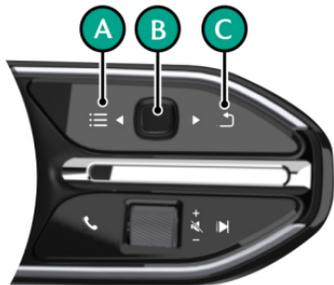
インストールメント クラスタには、二次インフォテインメント システム メニューが表示されます。本メニューには、インストールメント クラスタ (トリップ コンピューターや単位) の設定や、オーディオとナビゲーション概要画面などが含まれます。

 クラスタがシングル ダイアル モードの場合、左側の画面に表示するよう選択した項目はメニューに表示されません。

インストールメント クラスタのメニュー項目:

- Driver Assistance (ドライバー アシスタンス)
- View (表示)
- Trip Assist (トリップ アシスト)
- Navigation (ナビゲーション)
- Media (メディア)
- Phone (電話)
- Vehicle (車両)

- ☰ ボタン (A) を使用して、メニューのホーム画面を開きます。
- ◀▶ ボタン (B) を使用して選択可能な項目までスクロールし、
- ◀▶ を押し (本書では **OK** ボタンとも呼ぶ)、選択します。
- ↶ (C) を押すと、メニューは 1 段階前に戻ります。



Driver Assistance (ドライバー アシスタンス)

Driver Assistance (ドライバー アシスタンス) 画面 (さまざまな先進ドライバー アシスタンス システム (ADAS) 機能用のオーバーレイと共に車両の輪郭を示す画面) が開きます。

- **アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)** : クルーズコントロールの設定距離と、前方車両 (存在する場合) との車間距離が表示されます ('速度制御システム', 5.14 ページ参照)。
- **スピードリミッタ (LiM)** : 走行中の道路の制限速度が変更された場合に警告を表示します。設定した車速の上限はスピードメーター ディスプレイの上部に表示されます。
- **車線キープ アシスト (LKA)** : 適切な方向指示灯で車線の逸脱を表示せずに車両が車線の端に近付くか、別の車線にはみ出すと表示されます ('車線アシスト システム', 5.18 ページ参照)。

- **Blind Spot Assist (BSA = ブラインド スポット アシスト)** : ドライバーの死角内に別の車両が存在する場合に表示されます。検出された車両と同じ側の方向指示器を作動させると、二次警告が表示されます ('ブラインド スポット アシスト', 5.24 ページ参照)。
- **交通標識アシスト** : 車両のカメラが検出した道路標識の情報 (車速や追い越し制限など) が表示されます ('交通標識アシスト', 5.22 ページ参照)。
- **リア クロス トラフィック アラート (RCTA)** : リバースを選択したときに、自車の後方に車両、人、他の障害物が存在するときに警告を表示します ('リア クロス トラフィック アシスト', 5.49 ページ参照)。
- **ドライバー アテンション アシスト** : 休憩なしで長時間走行した場合に警告を表示し、ドライバーに休憩を促します ('ドライバー アテンション アシスト', 5.23 ページ参照)。

View (表示)

本メニュー項目を使用して、インストルメント クラスタの表示形式を以下から選択できます - 2 個のインフォメーション ディスプレイ ウィンドウ付きシングル センター コンビネーション ダイヤルまたはスピードメータ用独立ダイヤルとギア インジケータ付きコンビ タコメータを備えたシングル センター インフォメーション ウィンドウ。

いずれの表示形式にも以下の 3 種類のテーマを選択できます : 「ライト」、「ダーク」、「オートマチック」(車外の光量に応じてライトとダークが変更)。

 選択したテーマはインフォテインメント画面にも反映されます。

Trip Assist (トリップ アシスト)

トリップ メニューには、車両の走行情報が表示されます。トリップ メニューから以下の項目を選択できます :

- **Mileage (走行距離)** :
トリップの走行距離と車両の総走行距離が表示されます。
- **Range (航続可能距離)** :
燃料の残量とその瞬間の燃費に基づく車両の航続可能距離が表示されます。
ナビゲーションの目的地が設定されている場合は、目的地までの距離も表示されます。
- **Trip Information (トリップ情報)** :
走行距離、走行時間、平均車速、平均燃費が表示されます。
 - **From Start (走行開始後)** : トリップ開始時点からの情報を表示します。
 - **From Reset (リセット後)** : 車両トリップ コンピュータの最後のリセット時点以降の累積情報が表示されます。

トリップのリセット

トリップ コンピュータの表示値をリセットするには、**Mileage (走行距離)** または **Trip Information (トリップ情報)**)画面でステアリング ホイールの  を押し続けます。

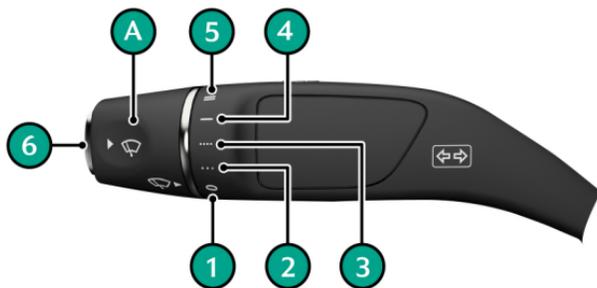
Navigation (ナビゲーション)

経路が設定されている場合に、次の曲がり角を表示します。経路が設定されていない場合は、進行方向が表示されます。

Media (メディア)

選択されたメディアトラックが表示されます。

ワイパーコントロール



拭き取り速度セレクタ (A) を回し、拭き取り頻度を選択します。

[1]: フロントワイパー停止。

[2]: 間欠作動 (レイン センサー低感度)。

[3]: 間欠作動 (レイン センサー高感度)。

[4]: 連続作動 (低速)。

[5]: 連続作動 (高速)。

[6]: 押すと、一回作動します。ボタンを奥まで押し込むと、フロント ガラス ウォッシャーが働きます。

 車速が 240 km/h (150 mph) を超えると、ワイパーは空力上の負荷を低減するために自動的にハイパーク位置に移動することがあります。車速が 4 km/h (3 mph) を下回ると、ワイパーは通常どおりに働くようになり、標準パーク位置に戻ります。

! 注意：洗車機使用時または高圧洗浄時はイグニッションを ON にし、ワイパーを OFF にしてください。イグニッションを ON にすると、ワイパーアームがパーク位置でロックされ、ワイパーアームの損傷が防止されます。

照明スイッチ

エクステリアランプ

マスターランプスイッチ

ダイヤルを回して明るさを調整します。フォグランプボタンを押し、リアフォグランプを点灯させます。



[1]: 左側駐車灯

[2]: 右側駐車灯

[3]: サイドライト (ナンバープレートランプを含む)

[4]: オートヘッドライトモード

[5]: ロービームヘッドライト

[6]: リアフォグランプ¹

車外灯 (サイドライト / 駐車灯を除く) は、イグニッションを OFF にすると自動的に消灯します。

¹ リアフォグランプは、ヘッドライトがロービーム (4) またはオート (5) に設定されている場合のみ点灯します。

オートヘッドライトモード

車両周辺が暗くなると、ヘッドライト、リアランプ、ライセンスプレートランプが自動的に点灯します。その後、車両周辺が明るくなると、ヘッドライト、リアランプ、ライセンスプレートランプは自動的に消灯します。オートランプ機能は、市場によって異なります。

 オートヘッドライト機能では、ライトが点灯すると内部タイマーが始動します。内部タイマーは、建物の間を走行する際に周囲の明るさが急激に変化した場合に、ライトの点灯/消灯が頻繁に切り替わるのを防ぎます。周囲で適切な光量が検知されてからヘッドライトが消灯するまでにわずかな遅れが生じることがあります。

オートハイビーム

 **警告：**オートハイビームは単なる補助機能です。システムは路面状況、気象条件、交通状況を認識しないため、車両の照明が走行条件にとって適切かどうかを判断するのは、ドライバーの責務です。

 レイン/ライトセンサーは、視界が悪いときや、霧、雪、埃で遮られている場合は正常に働かないことがあります。

オートハイビーム機能は他の道路使用者が存在するときに、ハイビームとロービームを自動的に切り替えるために使用します。¹ システムはレイン/ライトセンサーを利用して路上の他の車両の距離を判定し、所定の範囲内に車両が存在するときはヘッドライトをハイビームからロービームに切り替えます。車両が検出されなくなると、システムはヘッドライトをハイビームに戻します。

オートハイビームの起動

オートハイビーム機能はハイビームを点灯させ、マスターランプスイッチをAUTOの位置に合わせると、常に有効になります。ワイパーレバーで手動でロービームを選択するか、マスターランプスイッチをロービームの位置に合わせると、取り消されます。オートハイビーム機能が有効なときは、インストルメントクラスタのが点灯します。

¹ システムは、周囲光と車両のフロント/リアランプからの光を検出して駐車車両と走行車両を区別します。

レバー スイッチ



ハイビーム

レバーを前方に押すと、ハイビーム ヘッドライトが点灯します。手前に引いて元の位置に戻すと、ロービーム ヘッドライトに戻ります。

ヘッドライト点滅

レバーを手前に引くと、ハイビーム ヘッドライトが点滅します。

方向指示灯

車線変更などの際に方向指示灯を短時間点滅させるには、押し上げて右方向、押し下げて左方向を表示させます。ロックされる位置までレバーを押すと、選択された側の方向指示灯が点滅を続けます。車線変更が完了すると、レバーは中央位置に戻ります。

ハザードランプ

 イグニッションを OFF にしても、ハザード警告灯は点滅を続けます。



 (A) ボタンを押すと、ハザード警告灯が ON になります。全方向指示灯が点滅します。ハザード警告灯は、ボタンを再度押すと消灯します。

インジケータ レバーを使用して方向指示灯を操作した場合は、選択された側の方向指示灯だけが点滅します。方向指示灯を取り消すと、ハザード警告灯の点滅が再開されません。

インテリアランプ

インストルメント照明



日中におけるインストルメント（計器）用照明の明るさは、デフォルトで最大に設定されます。夕方と夜間の照明は、フロントガラス最上部にあるトワイライトセンサーによって規定の水準まで自動的に暗くなります。

 トワイライトセンサーが覆われると、照明は夜間モードのときと同様に暗くなります。ガレージ内に駐車する場合一例です。

照明の明るさは、照明ダイヤル (A) を使用して下げることができます。

マップランプ

フロントヘッダートリムには2個のマップランプが装備されています。ランプのON/OFFを切り替えるには、マップランプのベゼル (A) に触れます。

ON/OFFを切り替えないと、イグニッションを切ってから6分が経過すると消灯します。



リアヘッダーの中央にもリアマップランプが装備されています。

運転技術	5.2
多目的カメラ	5.4
エンジンの始動方法	5.4
トランスミッションの制御	5.5
ドライブ モード	5.10
速度制御システム	5.14
車線アシスト システム	5.18
交通標識アシスト	5.22
ドライバー アテンション アシスト	5.23
ブラインド スポット アシスト	5.24
アダプティブ ダンピング	5.27
ブレーキ	5.28
エレクトロニック スタビリティ プログラム (ESP)	5.36
タイヤ空気圧モニタ システム (TPMS)	5.40
エコ走行機能	5.42
ガソリン微粒子フィルタ (GPF)	5.44
パーク アシスト システム	5.45

運転技術

多くの新規オーナーは、本車両の運転手順に不慣れな可能性があります。車両特性を活かした運転技術をマスターし、アストンマーティン車の安全な運転をお楽しみください。車両の高い性能を探索する前に、安全な低速で車両の運転に慣れてください。

過激な運転の回避、低速走行、適正なタイヤ圧、最小限のアイドリング、過度の重量負荷の回避によって、燃料消費を抑制し、二酸化炭素の放出を削減できます。

パフォーマンス ドライビング コース

車両の制御機能とパフォーマンス ドライビングの原理をご理解いただくために「パフォーマンス ドライビング コース」が開催されています。詳しくは、アストンマーティンディーラーまでお問い合わせください。

慣らし運転

本車両のエンジンには製造過程で十分な走行テストが行われており、特別な慣らし運転は不要です。しかし、当初の1500 km/900 miles は急加速を避け、急勾配や急カーブで低めのギアを使用するなどしてエンジンに加わる負荷を抑えることをお勧めします。

トラック デイ

本車両をトラック デイで使用する前に、車両設定、サービス パーツ、推奨事項についてアストンマーティンディーラーにお問い合わせください。

濡れた路面での走行

濡れた路面の走行中は、タイヤの下側に水分が溜まり、水の層に載った状態になります。これがアクアプレーニングまたはハイドロプレーニングと呼ばれる現象です。この現象が発生すると、車両をほとんど制御できなくなるか、完全に制御できなくなります。アクアプレーニング現象は、大量の水が溜まっている路面を高速で走行しているときに起こりやすくなり、加えてタイヤ空気圧が不足しているか、トレッドの摩耗限界に近付いているときは、特に起こりやすくなります。

特に路面が濡れているか、滑りやすい場合は、カーブでは安全かつ妥当な速度まで減速することが重要です。

雨天走行時の減速

低速でのタイヤのスリップ

特定の状況下では、サマータイヤ装着時にステアリングを強くロックさせると、低速でタイヤがスリップすることがあります。この現象は車両の特性によるもので、車両の安全性や性能には影響しません。

寒冷気候におけるブレーキ

低温下(0℃以下)では、ブレーキパッド内の水分が凍結し、ブレーキパッドがブレーキディスクに固着することがあります。長期間の駐車後に車両を使用したときは、最初に通常よりも大きなトルクが必要になることがあり、ブレーキパッドが解放された際にノイズが発生することがあります。パッドが解放された後は、ブレーキは通常どおりに作動するようになります。

水深のある場所での運転

深い水溜まりを走破すべきか迷ったときは、常に安全を優先し、車両のエンジンや他の重要システムに損傷が生じ、高額な修理費が発生するおそれがある状況を避けてください。

▼ 注意：水深がフロントバンパー下端よりも上の場合は、絶対に運転しないでください。撥ねた水がフロントアッパーグリルのエンジン吸気口に浸入し、エンジンに重大な損傷が生じるか、運転不能状態に陥るおそれがあります。特に水深が不明の場合は、十分に用心して走行してください。

水深のある場所では、トラクションやブレーキ性能が低下することがあります。水溜まりを抜けた後は、ブレーキペダルを軽く踏み込みながら低速で走行し、必ずブレーキを乾かしてください。

⚠ 他の車両や自然に発生した波によってもエンジン吸気口に水が浸入することがあります。

多目的カメラ

多目的カメラ (A) はフロント ガラス上部に装着されており、車両のいくつかのドライビング システムに車外の情報を提供します。



そうしたドライビング システムが正常に働くためには、カメラ前方のフロント ガラス部分を清潔な状態にしておく必要があります。カメラはワイパー ブレードの拭き取り範囲内にあるため、悪天下ではワイパーを作動させるとその部分も清掃されます。夏季などの乾燥が長く続く季節では、フロント ワイパーを定期的に使用して汚れや埃が溜まるのを防いでください。

エンジンの始動方法

⚠ 警告：ブレーキペダルを踏めば、車内の誰でもエンジンを始動させることができます。車内にキーを残し、幼いお子様などの乗員を置き去りにしないでください。

⚠ 注意：超低温 (-20°C 以下) 時の駐車中や発進時は、冷却水温度が標準作動温度に達するまではエンジン回転数を 4000 rpm 以上に上げないでください。回転数を上げ過ぎると、エンジンとトランスミッションが損傷する危険があります。



トランスミッションの制御

⚠ 注意：パーキングブレーキが掛かり、ギアがパーキング(P)のポジションに入っているか確認してください。

その状態では、エンジン始動後に車両が動き出すことはありません。

エンジンを始動するには、ブレーキペダルを完全に踏み込み、**START/STOP(A)**を押します。

エンジンのクランキングが始まった時点で、**START/STOP**を放します。

エンジンの停止

START/STOPを押すと、エンジンが停止します。

オートマチックトランスミッションには次の3種類のドライブモードが搭載されています。

- **オートマチックモード：**
トランスミッションはドライバーの操作なしに自動制御されます。
- **セミオートマチックモード：**
変速は、ステアリングホイール裏側のギアシフトパドルを操作して制御できます。必要に応じて自動的に変速されます。
- **マニュアルモード：**
変速はステアリングホイール裏側のギアシフトパドルによってのみ制御され、自動変速は行われません。

オートマチックモード



オートマチックモードでは、ドライブモードはロアコンソールのトランスミッションセレクターレバー(A)で選択します。前進中は、車速、現在選択されているギア、加速の必要性などのさまざまな条件に応じて自動的に変速が行われます。停車状態では、アクセルを踏むとすぐに発進できるよう1速ギアが選択されます。

リバース (R)

リバースを選択すると、インフォテインメント画面はリバースカメラディスプレイに切り替わります。

ニュートラル (N)

Nを選択すると、ギアはニュートラルに入ります。

⚠ 注意：エンジンの高速回転時にパーキングまたはニュートラルからドライブまたはリバースに変更しないでください。トランスミッションまたはエンジンが損傷するおそれがあります。

ドライブ (D)

Dを選択すると、前進ギアに入ります。

パーキング (P)

停車中にパーキングスイッチ(B)を押します。トランスミッションは機械的にロックされます。

⚠ 注意：パーキング(P)選択時は、必ずパーキングブレーキを掛けてください。車両の偶発的な発進が防止されません。

🚗 パーキングは、2 km/h (1 mph) 以上のときは選択できません。

キックダウン

オートマチックモードでは、追い越しなどの急加速が必要な状況下ではキックダウン機能を使用します。アクセルペダルを素早く完全に踏み込むとキックダウン機能が働き、選択可能な最も低いギアが選択され、加速が最大になります。締結されるギアは、キックダウン時の車速によって異なります。

セミオートマチックモード：

セミオートマチックモードでは、前進ギアの変速はステアリングホイール裏側のパドルで行います。エンジン回転数が上がり過ぎるか、下がり過ぎると、トランスミッション制御モジュールによって自動的に変速が行われます。

セミオートマチックモードでは、ドライブが選択されるまでアップシフト (+) パドルを引き続けるとオートマチックトランスミッションモードに切り替わります。

アップシフト (+) またはダウンシフト (-) パドルを引くと、セミオートマチックモードに入ります。車両の加減速状況に応じてアップシフトまたはダウンシフトパドルを引いては放し、シフトアップとシフトダウンを行います。

パドルを引いて変速を行わない場合は、エンジン回転数が作動範囲の上限または下限に達すると、自動的にシフトアップとシフトダウンが行われます。

ハイギアで走行中、ダウンシフトパドルを引き続けると、利用可能な最も低いギアが選択されます。例えば、6速のときは2速が選択されます。



- [1]: ダウンシフト パドル。
- [2]: アップシフト パドル。

ギアシフト インジケータ

変速中は、現在選択されている実際のギア (R、D1、D2 など) と目標のギアがインストルメント クラスタに表示されます。

インストルメント クラスタには燃費向上のために変速を促す上向き矢印も表示されます。例えば、7 速で走行中に上位のギアを選択すべきときは、7[^] と表示されます。



マニュアルモード

- 📖 エンジンを保護するために、停車するとトランスミッションは自動的に1速にシフトダウンされます。
- 📖 シフトパドルを引き続けても、トランスミッションはオートマチックモードには戻りません。
- 📖 イグニションをOFFにすると、トランスミッションはオートマチックモードに戻ります。
- 📖 トランスミッションは自動的に1速から2速に入ります。

マニュアルモードはセミオートマチックモードと同様に働きますが、エンジン回転数が上限に達してもトランスミッションが自動的に変速されない点だけが異なります。一定時間の経過後もトランスミッションはオートマチックモードに戻りません。マニュアルモードを選択するには、マニュアルスイッチ(A)を押します。再びスイッチを押すと、マニュアルモードが解除されます。



シフトランプ

マニュアルモードでは、インストルメントクラスタ上部のシフトランプが点灯します。シフトランプは、エンジン回転数が上昇するにつれて左側から右側へ追加されます。

ドライブモード

異なる走行モードを選択することで、変速やスロットルレスポンスといったドライビング特性を変化させることができます。

5種類のドライブモードを選択できます。ダイヤル(A)を回し、以下の間で切り替えます：

- Wet
- GT (デフォルト)
- Sport
- Sport+
- Individual (個別設定)



選択されたモードは、インストルメントクラスタの上部(B)に表示されます。

 **ドライブモードは、エレクトロニックスタビリティプログラム(ESP)とアダプティブダンピングシステム(ADS)とは独立して働きます。**



Wet モード

WetモードではGTと同様の較正が採用されますが、悪条件下での運転により適した設定になります。ESPにはグリップが最大化されるよう、濡れた路面に特化したチューニングが施されます。さらに、動力の伝達が想定を超えず、円滑な変速が行われるようエンジンマップに独自の較正が採用されます。

WetモードではSportと同様の較正が採用されますが、悪条件下での運転により適した設定になります。ESPにはグリップが最大化されるよう、濡れた路面に特化したチューニングが施されます。さらに、動力の伝達が想定を超えず、円滑な変速が行われるようエンジンマップに独自の較正が採用されます。

デフォルト設定

パラメータ	設定
サスペンション：	GT
ステアリング：	GT
ESP：	Wet
パワートレイン：	Wet
ストップ/スタート：	ON
エキゾースト：	GT

GT モード

GTモードはデフォルトの快適設定であり、通常走行や高速道の走行に適しています。

車両はエンジンとトランスミッションの基本的な較正を使用するよう設定されます。本モードは、ESPを通常走行用のデフォルト値に設定した、ツーリングスタイルの走行に適します。

燃費を向上させるために、ストップ/スタート機能を利用できます。

デフォルト設定：

パラメータ	設定
サスペンション：	GT
ステアリング：	GT
ESP：	ON
パワートレイン：	GT
ストップ/スタート：	ON
エキゾースト：	GT

Sport モード

Sport モードではより積極的なトランスミッション較正が使用されますが、変速時の快適性は維持されます。

より積極的なトランスミッション較正が採用されますが、十分な快適性によって一般走行にも適します。スロットルレスポンスも向上し、エンジンがより低回転のときにエキゾースト バイパス バルブが作動するため、ドライバーの一体感が高まります。

車両の運動性能がパワートレインの較正とマッチするよう、デフォルトでサスペンションはより硬くなり、操舵に要する力が増大します。

燃費を向上させるためにストップ/スタート機能を利用できます。

デフォルト設定：

パラメータ	設定
サスペンション：	Sport
ステアリング：	Sport
ESP：	ON
パワートレイン：	Sport
ストップ/スタート：	ON
エキゾースト：	Sport

Sport+ モード

Sport+ モードでは、*Sport* モードよりもトランスミッションとエンジンのレスポンスが向上します。エキゾースト バイパス バルブの設定も変更され、より低いエンジン負荷と回転数で開放されます。サスペンションはさらに硬くなりますが、ステアリングの重たさは *Sport* モードにおける設定と同一です。

Sport+ モードでは、ストップ/スタート機能は無効になります。

デフォルト設定：

パラメータ	設定
サスペンション：	Sport+
ステアリング：	Sport
ESP：	ON
パワートレイン：	Sport+
ストップ/スタート：	OFF
エキゾースト：	Sport+

トランスミッション温度計

Sport+ モードではトランスミッションの温度計 (C) も追加されます。



Individual (個別設定)

Individual (個別設定) モードは、ドライバーが各パラメータを設定するカスタム セッティング モードです。

Individual (個別設定) モードを設定するには、センター コンソールのドライブ モードダイヤルを回して *Individual (個別設定)* に合わせ、*Personalise (パーソナライズ)* を選択します。¹ 以下から選択します。

パワートレイン

ドライブ :	Wet	GT	Sport	Sport+
エキゾースト :	GT	Sport	Sport+	

ドライブ ダイナミクス

ステアリング :	GT	Sport	
サスペンション :	GT	Sport	Sport+

¹ Individual (個別設定) のモードパラメータが設定済みのときは、*Personalise (パーソナライズ)* が *Edit (編集)* に変化します。

速度制御システム

⚠ 警告: ACCまたは可変速度リミッターは、道路と交通の状況が長時間の定速走行に適している場合のみ使用してください。この警告を順守しないと、事故や衝突が起こり、死に至るか、重傷を負うおそれがあります。

⚠ 警告: ACCと可変速度リミッターは走行支援機能であり、路面状況、気象条件、交通状況は考慮されません。車速、ブレーキ操作、車間距離の維持、適切な車線の維持は常にドライバーの義務です。

📖 ESPがOFFに設定されていると、アクティブブレーキアシストとアダプティブクルーズコントロールは解除されます。

本車両の速度制御システムは、ユーザーが選択可能な次の2大機能で構成されています：

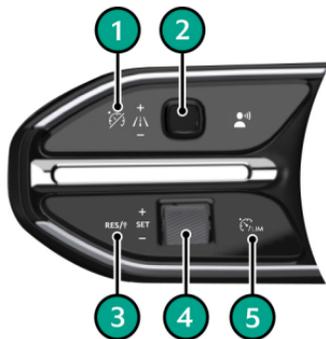
可変速度リミッター

ドライバーが手動で速度制限を設定するために使用。

アダプティブクルーズコントロール(ACC)

周囲の道路状況に適応させることができる速度制限を設定するために使用。

ACCおよび可変速度リミッターコントロール



[1] 取り消し: タップすると、設定速度が取り消されます。

[2] 距離の調整: ACCが有効なときにスワイプすると、先行車両との車間距離が増減されます。

[3] RES (再開): タップして設定速度を再開するか、速度を交通標識認識システムが検知した制限速度に設定します。

[4] 速度設定ダイヤル: ローラーダイヤルを回して、設定速度を調整します。

[5] ACC/LIM選択: タップすると、ACC  と可変速度リミッター  機能間の切り替えができます。

速度の設定

速度セレクトダイヤル (4) を上方向または下方向にスクロールすると、車速が 2 km/h (1 mph) 単位で加減速します。スイッチをいずれかの方向に押すと、クルーズコントロールに新たな車速が設定されるか、新たな制限速度が設定されます。

設定した速度は、インストルメントクラスタの車速の上部に表示されます。

設定速度の再開

⚠ 警告：速度設定は、ドライバーが設定速度を把握しており、その速度に戻したい場合だけ再開してください。

 (3) を押すと、ACC または可変速度リミッターの設定速度が再び有効になります。

ACC を解除するか、ブレーキペダルを踏むと、ACC は解除されますが、設定速度はそのままメモリーに保存されます。再び速度設定スイッチを押すと、車両は設定速度に戻ります。

可変速度リミッター

可変速度リミッターは、設定速度を超過しないよう、自動的にブレーキ操作を行います。本機能はあくまでも走行支援用であり、路面状況、気象条件、交通状況は考慮されません。車速、適切なブレーキ操作、車線の維持はドライバーの義務です。

 可変速度リミッターは車速が 180 km/h (112 mph) 以下のときに働きます。

解除

 イグニションを OFF にすると、設定速度は消去されず。

可変速度リミッターは、 を押すと解除されます。ACC を選択しても、設定速度は解除されず

速度リミッター適応機能付き ACC

操作

⚠ 警告：ACC は、停止した車両と静止している障害物は見分けられないことがあります。衝突を防ぐために、渋滞時は ACC は使用しないでください。

ACC 機能を使用すると、アクセルを操作せずに指定した車速が維持されるだけでなく、先行車両との車間距離が設定値で維持されます。

 ACC は車速が 180 km/h (112 mph) 以下のときに働きます。

以下の状況では、ACC システムを使用しないでください。

- 路面 / 交通状況によって定速走行ができない場合（渋滞時やカーブの多い道路など）。
- 平坦な路面または滑りやすい路面の走行。ブレーキ操作やアクセル操作によって駆動輪のトラクションが失われ、横滑りすることがあります。
- （霧、豪雨、雪などによって）視界が悪い場合。

ACC の車間距離設定

⚠ 警告：ACC は交通状況、路面状況または気象条件に応じた制御は行いません。車速の制御や緊急時のブレーキ操作はドライバーの義務です。定速走行ができない状況（渋滞時、カーブの多い道路、気象条件によって滑りやすい道路など）では、ACC を使用しないでください。

ACC システムは、先行車両との車間距離を設定値で維持します。先行車両がブレーキを掛けると、自車も減速して速度を一致させ、先行車両が加速すると、クルーズコントロールの設定速度まで加速します。車間距離は、距離制御ボタン (2) で設定できます。

 ACC システムは、オートバイなどの幅が狭い車両や、別の車線を走行する車両は検出できないことがあります。センサーが汚れているか、遮られていても、障害物の検出性能が低下することがあります。

車速の自動再開

ACC の使用中に先行車両が停止したために自車が停止し、3 秒以内に先行車両が再発進すると、設定速度が自動的に再び有効になります。自車が 3 秒を超えて停止したとき

は、 を押すか、アクセルペダルを踏むと、ACC 機能が再開されます。

制限速度の適応

 制限速度の適応機能は車速を制限する機能ではなく、ACCの設定速度を道路の制限速度に合わせて調整する機能です。ドライバーは常にアクセルペダルを操作して車速を変更できます。

ACCは、交通標識アシストシステムが検知した場合、設定速度を道路の制限速度に適応させます。適応作業は、制限速度が変更されたエリアに車両が進入した時点で手動で行うことも、自動で実行することもできます。

• 手動操作：

新たな制限速度のエリアに進入すると、ポップアップウィンドウが表示されます。 を押し、クルーズコントロールに新たな制限速度を設定します。

• 自動操作：

新たな制限速度のエリアに進入すると、車両は自動的に道路の制限速度を採用します。

ACCをマニュアルモードまたはオートマチックモードに設定するには、(‘アダプティブクルーズコントロール’、12.3ページ参照)。

解除

 イグニッションをOFFにすると、設定速度は消去されます。

ACCを解除するには、 を押します。

次の場合、ACCは自動的に解除されます。

- ブレーキペダルを踏んだ。
- パーキングブレーキを掛けた。
- ニュートラル、パーキング、リバースのギアポジションを選択した。
- トラクションコントロールシステムが作動した。
- 可変速度リミッターが作動した。
- ACCシステムに不具合が生じた。システムは、不具合が解消されるまでは作動しません。
- ESPをOFFに設定した。

車線アシスト システム

安全面での警告

⚠ 警告：車線キープアシスト機能は常に車線境界線を正確に検出できるわけではなく、不適切な警告が発せられることがあります。車線キープアシストは単なる補助機能であり、ドライバーの慎重な運転が不要になることはありません。周囲の状況に注意を払うことは、ドライバーの義務です。必ず自車の側面と他の道路使用者や障害物との距離が十分に確認してください。

⚠ 警告：車線キープアシスト機能は路面状況、交通状況、気象条件に応じた制御は行いません。車速、適切なブレーキ操作、車線の維持はドライバーの義務です。

 車線キープアシスト機能は、車速が 60 km/h (37 mph) から 180 km/h (112 mph) の範囲内でのみ働きます。

車線アシスト システムは多目的カメラを使用して車両前方の車線境界線を検出します。本システムは、支援レベルが次第に強化される次のシステムで構成されています：

- 車線逸脱警告。
- 車線キープアシスト。

システムの制約

車線キープアシスト機能は、以下の場合には正常に働かないことがあります。

- 多目的カメラ周囲が汚れている、損傷している、または遮られている。
- 先行車両との車間距離が短い。
- 合流する車線や交差する車線などがあり、多くの車線境界線が頻繁に変更される。
- 道路幅が非常に狭く、曲がりくねっている。
- 車線境界線が存在しないか不明瞭（消えかかっている、新旧両方の境界線が混在する、路面の色が頻繁に変化する）。
- 雪、雨、霧、霧雨などの気象条件で視界が悪いか、車線境界線が隠れている。路面が雨で反射している状態も含む。
- 太陽光または他の道路使用者のヘッドライトによって多目的カメラにグレアが生じている。

システム ステータス

車線アシストシステムの状態はインストルメント クラスタ最下部に表示されます。

- ・ **グレー**：システムは起動しているが、車線境界線が検出されていない。
- ・ **全体が緑色**：システムは起動しており、有効な車線境界線が検出されている。
- ・ **赤線付き緑色**：システムは起動しており、車両が車線境界線を越えたことが検出された。車両が越えた境界線は、赤で表示されます。
- ・ **黄色**：システムに不具合が発生し、起動していない。アストンマーティン デイラーにご連絡ください。
- ・ **白色**：システムを手動で解除した。



車線逸脱警告

 本警告は、例えばコーナリング時や、高速道のような車線幅が広いときに別の車線境界線に接近すると、より早期に発せられることがあります。



一方の前輪が車線境界線を越え、走行車線をはみ出すと、車線逸脱警告による最初の警告としてステアリング ホイールが振動し、インストルメント クラスタに警告が表示されます。ドライバーがその警告に反応しないと、次の段階として車線キープ アシストシステムが起動し、左右いずれかの前輪を瞬間的に制動し、車両を適切な車線に戻します。

車線キープアシスト

⚠ 警告：車線キープアシストによって車両が常に元の車線に戻るわけではありません。ドライバーが必ず加速、操舵、制動を完了させる必要があります。

⚠ 警告：車線キープアシスト機能は他の道路使用者に応じた制御は行いません。さらに、交通状況を検出することはできません。特定の状況（車線境界線をまたいで走行したときや、障害物を避けるために車線をはみ出したときなど）では、システムは不必要に操舵を行うことがあります。反対方向へゆっくりとステアリングを切ると、そうした状況下での是正用の操舵を中止させることができます。他の交通との間に十分なスペースがあるか常に確認してください。

 車線キープアシストは、車両が当初の車線を逸脱するたびに一回だけ働きます。車両が元の車線に戻らない限り、是正用の操舵が再度行われることはありません。

車両が車線境界線を通り越し続ける場合、車線キープアシストは車両を瞬間的に片側に寄せるよう操舵し、車両を当初の車線に戻す補助をします。是正操舵が行われると、インストルメントクラスターの警告灯が点灯します。システムが作動するためには、車両の両側に車線境界線が存在する必要があります。

車線キープアシストは、以下の場合は働きません。

- ドライバーが明らかに意図的な操舵、制動、加速を行った。
- 方向指示灯を点滅させた。
- TPMSによってタイヤの不具合が検出された。
- トラクションコントロールシステムが作動した。
- トランスミッションがD（ドライブ）以外のポジションに入っている。
- 自車の車線に障害物が検出された。
- 高速走行または急加速によってコーナーに接近し、急制動によって車両のバランスが崩れるおそれがある場合。

車線キープアシスト機能を取り消すには：

- 方向指示灯を点滅させる。
- ブレーキを掛ける。
- 加速する。
- 反対方向へゆっくりと操舵する。

システムの解除

車線キープアシスト

 車線キープアシスト機能はデフォルトで ON に設定されています。

 車線キープアシスト機能を解除しても、車線逸脱警告は解除されません。

車線キープアシスト機能を解除するには、 ボタン (A) を押します。



車線逸脱警告

車線逸脱警告は、車両設定メニューのみで解除できます。(‘車線キープアシスト’, 12.4 ページ参照)。

車線キープアシストと車線逸脱警告の両方を解除すると、インストルメントクラスタに  が表示されます。

交通標識アシスト

 交通標識アシストは、単なる補助機能です。道路の制限速度が常に適切に表示されるわけではありません。走行する道路の交通標識や速度制限を認識することは、ドライバーの義務です。交通標識アシスト機能による表示よりも常に実際の標識を優先させてください。

 交通標識アシストシステムは、ナビゲーションシステムと連携して制限速度を把握します。

交通標識アシスト機能は、走行中の道路の最高速度をインストルメント クラスタに表示します。システムは追い越し禁止も表示し、一方通行の道路を逆走すると警告を発します。走行中の道路に適用される交通標識を通過すると、その情報はインストルメント クラスタ内で更新されます。

走行する道路を変更した（例えば最高速度が異なる別の道路に合流した）ときは、交通標識が検出されなくとも交通標識アシストの表示が更新されます。それに伴いビーブ音が鳴り、速度が点滅して最高速度の変更が表示されます。車速が走行中の道路の最高速度を超えると、警告音が鳴ります。

交通標識アシスト システムが走行中の道路の最高速度を検出できない場合、インストルメント クラスタに最高速度は表示されません。

 速度規制区間の終わりを示す交通標識を通過したときは、その情報が5秒間表示されます。該当する最高速度の情報はインストルメント クラスタに表示され続けます。

追加速度制限

交通標識アシストは、雨天における速度制限といった追加的な制限を示す交通標識を認識する機能を備えています。追加速度制限は、従うべき規制が存在する場合またはシステムが制限が有効かどうかを適切に判定できない場合のみ表示されます。

交通標識アシストの設定

交通標識アシストの設定（'交通標識アシスト'、12.3 ページ参照）。

システムの制約

交通標識アシスト機能は、以下の場合は正常に働かないことがあります。

- 多目的カメラ周囲が汚れている、損傷している、または遮られている。
- 照明が不十分か、汚れ、氷、雪などで不鮮明になっているために交通標識の判読が困難。
- 雪、雨、霧、霧雨などの気象条件で視界が悪いか、道路標識が隠れている。
- 太陽光または他の道路使用者のヘッドライトによって多目的カメラにグレアが生じている。
- 交通標識が不明確または不明瞭（例えば工事区間内の標識）。
- ナビゲーションシステム内の情報が不正確で更新が必要。

ドライバー アテンション アシスト

⚠ 警告：ドライバー アテンション アシストはあくまでも補助機能であり、ドライバーは引き続き慎重に運転する必要があります。周囲の状況に注意し、必要に応じて休憩を取ることはドライバーの義務です。

ドライバー アテンション アシスト機能は、長距離走行中のドライバーの集中力低下を防ぎます。ドライバー アテンション アシスト機能は、定期的に疲労の兆候や注意散漫状態を検出し、休憩を勧めます。

インストルメント クラスタのドライバー アテンション アシスト ディスプレイには以下の情報が表示されます。

- 走行中に最後に取った休憩からの経過時間。
- ドライバー アテンション アシスト機能が判定した集中力レベル。

 ドライバー アテンション アシスト機能が集中力レベルを判定できないが、警告を表示できないときは、インストルメント クラスタにメッセージが表示され、 が表示されます。

車両を長時間にわたって運転すると、ポップアップ ウィンドウが表示され、インストルメント クラスタに警告灯

 が表示されます。

システムの制約

 ドライバー アテンション アシスト機能は、車速が 70 km/h (43 mph) のときは常に有効になります。

特定の状況下では、ドライバー アテンション アシストが働かないか、通知の表示が遅れることがあります。例：

- 走行を開始してから 30 分以内。
- 路面状況が劣悪（例えば路面に穴や凹凸がある）。
- 高速でのコーナリングや急加速といった意欲的 / スポーツ的なスタイルで走行した。
- 車線と車速を頻繁に変更した。

ドライバー アテンション アシスト機能は、以下の条件下で走行を再開するとリセットされます。

- イグニッション スイッチを OFF にした。
- 運転席のシートベルトを外し、運転席ドアを開いた。

ブラインドスポット アシスト

⚠ 警告：ブラインドスポット アシストはあくまでもドライバーの視覚補助機能であり、ドライバーは引き続き慎重に運転する必要があります。周囲の状況に注意し、車線変更が安全かどうか確認することはドライバーの義務です。必ず自車の側面と他の道路使用者や障害物との距離が十分か確認してください。

⚠ 警告：ブラインドスポット アシスト (BSA) システムは、大きな速度差で自車に接近し、追い越した車両には反応できません。そうした状況では、ドライバーに対して警告は発せられません。常に周囲の道路状況に注意を払ってください。

ブラインドスポット アシストは、安全に車線変更を行うことができるよう、死角内の車両の存在をドライバーに知らせる機能です。

BSA システムは 2 基の後ろ向きレーダー装置を使用して、自車の後方 3.5 m (12 ft) までの範囲と真横 3 m (10 ft) までの範囲を監視します。

およそ 30 km/h (18 mph) を超える速度で走行中に車両が検出され、車両真横の監視範囲に進入すると、ドアミラーの警告灯  が黄色で点灯します。側面の監視範囲付近で車両が検出され、ドライバーがその方向の方向指示灯を点滅させると、ドアミラーの警告灯  が点滅します。車両を短時間で追い越す場合は、警告は発せられません。

 曲がりくねった道路の走行中はシステムは車両を監視できません。

作動条件

ブラインド スポット アシスト システムは、以下の条件下で働きます：

- トランスミッションが D (ドライブ) に入っている。
- 車速が 30 km/h (18 mph) を超えている。
- ブラインド スポット エリア内の車両の速度が以下を満たしている：
 - 5 km/h (3 mph) を超えている。
 - 自車との速度差が -5 km/h (3 mph) から +35 km/h (22 mph) の範囲内。
- 検出可能な車幅が 0.7 m 以上 (例えばバイク)。

 規定値を超える速さで死角に接近しつつある車両を検出すると、BSA システムはその車両を検出範囲に含めません。

システムの制約

BSA システムは、以下の条件下では機能が限定されることがあります：

- センサーが汚れているか、バンパ上の雪や泥などで遮られている。
- 悪天候で視界が悪い (雪、霧、大雨など)。
- ガードレールや長い固定バリアの付近では、警告が誤表示されることがあります。
- 長いトレーラーを牽引する車両などの長さのある車両の脇を通過する際には、警告が中断されることがあります。

システム起動

BSA システムは、インフォテインメント システム / 車両設定で ON/OFF に切り替えできます ('ブラインド スポット アシスト', 12.3 ページ参照)。

ブラインドスポット警告

ステージ1警告

BSAシステムがドライバーの死角内で車両を検知すると、ドアミラーの下部外側に警告灯が表示されます。



ステージ2警告

BSAシステムは以下の条件下でステージ2に設定されます：

- 死角内で車両が検知された。
- 当該車線への車線変更を知らせるために方向指示灯を使用した。

この場合、以下のアクションが行われます。

- ドアミラーの警告灯が点滅します。
- インストルメントクラスタに（車線変更方向の変更を促す）警告灯が表示されます。



降車警告

 降車警告機能は、停車中にトランスミッションをP(パーキング)またはD(ドライブ)に入れると働きます。本機能は、エンジンを切ってから3分以内のときに働きます。

降車警告機能はBSAシステムのサブ機能であり、開いたドアと接触するおそれがある車両または自転車を検出します。

ドアを開くと、¹BSAレーダーが接近中の車両の有無を点検します。衝突する危険があるときは、ドア開放時に警告音が鳴ります。さらに、フロントドアを開くと、ドアミラーのが点灯します。

故障状態

万が一、BSAシステムに故障が発生したときは、インストールクラスタに警告メッセージも表示されます。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

アダプティブダンピング

アダプティブダンピングシステム(ADS)は各種センサーを使用して車体の動きとドライバーの運転操作(操舵、制動、スロットルの踏み込み)を監視します。そして、状況に適合するようサスペンションの減衰力を調整します。



¹ 半ドアスイッチが働いて室内灯が点灯すると、ドアは開放したと判定されます。

本車両には 3 種類のアダプティブ ダンピング モードが搭載されています。 ボタン (A) を押すと、以下のモード間の切り替えが行われます：

- GT (デフォルト設定)
- Sport
- Sport+

 イグニションを ON にすると、ADS は GT モードに設定されます。

 ADS モードは、エレクトロニック スタビリティ プログラム (ESP) とドライブ モードとは独立して働きます。

ADS を GT から変更すると、インストルメント クラスター側に新モードが表示されます。

GT

GT モードではサスペンションにデフォルトの快適設定が適用されます。本モードは、日常的な走行に適しています。

Sport



Sport モードでは、ダンパーの特性変更によって車体の制御性が向上し、乗り心地が固くなります。ステアリングが重くなり、ステアリングのレスポンスとフィードバックが向上します。

Sport+



Sport+ モードでは、ダンパーがさらに固くなります。本モードはトラック走行により適しています。

ブレーキ

フットブレーキ

フットブレーキは、バキューム ブースト機能付きのデュアル (対角配管 2 系統) 回路の油圧システムであり、アンチロック ブレーキ システム (ABS) が搭載されています。

⚠ 警告：ブレーキが故障したときは、周囲の安全が確認され次第、停車してください。運転を続けしないでください。死亡や重傷を招く事故や衝突を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告：ソルトや砂の撒かれた路面を長時間にわたり走行した後や、豪雨下や水溜まりを走行したときや、洗車後の走行時は通常よりも注意してください。ブレーキの反応が遅れ、ペダルが重くなる場合があります。

⚠ 警告：当社では、車両をトラックテイなどのハイパフォーマンス走行に使用する前後に、ブレーキフルードの交換をお勧めしています。交換しないと、ブレーキ性能が大幅に低下する危険があります。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

! 注意：バキューム ブースト機能またはブレーキ回路が故障してもフットブレーキは引き続き働きますが、ペダルが重くなり、踏み代が増し、制動距離が延びます。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

📖 本車両に使用されている高性能ブレーキシステムは、あらゆる運転状況下で最適なブレーキ性能を発揮するように設計されています。しかしながら、本ブレーキシステムにはブレーキノイズをある程度発生させるという固有の特性があります。速度、制動力、周辺状況の特定の組み合わせでは、ブレーキの鳴きが生じることがあります。

ブレーキスロットル オーバーライド

スロットルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、エンジントルクが制限されます。ブレーキペダルを踏まずにスロットルペダルを踏むか、ブレーキペダルを放すと、機能は正常な状態に戻ります。

カーボン セラミック ブレーキ

! 警告：トラック デイや高速走行用：トラック走行や高速走行を行うには、新品ブレーキパッドに適切なコンディショニング (あたり付け) が必要になります。パッドに適切なコンディショニングを行わないと、ブレーキ性能が大幅に低下する危険があります。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

カーボン セラミック製ブレーキシステムは軽量かつ高性能であり、次の特徴を有しています。

- 車両のハンドリングを向上させる、ばね下重量 (サスペンションで支えられていないコンポーネントの重量) の低減。
- 摩耗特性の改善。
- 制動性能の向上。

📖 ブレーキディスク/パッドの摩耗の進み具合は、運転スタイルと車両の使用状況によって変化します。トラックデイに参加すると、ディスクとパッドの摩耗が進みます。

ブレーキ警告灯

⚠ 警告：いずれかのブレーキ警告灯が点灯したときは、制動距離が延びる可能性や、ブレーキシステムが部分的に故障する可能性に直ちに備えてください。

走行中にブレーキ警告灯  が点灯したときは、ブレーキシステムに不具合が生じており、制動性能に影響が生じるおそれがあります。

走行中にブレーキ警告灯  が点灯したときは：

- ブレーキ ブースター システムに不具合が生じており、制動性能に影響が生じるおそれがあります。
- ブレーキ フルードが不足しています。

 インストルメント クラスターのウィンドウには、詳細情報のメッセージも表示されます。

早急に安全かつ適切な場所に停車してください。フットブレーキを掛け、パーキングブレーキが完全に解除されているか確認します。警告灯が点灯した状態では走行しないでください。直ちにブレーキシステムの点検を受ける必要があります。最寄りのアストンマーティン ディーラーにご連絡ください。

ABS 警告灯

⚠ 警告：ABS 警告灯が点灯しているときは、急制動時や滑りやすい路面での制動時にホイールがロックすることがあるため注意してください。

イグニッションが ON のときは、ABS は正常に働いているかどうかモニターされます。不具合が検出されると、

 が点灯し、ABS は部分的または完全に停止します。この場合、ABS を伴わない標準ブレーキが作動を続けます。ABS に不具合が発生したときは、早急にアストンマーティン ディーラーで点検をお受けください。

ABS およびエレクトロニック スタビリティ プログラム (ESP) 警告灯

⚠ 警告：ABS 警告灯と ESP 警告灯が点灯しているときは、急制動時や滑りやすい路面での制動時にホイールがロックすることがあるため注意してください。操舵性能に影響を受けることもあり、横滑り/事故のリスクが増大します。

走行中に 、 と  が点灯したときは、ABS と ESP の両方に不具合が生じています。ブレーキシステムは引き続き作動しますが、ABS や ESP によるアシストは得られなくなります。急制動時に前輪と後輪がロックし、緊急制動距離が延びるおそれがあります。

 インストルメント クラスターの右側ウィンドウに詳細情報のメッセージも表示されます。

慎重に走行し、早急にアストンマーティン ディーラーでブレーキ /ABS システムの点検をお受けください。

アンチロック ブレーキ システム

アンチロック ブレーキ システム (ABS) は、緊急制動時にロード ホイールがロックして車両が横滑りするのを防ぎます。本機能は、ドライバーが操舵性と方向安定性を維持するのにも役立ちます。

緊急制動時に制動力がタイヤのトラクションを超えると、ABS が働いて車輪がロックするのを防ぎます。ABS の作動中はブレーキ ペダルを通して脈動が感じられます。これは ABS の正常な動作です。

安全性

常に走行条件に則した、法規制に従った安全運転を行うことは、ドライバーの義務です。ABS 機能が搭載されていても、ご自分や他の道路使用者の安全を脅かすおそれがある危険は絶対に冒さないでください。

ABS 機能が追加されていても、短過ぎる制動距離での停止、速過ぎる速度でのコーナリング、ハイドロプレーニング現象 (路面上の水の層によってタイヤと路面の直接接触が妨げられた状態) による影響をまぬがれることはできません。

ドライバーは常に道路状況を考慮して運転しなければなりません。ABS 搭載車であっても、滑りやすい路面上では車速と無関係に常に制動距離が延びます。路面のぬかるんだ雪、砂利、砂、特定の凸面 / ハンプ付き警告部で車輪がロックした場合と比較して、ABS 搭載車では制動距離が延びることがあります。

ブレーキ システムに不具合が発生したときは、早急にアストンマーティン ディーラーに ABS システムの点検を依頼してください。

自動緊急ブレーキ (AEB)

⚠ 警告：AEB は単なる補助機能であり、ドライバーは引き続き慎重に運転する必要があります。周囲の状況に注意を払うことは、ドライバーの義務です。常に適切な制動距離を見込んで運転してください。

 AEB は、ESP を Sport+ または OFF に設定すると解除されます。

AEB は、歩行者、サイクリスト、他の車両と衝突する危険を低減する機能です。衝突する危険を検出すると、システムはインストルメント クラスタの  警告灯と警告音でそれを知らせます。ドライバーが衝突リスクに反応しないと、システムによる自動制動も行われます。

衝突の危険が解消されない限り、AEB による警告と制動介入は続きます。アクセルペダルを踏むか、ステアリングホイールを回すと、システムは解除されます。

⚠ 警告：ドライバーが反応せず、自動制動が必要になった場合でも、制動時間は最長 1.8 秒です。本システムによる自動制動の目的は、車両を制御するようドライバーの注意を喚起し、後続車両による後面衝突の危険を低減することです。

 イグニッションを OFF にして ON にすると、AEB は前回設定した感度で起動します。

AEB の感度は、インフォテインメントで *Early* (早め) や *Late* (遅め) の警告あるいは OFF の間で切り替えることができます。('自動緊急ブレーキ', 12.3 ページ参照)。AEB を OFF に設定すると、インストルメント クラスタに  が表示されます。

システムの制約

AEB は、以下の条件下では正常に働かないことがあります：

- 多目的カメラ周囲が汚れている、損傷している、または遮られている。
- 太陽光または他の道路使用者のヘッドライトによって多目的カメラにグレアが生じている。
- 歩行者の輪郭が隠れているか、システムが歩行者の輪郭を背景から識別できない。
- 先行車両の幅が狭過ぎる（オートバイなど）か、先行車両の進路が自車の進路とずれている。
- 車両がレーダーの検出範囲または複雑な交通状況に高速で進入しつつある。
- 背景でレーダーの反射が多い（多段式カーパークなど）。
- 背景の環境が頻繁に変化するか、急激に変化した。
- アクセルペダルやステアリングホイールの頻繁な操作によってドライバーが運転操作を行っていることが明白。

さらに、AEB の制動性能は車両の状態（タイヤやブレーキパッドの摩耗など）、路面状況（グリップの弱い濡れた路面や他の路面など）、気象条件（雪や大雨など）によって大きく影響されます。

故障状態

万が一、AEB の安全な作動を妨げる故障が発生した場合、システムは自動的に解除され、インストルメントクラスタに警告メッセージと  警告灯が表示されます。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

ブレーキパッドのコンディショニング（あたり付け）

⚠ 警告：トラック走行や高速走行では、新しいブレーキパッドに適切なコンディショニングを行ってください。パッドに適切なコンディショニングを行わないと、ブレーキ性能が大幅に低下する危険があります。詳しくは、アストンマーティンディーラーまでお問い合わせください。

新品ブレーキパッドを取り付けたときは、ブレーキディスクとパッドのコンディショニングが必要です。この間、ブレーキ性能が低下します。

新品ブレーキパッド取り付け後の 300 km (200 miles) は、高速走行時や急な下り坂での急停止などの¹ 過剰な負荷が加わる制動は避けてください。詳しくは、アストンマーティンディーラーまでお問い合わせください。

¹ 距離は走行条件やブレーキの使用頻度によって異なります。

パーキング ブレーキ

⚠ 警告：ブレーキ システム警告灯の点灯中や点滅中は、停車状態を維持するためにパーキングブレーキに頼らないでください。アストンマーティン ディーラーにご連絡ください。

⚠ 注意：安全に駐車するには、固く安定した面を探すことが重要です。車両が動き出さないよう、後輪を適切な面に載せる必要があります。

 パーキング ブレーキは車両の後輪を制動します。

 パーキング ブレーキは、P (パーキング) を選択すると自動的に掛かります。

ドライブ アウェイ リリース

⚠ 警告：エンジンを作動させ、ギアをD (ドライブ) またはR (リバース) に入れたまま降車しないでください。必ずP (パーキング) に入れてから降車してください。トランスミッションをD (ドライブ) またはR (リバース) に入れておくと、駆動力がパーキングブレーキの制動力を上回り、車両が動き出すおそれがあります。

 ドライブ アウェイ リリースが働くためには、エンジンを始動し、運転席ドアを閉め、運転席用シートベルトを着用する必要があります。

パーキング ブレーキを掛けた状態で、D (ドライブ) またはR (リバース) を選択し、スロットル ペダルを踏みます。車両が動き出すとパーキング ブレーキが解除され、 警告灯が消灯し、パーキング ブレーキが解除されたことが確認されます。

ドアが開いた状態で車両が動き出したときは、パーキングブレーキは解除されません。その場合、パーキングブレーキスイッチでパーキングブレーキを解除してください。

手動でパーキングブレーキを掛ける

停車時にパーキングブレーキスイッチ (A) を押して放します。パーキングブレーキが掛かると、インストルメントクラスタの (P) 警告灯が点灯します。ブレーキランプは点灯しません。



手動でパーキングブレーキの解除する

 パーキングブレーキを解除するには、イグニッションを ON にする必要があります。

まずブレーキペダルを踏み、次にパーキングブレーキスイッチを引いて放します。パーキングブレーキが解除されると、インストルメントクラスタの (P) 警告灯が消灯し、パーキングブレーキが解除されたことが確認されます。

緊急操作

 **警告**：繰り返しパーキングブレーキを使用して減速したり、パーキングブレーキを掛けのまま走行したりすると、ブレーキシステムに重度の損傷が生じるおそれがあります。

緊急時は、パーキングブレーキスイッチを押し続け、減速してください。(P) 警告灯が点灯して警告音が鳴ります。さらに、インストルメントクラスタに警告メッセージが表示されます。

パーキングブレーキを解除するには、スイッチを放します。パーキングブレーキは、停車してからでないと通常どおりには作動しません。

エレクトロニックスタビリティプログラム (ESP)

寒冷気候下における操作

0°C (32°F) 以下といった低温下でパーキングブレーキを掛けると、ブレーキパッド内の水分が凍結し、ブレーキパッドがブレーキディスクに固着することがあります。長期間の駐車後に車両を使用したときは、最初に通常よりも大きなトルクが必要になることがあります。ブレーキパッドが解放された際にノイズが発生することがあります。パッドが解放された後は、ブレーキは通常どおりに作動するようになります。

長期間にわたり濡れた低温の場所に駐車するときは、可能ならば安定した平坦面に駐車してください。安全を確認後、手でパーキングブレーキを解除してください。

パーキングブレーキの故障

バッテリー電圧の低下

バッテリー電圧が低下し過ぎると、パーキングブレーキを掛けたり、解除したりできなくなります。そうした場合は、補助バッテリーと接続してください。

システム故障

システム内で故障が検出されると、インストルメントクラスタに警告メッセージが表示されます。最寄りのアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

⚠ 警告：法令を順守し、周囲の交通状況に配慮して安全に運転することはドライバーの義務です。

⚠ 警告：ESPが搭載されていても、ご自分や他の道路使用者の安全を脅かすような危険は絶対に冒さないでください。安全運転に勝るものはなく、ESPを搭載していてもエンジン出力を上げ過ぎた結果起こる事故を防ぐことはできません。

エレクトロニックスタビリティプログラム (ESP) は、タイヤのグリップ能力の限界で走行安全性を向上させるよう設計されています。エンジントルクを制御し、個々の車輪を制動してそれを実現します。

⚠ 注意：ステアリングや他の周辺装備の修理や交換は、必ずアストンマーティンディーラーにご依頼ください。ステアリングシステムには操舵角検知センサーが装着されています。ステアリングのセンター位置がずれると、ESPが正常に働かなくなることがあります。

⚠ 注意：タイヤチェーン使用時は、ESPが正常に働かないことがあります。

⚠ 注意：四輪すべてに本書に記載されているのとメーカー、ブランド、タイプ、トレッドパターンが同一で、サイズが適正なタイヤを（'ホイール & タイヤ'、13.16 ページ参照）使用してください。新品タイヤと摩耗したタイヤを同一車輪上で混用しないでください。

ESP モード

ESP には次の 4 種類の作動モードがあります：

Wet

Wet (ウェット) モードでは、雨天だけでなく、降雪 / 凍結時に生じる低摩擦路面で最大級の安定性とトラクション制御が発揮されます。安定性を最大化するために、本モードでは想定内のトルク制御が行われ、極端な制動介入が行われないような較正が採用されます。起動中は、インストルメント クラスタの  が点滅します。

ESP On

ESP On は、エンジンを始動するたびに有効になるデフォルト設定です。起動中は、インストルメント クラスタの

 が点滅します。安定性を向上させるために、エンジントルクと各ホイールの制動は ESP によって制御されます。

ESP On モードは大半の走行条件に適しますが、安定性をさらに向上させたいときはウェット モードをお勧めします。

ESP Track

⚠ 警告：ESP Track は、乾燥したトラック用です。車両の安全性を維持するためには、さらなるドライバーの関与が必要です。

Track モードでは ESP が働くしきい値が高められ、トラクション コントロール システムが許容する車輪のスリップ量が増大し、ヨー安定化が低下します。ESP Track を選択すると、インストルメント クラスタに  が表示されます。

ESP Off

ESP が Off のときは、トラクション コントロールはユーザー設定モードに入ります。インストルメント クラスタには

 だけでなく、設定したトラクション コントロールのスリップ レベル  も表示されます。

詳細については、('トラクション コントロール', 5.38 ページ参照)。

ESPモードを変更するには

ESPモードを変更するには、イグニッションをONにし、トランスミッションをギアに入れます。

ESP OnからESP Trackに変更するには、 (A) を押します。

ESPモードをOffに切り替えるには、 を長押しします。

ESP OffをESP Onに戻すには、 を長押しします。



 ドライブモードをウェットに設定すると、ESPモードは自動的にウェットに変更されます。ESP Onに設定するには、 を再び押します。

トラクションコントロール

トラクションコントロールシステム(TCS)はESPの一機能であり、その目的は発進時や加速中の過剰なホイールスピンを防止することです。一般的にホイールスピンは、アクセルペダルを踏み込み過ぎたときや、滑りやすい路面、脆弱な路面、凹凸のある路面上で起こります。

 **警告：ドライバーには常に法律を順守し、状況に応じた安全運転を行う義務があります。**

 **警告：トラクションコントロール機能が搭載されていても、エンジン出力を状況に適さない程度まで上げ過ぎた結果として起こる事故を防ぐことはできません。ご自分や他の道路使用者の安全を脅かすおそれがある危険は絶対に冒さないでください。**

そうした状況下でホイールスピンを防止し、車両の安定性を維持するために、トラクションコントロールシステムは以下を行います：

- スリップし始めたいずれかの駆動輪を制動する。
- エンジントルクを路面のトラクションにふさわしい水準に適応させる。

 介入による上記の症状は正常であり、ホイールスピンが回避され、エンジンが標準出力に戻ると解消されます。

広範囲の凍結路面や滑りやすい路面を走行中にトラクションコントロールが作動したときは、ESP警告灯 が消灯するまでエンジン出力を落としてください。

アジャスタブルトラクションコントロール

ESP が Off のときは、トラクションコントロール (TC) はユーザーが調整可能なモードに設定されます。ドライブモード選択ダイアルを使用して、トラクションコントロールが許容するスリップレベルを 1 (スリップ量最小) から 9 (トラクションコントロール OFF) までの間で調整します。



設定したレベルとレベルリマインダ通知  がインストルメントクラスタ下部に表示されます。

制御下のスリップ状態を維持するためにエンジントルクが低減されます。TC をレベル 1 に設定すると、スリップ量を最小限に抑えるためにエンジントルクは最大限低減されます。TC レベルを上げるにつれて (最大はレベル 9)、エンジントルク低減量が減少します。TC がレベル 9 (TC Off) のときは、エンジントルク低減量はゼロになります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、以下の設定に応じて動作を変更します。

ESP を ON または Wet に設定すると、ABS は日常的な走行状況や天候 (晴天、雨天、凍結、雪) 下における制動に適した車両パフォーマンス、制御、安定性が提供されるよう設定されます。

ESP システムを Track または Off に設定すると ABS がチューニングされ、経験を積んだドライバーが車両の性能を限界近くまで引き出し、トラック走行で自然なバランスを満喫できるようになります。安定性よりも制動性能が優先されます。

例えばトラック走行時にタイヤの作動温度が高いときは、ABS が許容するスリップ量が増します。その結果、ABS が働く前のドライバーによる制動性能の制御幅が広がります。

タイヤ空気圧モニタ システム (TPMS)

電子デファレンシャル (E デフ)

本車両には電子リア デファレンシャル (E デフ) が搭載されています。E デフは ESP システムと連携し、各後輪に伝達されるエンジン出力を調整 / 制御します。電子マネジメントシステムは、車両周囲のセンサーを利用して車両の挙動をモニターし、リア デファレンシャル ロックの作動を制御します。次にシステムは車両の挙動に適切に対処するように調整され、ドライバーの運転操作に介入できるようになります。システムは、あらゆる車速においてアンダーステアやオーバーステアを引き起こすおそれがある挙動の微細な変化を検出する機能を備えています。システムは、車両の安定性と制御性を維持しながらパフォーマンスを最大化させるために、左右の後輪をロックさせるトルクを増減させることができます。

⚠ 警告：空気圧が大幅に不足した状態で走行すると、タイヤが過熱し、損傷するおそれがあります。さらに、空気の入れ過ぎや空気圧の不足は燃費やタイヤトレッドの寿命を低下させ、車両の操縦性や制動性にも影響します。

⚠ 警告：TPMS によってタイヤの適切な整備が不要になることはありません。TPMS 警告灯が点灯しない程度の空気圧不足であっても、タイヤ空気圧を適正に維持することはドライバーの義務です。

安全性を高めるために、本車両にはタイヤ空気圧モニタ システム (TPMS) が装備されています。本システムは各タイヤの空気圧を表示し、規定の圧力を下回ったときは警告を発します。

少なくとも 2 週間に一度は冷えた状態で各タイヤを点検し、メーカー推奨圧またはタイヤ空気圧ラベルに記載されている圧力まで空気を入れてください。タイヤ空気圧ラベルに記載されているタイヤとは異なるサイズのタイヤが装着されている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。

タイヤ空気圧ディスプレイ

TPMS ディスプレイは、**Vehicle (車両)**メニューでインストルメント クラスタ ディスプレイに表示させることができます。画面には各タイヤの空気圧と温度が表示されます。最低圧を下回ったタイヤは赤で表示され、画面下部の

 警告灯が点灯します。

 タイヤ空気圧は、数分間の走行後に表示されます。



 **警告：タイヤ空気圧警告が表示されたときは、安全な速度まで減速してください。安全な場所に停車してタイヤを点検してください。**

 タイヤ/ホイールのローテーションを行った場合には、タイヤ空気圧が一時的に不適切な位置に表示されることがあります。TPMS は走行開始から数分後に較正され、タイヤ空気圧は適切な位置に表示されるようになります。

TPMS のリセット

 TPMS をリセットすると、すべての警告メッセージが消去され、警告灯が消灯します。TPMS は、新しいタイヤ空気圧を基準値として使用できるようになります。

TPMS のタイヤ空気圧値をリセットするには、ステアリングホイール上の **OK** ボタンを押します。**OK** を押し、新たな空気圧を確認します。

TPMS 故障警告灯

システムやタイヤトランスミッタの不具合によって TPMS が故障すると、 が約 1 分間点滅した後、点灯状態になります。

 **タイヤ空気圧モニタの故障は、表示されるまでに最長で 10 分を要することがあります。TPMS 警告灯は、不具合が解消してから数分間走行すると消灯します。**

TPMS の故障原因には以下の要因があります：

- TPMS センサーが故障した。
- TPMS センサーが装備されていないホイール / タイヤを装着した。
- 未承認のアクセサリによって TPMS が干渉を受けた。
- TPMS システムまたはソフトウェアの不良。

システムに TPMS の故障が表示されたときは、48 km/h (30 mph) 以下に減速して走行してください。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

エコ走行機能

ストップ/スタート

ストップ/スタート機能は、停車時にエンジンを停止させて燃料消費量と排ガスを低減します。

ON/OFF 設定



ストップ/スタート機能は、ロアコンソールの  ボタン (A) によって制御されます。システムが OFF のときは、インストルメントクラスタの  が点灯します。

エンジン停止条件

ストップ/スタート機能が有効な状態で、車両が完全に停止し、トランスミッションがD(ドライブ)またはN(ニュートラル)で、以下の条件が満たされるとエンジンが停止します：

- トランスミッションがD(ドライブ)またはN(ニュートラル)。
- 車両バッテリーが正常。
- ボンネットが閉鎖。
- 運転席ドアが閉まっている。
- ドライバーがシートベルトを着用。
- エンジンが作動温度。
- 外気温が適温範囲。
- クライメートシステムが設定温度に到達。
- エンジンを20秒以上作動させた。

ストップ/スタート機能の作動試行時に上記のいずれかの条件が満たされていないと、表示灯が点灯します。それ以外では、システムが有効なときは表示灯が点灯します。

エンジンが停止しても、残りの全車両システム(ナビゲーション、メディアなど)は引き続き作動します。

エンジン始動条件

以下の条件が満たされると、エンジンは自動的に始動します：

- エンジンが3分間停止状態。
- エンジンが作動温度の上限または下限を超えた。
- スロットルペダルを踏んだ。
- ブレーキペダルを放した。
- ステアリングホイールを回した。
- センタースタックのを押した。
- R(リバース)を選択した。
- Sport+のドライブモードを選択した。
- ドライバーがシートベルトを外した。
- 運転席ドアを開いた。
- 車両が動き出した。
- バッテリーの状態によって再始動が不可能。
- 車内温度がクライメートコントロールシステムの設定温度を下回るか、上回った。

緊急停止

緊急停止と判定される強度の制動が検出されたときは、ストップ/スタート機能によるエンジン停止は行われません。

ガソリン微粒子フィルタ (GPF)

GPF システムは、エキゾースト システムから排出される粒子状物質を削減します。粒子状物質はエキゾースト システム内に蓄えられ、フィルタが満杯になると、走行中に自動的に行われる再生イベントによって燃焼されます。車両を短距離しか運転しない場合や、冷間始動時に発生する粒子状物質の量が多い寒冷気候下では、インストルメント クラスタに警告が表示されます。

ステージ 1 警告



 再生プロセスは、GT モードでクルーズコントロール機能を使用せずに走行し、完了させてください。

ステージ 1 警告が表示されたときは、数分間の定速走行が可能な高速道や同様の道路を走行してください。走行中、エンジンの較正が変更され、排気とフィルタ エレメントの温度がススの燃焼に十分な高温まで上昇します。数分間の走行後（または高速道のジャンクションを出るときに）、一旦、スロットルペダルを数秒間戻します。それによりエキゾースト システム内のススを燃焼させることができます。インストルメント クラスタの警告灯が消灯するまで上記の手順を繰り返してください。

しばらく走行し、上記の指示に従った後も警告灯が消灯しない場合は、アストンマーティン ディーラーにご連絡ください。

ステージ 2 警告



ステージ 2 警告が表示されたときは、GPF システムに不具合が発生しているため、再生プロセスを実行できない状態になっています。GPF の電気 / 圧力システムの不具合、フィルタ自体の不具合、蓄積した粒子状物質の量が多過ぎて安全に燃焼できない状態が生じている可能性があります。本警告灯が点灯したときは、直ちにアストンマーティン ディーラーにご連絡ください。

パークアシスト システム

⚠ 警告：パークアシストシステムはあくまでも運転操作の支援機能です。駐車時や後退時に周囲に注意を払うことはドライバーの義務です。

駐車距離制御

⚠ 注意：障害物を検知し、その距離を予測するのは、常にドライバーの義務です。車両を損傷させるおそれがある、張り出した障害物、垣根、平たい障害物、塗装面などは本システムでは検知できないことがあります。パークアシストシステムを使用する際には、常に周囲に注意を払ってください。

⚠ 注意：センサーは研磨剤や尖った物体で清掃しないでください。センサーが損傷するおそれがあります。

 システムを高い信頼性で作動させるために、フロント/リアバンパーのセンサーから氷、霜、汚れを取り除いてください。高压洗浄機で洗車するときは、200 mm 以上離し、短時間に留めてください。

駐車距離制御 (PDC) システムは、車両周囲の一定の範囲内で障害物を検出すると一連の警告音を鳴らします。

起動

PDC はイグニッションを ON にし、D (ドライブ)、R (リバース) または N (ニュートラル) を選択すると自動的に起動します。起動するセンサーは、選択したギアによって異なります。

選択されたギア	作動するセンサー
(D) ドライブ	フロント センサーのみ。
(R) リバース、(N) ニュートラル	フロントとリア センサー。
(P) パーキング	センサー OFF。

解除

PDC は車速が 18 km/h (11 mph) を超えると解除されます。車速が低下すると、システムは自動的に再起動します。

PDC を手動で解除するには、 を押します。インジケータ LED が消灯し、システムが解除されたことが表示されます。

操作

⚠ 注意: 激しい雨などの悪条件下では、PDC センサーが近くの障害物までの距離を正確に計測できないことがあります。車両が満載状態のときや障害物の形状が変則的なときも、距離の計測が不正確になることがあります。これらの状況では、十分な注意が必要です。

前方または後方で障害物が検知されると、対応するフロント側またはリア側のスピーカーから一連の警告音が発せられます。警告音の間隔は、車両が障害物に近付くと短くなります。

車両前方から約 0.3 m (1 ft) 以内、車両後方から約 1 m (3.3 ft) 以内で障害物が検出されると、警告音は連続音に変化します。

 センサーと同一周波数の超音波が検出されると、PDC システムは誤って警告音を発することがあります。

 PDC システムは内側と外側のセンサーで構成されています。車庫入れ操作などで前進中は、静止状態や遠ざかっていく障害物を 3 秒以上検知すると、フロントの外側センサーは検知を中止します。それによりこの種の運転操作時に、車両の真正面または真後ろの障害物を検出できるようになります。

システムに不具合が検出されると、LED が点滅し、3 秒間のビーブ音が 1 回鳴ります (各イグニッション サイクルで 1 回のみ)。不具合が検知されると、システムは自動的に停止します。



360° カメラ システム

▼ **注意：**カメラシステムでは障害物の表示が歪んだり、遅れたり、不適切になったりするか、まったく表示されないことがあります。フロント/リアバンパーの下側エリアや近接するエリアの障害物は表示されません。ドアミラー、テールゲート、カメラ間の境界エリア(トップダウンビュー)付近の死角にも注意してください。

▼ **注意：**地面上にない障害物は、実際の距離よりも遠くに表示されます。牽引バーや車両バンパーといった車両コンポーネント周囲での運転操作には注意が必要です。

360° カメラシステムは、4台のカメラ(前方、後方、両側ドアミラー)を使用して車両周辺の画像を合成します。画像は、さまざまな運転シナリオに応じた分割画面ビューに使用されます。

起動

360°カメラを起動するには、ロアコンソールの  ボタンを押します。選択されたギアに応じて、フロントビューまたはリアビューの分割画面に画像が表示されます。

 車速が 16 km/h (10 mph) を超えると、カメラシステムは停止します。カメラ画面はそれ以上の車速でも選択できますが、画像は表示されません。

システムは、車速が 11 km/h (7 mph) 以下に低下すると再び画像を表示するようになります。

 カメラを操作するには、イグニッションを ON にしてください。

リバースの選択による起動

リアビューは、リバース選択時に自動的に起動するよう設定できます ('Parking (パーキング)', 12.6 ページ参照)。

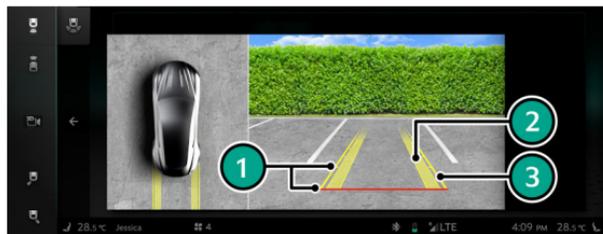
ビューの選択



ビュー選択バーからビューを選択します。表示できる分割画面ビューは次のとおりです：

- リアビュー (狭角と広角から選択)。
- フロントビュー (狭角と広角から選択)。
- 3Dビュー。
- 左コーナー 3Dビュー。
- 右コーナー 3Dビュー。

駐車距離制御とトップビュー(フロント/リアビュー)



駐車時の操作を支援するため、ダイナミック オーバーレイ画面がカメラ画像上に表示されます。オーバーレイ画面は操舵角に応じて調整され、以下の情報を表示します：

1. 距離マーカー
 - ・ **赤色の線**：車両の後方 0.35 m (1.1 ft)。
 - ・ **黄色マーカー**：車両の後方 1 m (3.3 ft)、0.5 m (1.6 ft) 間隔。
2. 予測されるタイヤの軌道。
3. 最大車両幅のガイドライン (ドア ミラーを含む)。

リア クロス トラフィック アシスト

⚠ 警告：リア クロス トラフィック アシストは単なる補助機能です。システムは車両後方の歩行者は検出できません。駐車時や後退時に周囲に十分な注意を払うことは、常にドライバーの義務です。

リア クロス トラフィック アシスト (RCTA) は、自車後方から車両または自転車接近すると、ブラインド スポット アシスト レーダー モジュールを利用してドライバーに警告を發します。¹

リバース ギアを選択すると、RCTA システムは自車後方の走行車両を検出します。物体または車両が検出されると、警告音が鳴り、インフォテインメント画面上で、検出された側に警告が表示されます。

ドライバーが介入せず、引き続き衝突リスクが解消されないと、システムが自動ブレーキを作動させます。

RCTA は、車両設定メニューで ON/OFF に設定できます ('リア クロス トラフィック アシスト', 12.4 ページ参照)。

¹ RCTA は走行車両に対してのみ作動します。静止する障害物は検出されませんが、代わりにパーキング センサーが起動します。



エアコン

クライメートコントロール	6.2
デフロストとデミスト	6.6
クライメートコントロール操作時のコツ	6.7

クライメート コントロール

センター スタックのクライメート コントロール



[1] 曇り取り:

押すと、デフロストまたはデミストが最大レベルで作動するか、停止します。自動的に外気導入が選択され、エアコンが始動します。



[2] ヒーテッドリアウィンドウ:

押すと、リアウィンドウとドアミラーヒーターがON/OFFに切り替わります。リアウィンドウヒーターは20分後にOFFになり、ドアミラーヒーターは6分後にOFFになります。



[3] AUTO:

押すと、オートクライメートコントロールが作動します ('オートクライメートコントロール', 6.5 ページ参照)。



[4] A/C:

マニュアルモードでこのボタンを押して放すと、エアコンのONとOFFが切り替わります。



[5] 内気循環:



⚠ 警告: 寒冷時や雨天では、内気循環によってウィンドウ内側が曇ることがあります。曇り取りが必要なときは、エアコンを使用してください。

車内の空気取り入れ方法を選択します。押すと、内気循環が選択されます (ボタンのLEDが点灯)。2秒以上押すと、ウィンドウが閉まります。

もう一度押すと、外気が吸入されます (ボタンのLEDは消灯)。2秒以上押すと、ウィンドウは前回の開閉ポジションに戻ります。¹⁾

内気循環は、トンネル内や交通渋滞の排気ガスで空気が汚染されている場所を走行するときや、冷房を最強にしたいときに使用します。

外気導入はデフォルトモードであり、通常走行時や曇りを取りたいときに使用してください。

1. 内気循環を選択する前にウィンドウが開いていた場合

[6] 同期:

押すと、左右のクライメートゾーンが同期されます。

**[7] 温度:**

操作して温度を調整します。

[8] 風量:

操作してファンの速度を調整します。

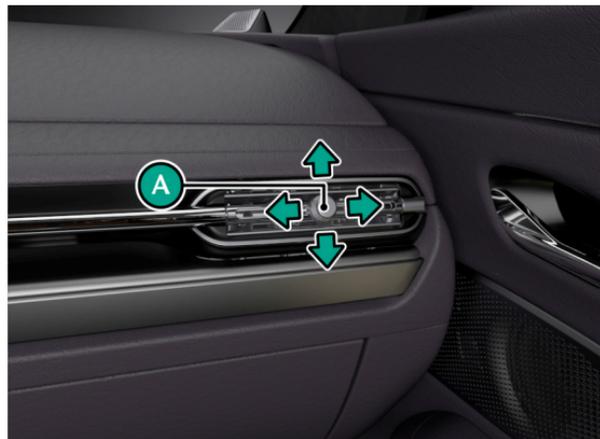
[9] シートヒーター/クーラー:

⚠ 警告: シートヒーターのスイッチを繰り返し押さないでください。シートが熱くなり、温度変化に過敏な方は火傷を負うおそれがあります。

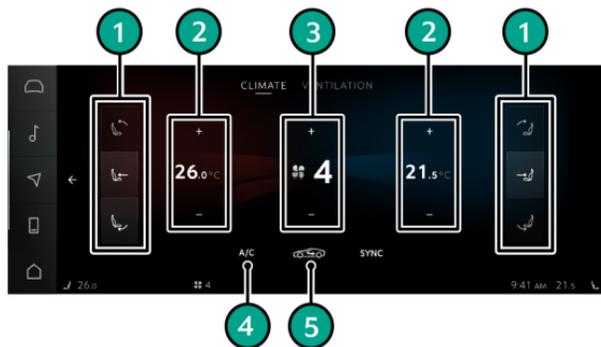
- シートヒーター (標準):
運転席と助手席のヒーターレベルが調整されます。設定したヒーターの強さは LED で表示されます (LED の点灯数はヒーターの強さに比例)。
- シートクーラー (オプション):
運転席と助手席のクーラーレベルが調整されます。設定したクーラーの強さは LED で表示されます (LED の点灯数は、クーラーの強さに比例)。

**吹き出し口 (エアVENT) の調整**

エアVENTを調整するには、VENT ノブ (A) を使用します。上下に押すと、VENT 内部のブレードが調整されます。左右に押すと、VENT ユニットの角度が調整されます。つまみを回すと、VENT が開閉します。



インフォテインメントのクライメートコントロール クライメート (空調) 機能



[1] エア吹き出し口:

エア吹き出し口の一覧をスワイプし、吹き出し方向をタップして選択します。

[2] 温度:

「+」と「-」ボタンをタップして温度を調整します。

[3] 風量:

「+」と「-」ボタンをタップして風量を調整します。

[4] A/C:

タップすると、エアコンの ON/OFF が切り替わります。

[5] 内気循環:

⚠ 警告: 寒冷時や雨天では、内気循環によってウィンドウ内側が曇ることがあります。曇り取りが必要なときは、エアコンを使用してください。

車内の空気取り入れ方法を選択します。タップすると、内気循環と外気導入が切り替わります。

内気循環は、トンネル内や交通渋滞の排気ガスで空気が汚染されている場所を走行するときや、冷房を最強にしたいときに使用します。

外気導入はデフォルトモードであり、通常走行時や曇りを取りたいときに使用してください。

換気

以下の3種類のいずれかの換気モードを選択します：

- Diffuse (拡散)
より高い温度設定で風量が減少します。
- Medium (ミディアム)
風量が中程度の標準設定。
- Focus (フォーカス)
より低い温度設定で風量が増大します。

オート クライメート コントロール

オート モードでは、車内温度が設定レベルで維持されます。クライメート システムは、車両内外の状況に応じて自動的に温度、風量、エア吹き出し口を制御します。

オート モードの温度を設定するには：

- 温度を設定します。
-  を押します。
- LED 表示灯が点灯します。

  を長押しすると、クライメート コントロールはデフォルトの 22 °C、弱の風量、ベント開放に設定されません。

 エンジンが標準作動温度に達するまでは、風量は最大になりません。

 吹き出し口や風量を変更すると、オート クライメート コントロールは取り消されます。

デフロストとデミスト

マニュアル クライメート コントロール

温度、風量、エア吹き出し口を手動で設定します。

⚠ 警告：寒冷時や雨天では、内気循環によってウィンドウ内側が曇ることがあります。曇り取りが必要なときは、エアコンを使用してください。

 吹き出し口から冷気が吹き出されないよう、エンジンが暖機されるまでは風量が抑えられます。

 車内の状態にかかわらず、クライメートシステムは設定温度で働きます。

冷房効果を高めるには、 を押し、内気循環を使用してください。

⚠ 注意：厳寒時にエンジンを始動する際にフロントガラスの霜や曇りを取り除くには、エンジンを 1500 rpm で作動させてください。必ずトランスミッションが P (パーキング) のポジションに合い、パーキングブレーキが掛かっているか確認してください。

 を押します。自動的に外気導入が選択され、温度が最大値に設定され、エアコンが始動します。

 エンジンが冷えているときは、暖機されるまでエアコンは始動しません。

オート霜取り / 曇り取り機能を取り消すには、以下のいずれかの操作を行います：

- 再び  を押します。
-  を押します。
- 異なる吹き出し口モードを選択します。

 オート曇り取り機能は 6 分後に停止します。

クライメートコントロール操作時のコツ

- エアコンユニットのエバポレータで発生する水分は、ドレンチューブから路面に排出されます。停車後、車両の下側に小さな水溜まりができることがあります。この現象は正常であり、システムの異常を示す兆候ではありません。
- 自動洗車機で洗車するときや車両に高圧洗浄機を使用するときは、クライメートシステムを OFF にしてください。
- 外気温が -6°C 付近になると、エアコンが作動しないことがあります (システムは OFF でも、表示灯は点灯します)。
- 湿度が高い気候下では、ウィンドウは曇りやすくなります。クライメートコントロールシステムを使用してウィンドウの曇りを取り除いてください。
- システムの効率を高めるために、ボンネットや、フロントガラス下部の吸気口から枯れ葉、雪、氷などの異物をすべて取り除いてください。
- 通常は「外気導入」設定を使用してください。埃の多い道路の走行時や、車内を急速に冷房 / 暖房するときは、一時的に「内気循環」を使用してください。
- 高温の気候下で直射日光の当たる場所に駐車した後は、まずウィンドウを開いて暖まった空気を車外に逃がし、ウィンドウを閉めてから、クライメートコントロールシステムを作動させてください。
- 内部部品が常に潤滑された状態で維持されるように、少なくとも月に 1 回はシステムを作動させてください。
- 夏季の到来前にクライメートシステムの点検を受けてください。クライメートコントロールシステムに冷媒不足や不具合が発生したときは、アストンマーティンディーラーにご相談ください。
- エアコン使用中は、送風口からミストが吹き出すことがあります。これは湿った空気が急激に冷却されて生じた現象であり、エアコンの故障を示す兆候ではありません。



電話システム

Bluetooth 対応デバイスの管理.....	7.2
通話.....	7.4
電話の設定.....	7.7
ワイヤレス スマホ充電器.....	7.8

Bluetooth 対応デバイスの管理

Bluetooth®¹ 本技術は、10 m 以内の近距離ワイヤレス データ通信の標準です。Bluetooth を使用して携帯電話を車両のインフォテインメントシステムに接続できます。接続したデバイスは、ハンズフリー電話システム、Bluetooth オーディオストリーミング、インターネット アクセス用に使用できます。

デバイスのペアリング

 車両とモバイル デバイスの両方で Bluetooth® 機能を ON にする必要があります。車両の Bluetooth® システムが ON になっているか確認するには、(「System Settings (システム設定)」; 12.6 ページ参照)。

 モバイル デバイスを検出可能モードに設定してください。モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

デバイスを使用する前に、インフォテインメントシステムとペアリングする必要があります。

新しいデバイスを追加するには、 をタップします。接続可能なデバイスが自動的に検索されます。

使用可能なデバイスが一覧表示され、個々のデバイスに接続する選択肢が表示されます。デバイス マネージャボタンは、個々のデバイスを管理する目的にも使用できます。

使用可能なデバイスがない場合は、車両とモバイル デバイスの両方で Bluetooth 機能が起動しているか点検するよう促すメッセージが表示されます。

デバイスを接続するには、一覧からデバイスを選択し、[connect (接続)] をタップします。ペアリング済みのデバイスならば、この操作で接続されます。新しいデバイスの場合は、インフォテインメント画面とデバイスにパスコードが表示されます。デバイス側から確認し、インフォテインメントシステムとペアリングします。

¹ Bluetooth® のワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、Aston Martin 社はライセンスのもとにこれらを使用しています。その他の商標と商品名は、それぞれの所有者に帰属します。

デバイスの機能選択

モバイル デバイスがペアリングされると、それをオーディオデバイスとして設定したり、電話機やスマートフォンとして接続するよう設定したりできます。デバイスを電話機として接続するよう設定した場合は、インフォテインメントシステムから通話履歴、連絡先一覧、メッセージへのアクセス許可を求められます。

一台のデバイスを電話機とオーディオ機器の両方として働くよう設定したり、各機能に別々のデバイスを使用するよう設定したりできます。

複数のデバイスをペアリングしたときは、メイン電話機とサブ電話機に指定するデバイスを選択できます。デバイスを選択するには、一覧内をスクロールして使用するデバイスを選択し、担当させたい機能を選択します。

 **メインとサブの電話機として接続できるのは、各1台のデバイスのみです。アクティブなデバイスの機能は、各デバイス上で青でハイライト表示されます。**

 **通話中にアクティブなデバイスを変更することはできません。**

Bluetooth のステータス

ステータス バーは、オーディオと電話機能が有効になっている接続済みデバイスごとに表示されます。

- Bluetooth の記号がグレーの場合 () は、Bluetooth デバイスが Bluetooth の通信圏外にあることが表示されています。
- Bluetooth の記号が白の場合 () は、Bluetooth デバイスが選択されています。
 -  をタップし、電話機能に使用するデバイスを有効または無効にします。
 -  をタップし、メディア機能に使用するデバイスを有効または無効にします。

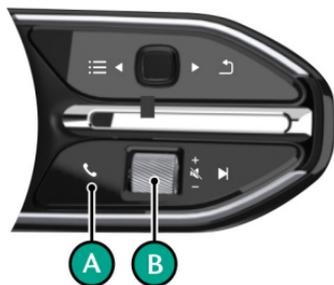
デバイスを削除するには

デバイスを削除するには、デバイス一覧から現在接続されていないデバイスを選択し、 を押します。デバイスが削除されたことを確認するメッセージが表示されます。

 **モバイル デバイス上の Bluetooth® 接続済みデバイスからも、車両との接続を削除することをお勧めします。**

通話

通話の制御



通話先の選択

連絡相手の電話番号は、以下の操作で選択できます：

- **Recent (最近使用)**、**Favourites (お気に入り)** または **Contacts (連絡先)** 一覧から連絡先を選択します。
 - を使用して番号を入力します。
 - オンスクリーン キーボードまたは音声制御を使用して 🔍 機能で連絡先を¹検索します。

連絡先を選択し、📞 をタップするか、ステアリングホイールの通話ボタン (A) を押します。

着信

着信があると、ポップアップ ウィンドウに発信者の名前が表示されます。



着信に応答するには

ステアリングホイールの📞 (A) を押すか、📞 をタップします。

消音機能

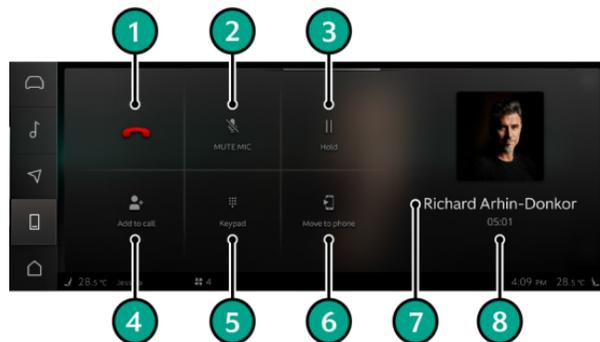
着信音を鳴らなくするには、スクロールホイールの🔇 ボタン (B) を押します。

着信を拒否するには

着信を拒否するには🔴 をタップします。着信音がすでに消音状態になっている場合は、もう一度🔇 を押すと着信が拒否されます。

¹ 停車中のみ利用できます。

アクティブ コール



通話中は以下の選択項目が表示されます。

[1] 通話終了 : タップすると、通話が終了します。

[2] Mute Mic (マイク消音) : 選択すると、マイクロフォンの ON/OFF が切り替わります。

[3] Hold (保留) : タップすると、相手が保留になり、もう一度タップすると保留が解除されます。

[4] Add to Call (通話に追加) : タップすると、セカンドコールが追加されます。

[5] Keypad (キーパッド) : オートテレフォンメニューを使用する際のキーパッドメニューが開きます。

[6] Move to (転送) : 選択すると、アクティブコールを車両テレフォンシステムではなく、モバイルデバイスに転送できます。

[7] Contact Name (連絡先名) : 通話中の相手の名前が表示されます。

[8] Call duration (通話時間) : 通話時間が表示されます。

Multiple Calls (グループ通話)

セカンドコールの着信

アクティブコール中にセカンドコールに応答すると、接続されている電話機の台数に応じてシステムは次のように反応します。

- 1台のデバイスだけが接続されており、電話機として使用するよう設定されているときは、最初のアクティブコールは保留になります。
- 1台のデバイスを接続し、電話機として使用するよう設定し、セカンドコールに応答するためにそのデバイスを使用したときは、最初のアクティブコールは終了されます。

着信を拒否すると、システムは次の3種類のいずれかの対応を行います。¹⁾

- 着信が拒否され、当初の通話が継続される。
- 着信に応答され、元の通話が終了する
- 両方の通話が終了する

2件のアクティブコール



複数の通話がアクティブなときは、両方とも通話画面の右側に表示されます。上側の通話 (1) がアクティブで、下側の通話 (2) は保留になります。アクティブな通話を切り替えるには、連絡先名をタップします。新たにアクティブコールを選択すると、他の通話は保留になります。

2件の通話をまとめて電話会議を行うには、Merge Calls (通話を追加) ボタン (3) をタップします。

 アクティブコールを終了すると、保留通話が自動的にアクティブになります (通信事業者または携帯電話によって異なります)。

¹⁾ システム側の対応は、モバイル機器メーカーまたは通信事業者によって異なります。

電話会議



通話画面の右側に参加者数 (1) が表示されます。

通話から発信者を手動で除外するには、Remove Caller (発信者を除外) (2) をタップし、連絡先を選択します。

発信者とプライベート通話を確立するには、Talk in Private (プライベート通話) (3) をタップして連絡先を選択します。ディスプレイには、電話会議とプライベート通話が 2 つのアクティブ コールとして表示されます。

電話の設定

 モバイル デバイスやそのオペレーティング システムによっては、一部の機能が対応していないことがあります。

- **Incoming Ring Tone Volume (着信音の音量):**
着信時の呼び出し音量が調整されます。
- **Default In-Call Volume (デフォルトの通話音量):**
通話中の音量が調整されます。
- **Mute Audible Alerts During Calls (通話中のアラート音をミュートす):**
通話中にナビゲーションなどのシステムからの音声指示や警告が消音になります。
- **Contacts list (連絡先リスト):**
連絡先名の表示形式を [名]、[姓]、または [姓名] に設定できます。

ワイヤレススマホ充電器

⚠ 注意：キーやその他の金属製の物体を充電パッドに載せないでください。金属製の物体がワイヤレス充電パッドに干渉するおそれがあります。

⚠ 注意：クレジットカードや駐車券などの電磁波の影響を受けるものをワイヤレス充電パッドに載せないでください。それらが損傷し、正常に働かなくなるおそれがあります。

ワイヤレス充電パッドはセンター コンソールの下側にあり、インフォテインメント画面が ON のときは、常に対応モバイル機器を充電できます。



ディスプレイを上に向け、モバイル デバイスを充電パッドの中央に載せてください。

モバイル デバイスがすでに USB ケーブルで充電されているときは、ワイヤレス充電パッドが充電を引き継ぎますが、データ接続は中断されません。

コネクテッドカー

コネクテッドカーのセットアップ	8.2
利便性機能	8.4
車両管理機能	8.5
車両サービス機能	8.8

コネクテッドカーのセットアップ

Aston Martin アプリ

Aston Martin アプリを使用すると、手元から車両を操作して以下のような多様な機能を実行できます。

- 愛車のリモート点検（燃料レベル、ウィンドウ、ドア、フルードレベルなど）。
- 通知や車両ヘルスアラートの消去（愛車の状態を常に確認するため）。
- 車両の常時監視機能。最後に駐車した位置で愛車が安全かどうかの確認。
- 駐車場所を探すための方向指示灯とホーンのリモート作動。
- 安全性優先機能。必要に応じた出力、トルク、パフォーマンス設定の制限。
- 常時保護機能。愛車やバッテリーに不正行為が行われるとオーナーに通知を送信。

 GPS を継続的に使用したり、GPS をバックグラウンドで実行したりすると、スマホのバッテリー寿命が大幅に低下するおそれがあります。

 継続的な改善の一環として、今後、機能や利便性を高める選択肢を追加する予定です。

Aston Martin ID

車両の購入者には Aston Martin ID の作成をお勧めします。ID によってすべてのコネクテッド機能へのアクセスが許可され、お客様はさまざまなパーソナライズ機能を利用できるようになります。

Aston Martin ID を取得すると、リモートによる愛車との通信、愛車の制御、愛車へのデータ送信が可能になります。

 *Aston Martin ID* を未取得のときは、担当ディーラーにご連絡ください。

アプリのダウンロード

IOS 用の Aston Martin アプリについては、App Store® からダウンロードしてください。¹



Android 用の Aston Martin アプリについては、TM₂. Google Play からダウンロードしてください。



¹. App Store は、米国とその他の諸国で登録されている Apple Inc. の商標です。

². Android は、Google LLC の商標です。

利便性機能

コネクテッドナビゲーション

ナビゲーションシステムは、リアルタイムでよりスマートなナビゲーションを可能にする統合オンライン接続機能を備えており、車両の周囲の情報だけでなく、オーナーのライフスタイル関連の情報も提供する機能を備えています。

オンボードシステム

統合ナビゲーションシステムは、最新の地図、リアルタイム交通データ、動的な周辺施設 (POI) 検索、AI 音声アシスタント リクエストを使用して、よりスマートな道案内機能を提供します。

リアルタイムデータ

システムは、計画されたルート最新のリアルタイム交通データを常にチェックします。走行中は常にデータがチェックされ、動的な走行計画が更新され、最短時間で目的地に到着できます。

オンライン POI 検索

コネクテッドナビゲーションには、インターネット検索を通して適切な POI と関連情報を提供する機能が搭載されています。例えば、レストランを検索したり、営業時間、場所、レビューを確認したり、目的地として特定の POI を選択したりできます。

OTA アップデート

システムは、現在位置で利用可能な最新の地図データがないか年に 4 回まで自動的に点検します。更新情報が利用可能なときは、バックグラウンドで自動的にダウンロードとインストールが行われます。さらに、頻繁に変化する地図データ (道路閉鎖、衛星ビュー、主要なマッピング市場以外の地域) の後に地元の地図がダウンロードされ、シームレスなマッピングが提供されます。

モバイルアプリ

Aston Martin モバイル アプリは、POI 検索やマッピング定義といったナビゲーションのサポート機能も搭載しています。そうした機能により、走行前にルートや目的地を計画し、車両とシームレスな通信を行い、いつでも真に簡単かつ効率的な走行を実現できます。継続的な改善の一環として、今後、機能や利便性を高める選択肢を追加する予定です。

車両管理機能

盗難アラート

 盗難アラートは盗難車追跡システムの代用ではなく、サポートコールセンターを通じて管理される機能です。

万が一、車両の盗難、侵入の試み、不正行為の疑いが検出されると、盗難アラート機能は車両オーナーまたは割り当てられたアプリユーザーにアラームが発報したことを通知します。

車両が施錠され、アラームが起動しているときにアラームシステムが発報すると、アプリに通知アラートが送信されます。設定されている場合、こうした通知はお客様個人のモバイルデバイスの通知にも表示されます。

アプリのメニューでは位置情報または施錠状況の確認機能を使用できますが、車両アラーム発報時は通知機能のみになります。

位置特定

 位置特定機能はGPS情報に依存しているため、車両が地下、立体駐車場、または密集した都市部に駐車されているときは、精度が影響を受けるおそれがあります。そうした状況下では、最後に検知されたGPS位置だけが表示されます。

位置特定機能は、特に大規模な駐車場や不慣れな場所に駐車した際に愛車を見つけ出すのに役立ちます。Aston Martin モバイルアプリで“Locate (位置特定)”をタップすると、愛車の最後の位置が表示され、必要に応じてそこまで案内されます。

識別

識別機能は、方向指示灯を点滅させ、ホーンを短く鳴らすことで、混雑した場所や暗い場所で愛車の位置を光と音で探し出すのに役立ちます。

保護

保護機能は、オーナーの安心感のために、車両の特定システムに安全限界を設定し、車両に不慣れな他のドライバーにその安全限界内で愛車を使用させる目的用です。

保護機能を有効にすると、以下が生じます：

- 車速の上限が 140 km/h (87 mph) に設定される。
- 加速が安全に行われ、安定性を高める介入が行われるよう ESP がウエット モードに設定される。
- ドライブ モードを選択できなくなる。
- 手で変速できなくなる。
- ドライブ モードと ESP の変更ボタンが無効になる。
- エンジン出力とトルクが制限される。
- インフォテインメントのテレメトリ機能が働かなくなる。
- すべてのセーフティ システムがデフォルトで ON に設定される。¹

起動

保護機能はアプリのプライマリ (主要) ユーザーのみが起動させることができ、セキュリティ上の理由からアプリの他のユーザーに権限を移譲することはできません。

安全のために、保護機能は停車中のみ起動させることができます。走行中に保護機能を選択すると、アプリに通知が表示され、次の停車時に保護機能が有効になります。一旦有効にすると、イグニッションを切り替えたり、プライバシー モードを起動したりしても、保護機能は取り消されず、アプリのプライマリ ユーザーが無効にするまでは起動状態に留まります。

車内通知

車両のインフォテインメントシステムに通知が表示され、車両の保護機能が起動していることがドライバーに警告されます。制限されている項目の変更を試みると、保護機能が働いている間は機能が制限されていることを示すポップアップが表示されます。

¹ ドライバーは、引き続き車線キープ アシスト機能を OFF に設定することはできません。

車両ステータス

車両ステータス機能は、車両の各種システムの状態をリアルタイムで表示します。本機能によっていつでも車両の状態を表示したり、運転前に対処が必要な項目についてのアラートを受信したりすることができます。

リモート車両ステータス

アプリ内では、以下のシステムの最新ステータスを確認できます。

- ・ ライブ ステータス
 - ・ ドア開閉状況
 - ・ ウィンドウ開閉状況
 - ・ コンバーチブル ルーフ開閉状況
 - ・ パーキング ランプの ON/OFF
- ・ ライブ ステータスと最後のイグニション OFF 時
 - ・ 車両フルードレベル (燃料、ウィンドウ ウォッシュャ、エンジン オイル)
 - ・ 最新の走行距離数
 - ・ 現在の燃料残量による航続距離数
 - ・ タイヤ空気圧
 - ・ 次の整備予定日

リモート ステータス アラート

特定の望ましくないシナリオを回避するために、リモートステータス アラートは、対処が必要な場合にアラートを発する機能を備えています。ウィンドウが開いたままになっているときや、整備期限が迫っているときがその例です。イグニションを OFF にしてから 10 分が経過すると、上記の車両ステータスの点検が行われます。¹ 対応が必要な項目が検出されると、アプリに通知が送信されます。

¹ パーキング ランプ、ウィンドウ ウォッシュャ、エンジン オイルレベルを除く。

車両サービス機能

プライバシーモード

プライバシーを保護するために、ユーザーはコネクテッドシステムの使用に同意してからでないとコネクテッドカー機能にアクセスできません。同意後、システム内でのデータの保護方法についての情報がユーザーに提供されます。Aston Martin クラウド サーバーでは、業界標準のサイバーセキュリティ保護が採用されているだけでなく、車両とアプリ間で送信されるデータの暗号化も行われています。

アプリ内では、ユーザーは接続されているエコシステムとの接続を一時的に解除する選択を行うことができます。プライバシーモードはインフォテインメントシステムを通して起動させます (System Settings (システム設定), 12.6 ページ参照)。

接続が解除されると、車両から以下のデータの送受信が中止されます。

- オンライン ナビゲーション サポート
- 地理的な位置データ
- カスタマー コンタクト センターへの通話

プライバシーモードを無効にすると、その時点からすべてのコネクテッドサービスが再接続されます。プライバシーモード中の匿名性が維持されるように、再接続された時点で履歴データは送信されません。

Over the Air (OTA) 更新

コネクテッドカーシステムの主なメリットは、ソフトウェアと特定の車両モジュールをリモートで更新できる点です。これにより、Aston Martin ディーラーを訪問する必要なしに、車両のソフトウェアを常に最新の状態にしておくことができます。OTA 更新情報の有無は各イグニッションサイクル中に点検され、統合 GSM 接続を介してシームレスに配信されます。

更新情報が利用可能になると、データパッケージがバックグラウンドでダウンロードされ、インストールの準備が整うとインフォテインメント画面に通知が表示されます。

サブスクリプション

車両の購入代金には3年間のサブスクリプション費用が含まれています。それに加えて、ポートフォリオに含まれる個々の有料機能を拡充する予定です。サブスクリプションレベルを管理するには、アプリのプライベートセクションで、現在または将来のサブスクリプションパッケージの確認、更新、取り消しができます。

お気に入りディーラー

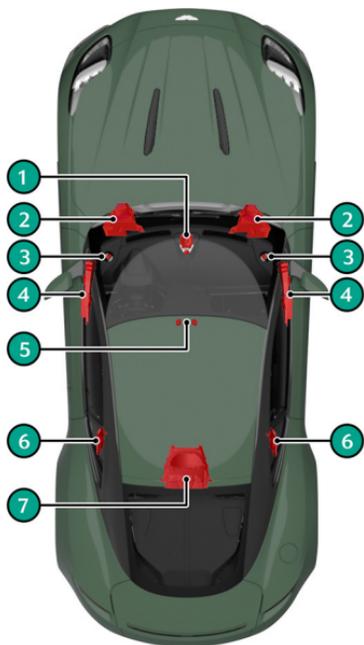
アプリ内では、情報やサービス面の要件を満たす連絡先としてお気に入りのディーラーを設定できます。コネクテッドカーやアプリの機能に関する不具合や質問については、お気に入りディーラーにお問い合わせください。

メディアシステム

オーディオの仕様	9.2
Now Playing (再生中)	9.4
Radio (ラジオ)	9.5
携帯型メディア	9.6
Apple CarPlay	9.7
サウンド設定	9.9

オーディオの仕様

Bowers & Wilkins オーディオ



スピーカー

[1] センター スピーカー:

100 mm ミッドレンジ スピーカー + 25 mm ツイータ

[2] フットウェル ウーファ:

165 mm ウーファ (エンクローズド キャビネット内)

[3] ツイータ:

25 mm ツイータ

[4] ドア スピーカー:

100 mm ミッドレンジ スピーカー (エンクローズド キャビネット内)

[5] ミッド ツイータ:

40 mm ツイータ

[6] リア クォータ スピーカー:

100 mm ミッドレンジ スピーカー + 25 mm ツイータ

[7] サブウーファ:

200 mm デュアル ボイス コイル サブウーファ

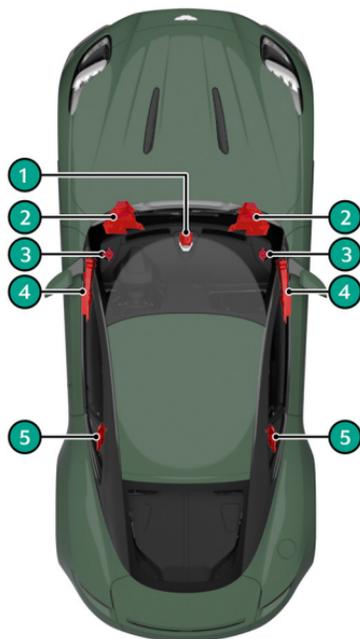
オーディオシステム機能

- 1170W オーディオシステム
- QuantumLogic® イマージョン サウンド プロセッシング¹
- Dirac LIVE®₂
- 車両ノイズ補正
- オーディオ レベライザー

1. QuantumLogic® は Harman の登録商標です。

2. Dirac LIVE® は Dirac Research AB の登録商標です。

Aston Martin オーディオ システム



スピーカー

[1] センター スピーカー:

100 mm ミッドレンジ スピーカー

[2] フットウェル ウーファ:

165 mm ウーファ (エンクローズド キャビネット内)

[3] ツイータ:

25 mm ツイータ

[4] ドア スピーカー:

100 mm ミッドレンジ スピーカー (エンクローズド キャビネット内)

[5] リア クォータ スピーカー:

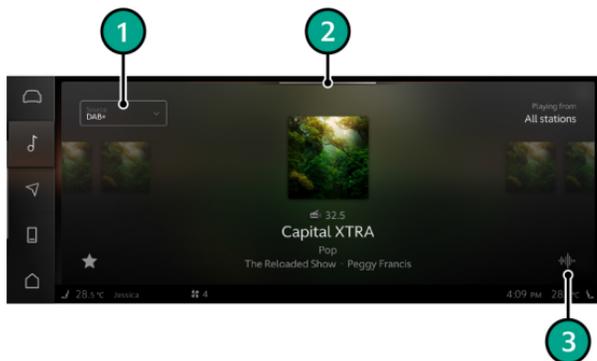
100 mm ミッドレンジ スピーカー + 19 mm ツイータ

オーディオ システム機能

- 390W オーディオ システム
- QuantumLogic® サウンド プロセッシング
- 車両ノイズ補正
- オーディオ レベライザー

Now Playing (再生中)

再生中画面には、使用中のソースメディアに関係なく表示される共通の要素がいくつかあります。個々のメディアの制御については、各関連セクションで取り上げます。

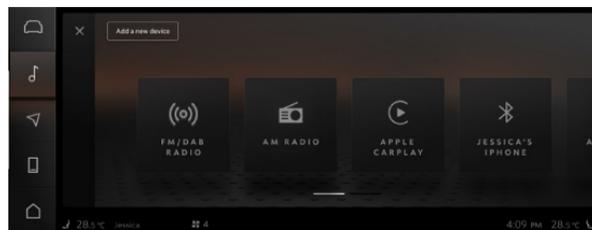


[1] SOURCE (ソース): タップしてメディアソースを変更します。

[2] 最小化: 下方向にスワイプすると、メディア画面が最小化されて最下部のバーに表示されます。

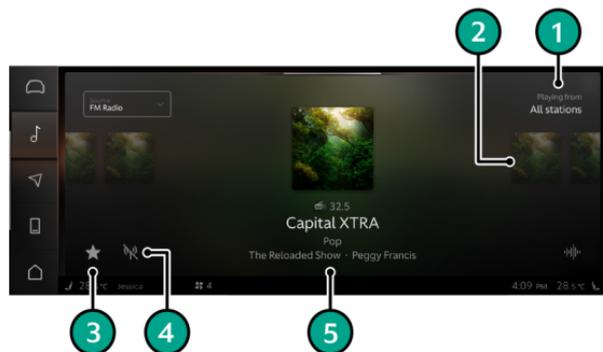
[3] 設定: 設定メニューが開きます。('サウンド設定', 9.9 ページ参照)。

Source (ソース)



Source (ソース) 画面では、システムに接続されているさまざまなメディアソースから選択したり、Bluetooth デバイスなどのデバイスを追加したりできます。ソースを選択するには、選択項目の列に沿ってスワイプし、希望するソースをタップします。

Radio (ラジオ)



ディスプレイ エリアには現在選択されているラジオ局と受信可能なラジオ局が表示されます。

[1]: どこからラジオ局を選択したかが表示されます。テキストは 2 秒後に消去されます。

[2]: 次のラジオ局のアートワークが表示されます (使用されている場合)。

[3]: タップすると、**Favourites (お気に入り)** メニューが開きます。

[4]: 受信信号が弱いかどうかを示す警告シンボル。

[5]: 選択したラジオ局に関する基本情報。

Favourites (お気に入り)

「お気に入り」メニューには、以前に保存した局の一覧が表示されます。保存されている局がない場合は、お勧めの保存用放送局の一覧がウィンドウに表示されます。局を選択するには、保存されている放送局の一覧をスワイプし、目的の局をタップします。

お気に入りを追加するには

ラジオ局をお気に入り一覧に追加するには、**Now Playing (再生中)** 画面で局をタップし、**★** をタップします。お気に入り局の最大数に達した場合は、置き換える局を選択するように求められます。

お気に入りを削除するには

お気に入り一覧から局を削除するには、**★** をタップします。

携帯型メディア

 適切なファイル形式として認識されるためには、mp3 または mp4 形式のメディアファイルを使用する必要があります。

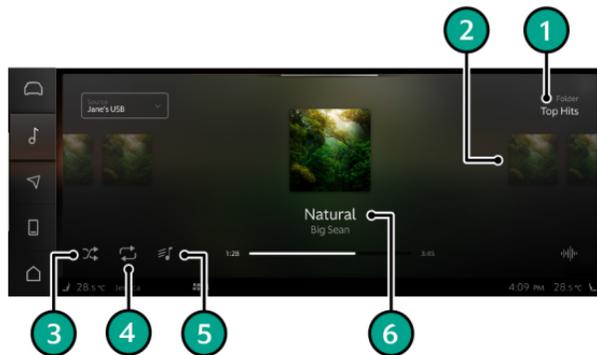
USB

USB デバイスをソースメディアとして選択すると、使用可能なトラックのソングディレクトリが表示されます。そこからアルバム名、アーティスト名、またはフォルダによって検索することもできます。 ボタンをタップし、USB デバイスのコンテンツを検索することもできます。

Bluetooth

Bluetooth デバイスをソースメディアとして選択すると、使用可能なトラックのソングディレクトリが表示されます。 ボタンをタップし、Bluetooth デバイスのコンテンツを検索することもできます。

Now Playing (再生中)



[1] **ソースの場所**: 検索パスから再生中のトラックが保存されているソースの場所が表示されます。例えば、フォルダ、アーティスト、アルバム。

[2] **次のトラック**: タップすると、次のトラックが再生されます。スワイプしてトラックのプレイリスト間をスクロールします。

[3] **シャッフル**: タップすると、プレイリストのランダム再生が ON または OFF に切り替わります。

[4] **リピート**: タップすると、現在のトラックの繰り返し再生、プレイリスト内の全トラックの繰り返し再生、繰り返し再生 OFF 間の切り替えが行われます。

[5] **OPEN FOLDER/PLAYLIST (フォルダ/プレイリストを開く)**: トラックまたはプレイリストのソースフォルダが開きます。

[6] **TRACK INFORMATION (トラック情報)**: トラック名、アーティスト、アルバム、トラック再生時間などのトラック情報が表示されます。トラックの特定の時間までスキップするには、時間経過バーをタップしてドラッグします。

Apple CarPlay

Apple CarPlay¹ Apple CarPlay によって iPhone または他の互換 Apple 製デバイスを車両インフォテインメントシステム内で使用できるようになり、電話をかけたり、メッセージを送受信したり、ナビゲーションを表示したり、音楽を聴いたりする目的に使用可能になります。

 市場によっては Apple CarPlay の一部の機能が使用できない場合があります。市場と機能の最新情報については、該当市場の Apple ウェブサイトをご確認ください。

 Apple CarPlay を使用することにより、お客様は以下に同意したとみなされます: Apple CarPlay は、Apple Inc. が利用規約下で提供するサービスです。アストンマーティン ラゴンダは、アップルカープレイまたはそのアプリケーションに対して一切責任を負いません。Apple CarPlay 使用時は、一部の車両情報 (位置情報など) が iPhone に転送されます。

 Apple CarPlay には一度に 1 個のデバイスしか接続することはできません。

 一度に一件のナビゲーションルートのみ有効にできません。インフォテインメントシステム内でナビゲーションルートを設定した場合、Apple CarPlay 経由でナビゲーションを開くと、そのルートは閉じられます。

¹ Apple および Apple CarPlay は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

初期接続

 Apple CarPlay が作動するためには、iOS 8.3 以上の Apple オペレーティングシステムが必要です。アプリの全機能を作動させるには、インターネット接続も必要です。

 Apple CarPlay の初回設定は、駐車中にのみ行うことができます。

1. 適切なケーブルを使用してデバイスを USB ポートに接続します。
2. メイン インフォテインメントメニューから **Connect** と **CarPlay** を選択します。
3. Apple CarPlay メニューが表示されます。

デバイスの初回接続に成功すると、次の 2 種類の選択肢が提供されます。

- **Automatic Start(自動スタート)** :
互換デバイスをインフォテインメントシステムに接続すると、Apple CarPlay が自動的に開始されます。
- **Manual Start(手動スタート)** :
インフォテインメントシステムから Apple CarPlay を手動で開始します。

SIRI

Apple CarPlay は、SIRI を使用して音声で操作することができます。SIRI を有効にするには、 ボタンを長押しします。

 その状態でも、引き続き音声コントロールを用いて車両インフォテインメントシステムを操作できます。

Apple CarPlay の制御

 サポートされているアプリや互換性のあるスマホに関する情報は、Apple 社のウェブサイト(以下)を参照してください。www.apple.com/ios/carplay.

CarPlay の選択項目

- **Disconnect(切り離し)** :
CarPlay セッションが終了します。
- **Connect Automatically(自動接続)** :
選択すると、互換デバイス接続時に CarPlay が自動的に開始されます。
- **Sound (サウンド)** :
Sound (サウンド) メニューが開きます ('サウンド設定', 9.9 ページ参照)。
- **Device List (デバイス一覧)** :
Apple CarPlay に接続するデバイスを選択することができます。

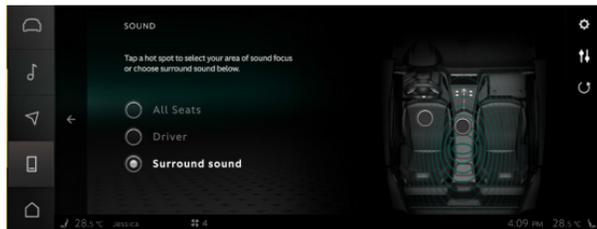
サウンド設定

Aston Martin オーディオ システム

サウンド フォーカス

サウンド フォーカス機能では、乗員数に応じてスピーカーの最適化を調整できます。以下から選択します。

- **All Seats (全席):**
車両の全シートのスピーカーフォーカスが最適化されます。
- **Driver (ドライバー):**
サウンドが運転席に対してのみ最適化されます。
- **Surround Sound (サラウンド サウンド):**
EQ が調整され、サラウンド サウンドが提供されます。



Bowers and Wilkins

Studio (スタジオ)

Studio では、レコーディング スタジオの中立性が再現され、音楽が最も忠実に再生されます。

乗員数に応じてスピーカーの最適化を調整できます。以下から選択します。

- **All Seats (全席):**
車両の全シートのスピーカーフォーカスが最適化されます。
- **Driver (ドライバー):**
サウンドが運転席に対してのみ最適化されます。

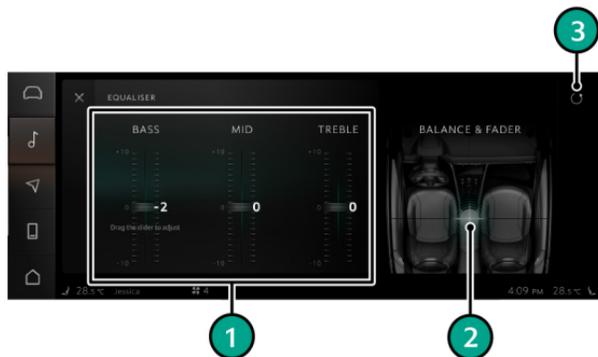
Stage (ステージ)

Stage では、眼前にアーティストのステージが存在するかのような感覚が演出されます。スライダバーを使用して Intensity (強度) と Immersion (没入感) の水準を調整し、仮想会場の規模をシミュレーションします。



イコライザ

イコライザ画面では、オーディオ設定をご自分の好みに合わせてカスタマイズできます。



- **3 Band Equaliser (3 バンド イコライザ):**
スライダーを上下にタッチ & ドラッグすると、低音域、中音域、高音域の周波数帯を増減できます。
- **Balance and Fader(バランスおよびフェーダー):**
十字線を上下にタッチ & ドラッグすると、左右のバランスと前後のバイアスが調整されます。
- **Reset (リセット):**
設定がデフォルト値にリセットされます。

ナビゲーション

安全情報.....	10.2
Map (地図).....	10.2
Active Route (アクティブ ルート).....	10.4
ナビゲーション設定.....	10.5
V I C S 情報有料放送サービス契約約款	10.7

安全情報

⚠ 警告: 以下の危険を回避しない場合、死亡や重傷を招く重大事故や衝突を引き起こす恐れがあります。

⚠ 警告: 常時的確な判断で安全運転を心がけてください。運転中、ナビゲーションシステムで注意をそらされることなく、走行条件を認識してください。画面を見る時間は最短に留め、できるかぎり、音声プロンプトを使用してください。

⚠ 警告: 走行中に、目的地入力、設定変更、長時間のシステム操作は行わないでください。これらの操作は、安全な場所に合法的に停車して行ってください。

⚠ 警告: ナビゲーターの使用中は、画面情報と環境情報(標識、閉鎖、道路状況、渋滞、天候など安全運転に影響を与える要素)を慎重に比較してください。情報が矛盾する場合には、ナビゲーターの使用を継続せず、実際の標識や道路状況を優先させてください。

⚠ 警告: ナビゲーションソフトウェアは、道順を示唆するために設計されています。ドライバーの注意力や判断力に置き換わるものではありません。ナビゲーターが危険または違法な操縦を指示したり、危険を導く場合は、指示に従わないでください。

Map (地図)



[1] SEARCH (検索): ナビゲーションの目的地を設定するために使用するメニュー。

[2] VEHICLE POSITION (車 両位置): 車両の位置と方向が表示されます。

[3] SETTINGS (設定): タップすると、ナビゲーションの設定メニューが開きます ('ナビゲーション設定', 10.5 ページ参照)。

[4] CURRENT STREET NAME (現在の通り名): 現在走行中の通り / 道路名が表示されます。

[5] MAP ORIENTATION/COMPASS (地図の向き/コンパス): 北の方角が表示されます。タップし、北が画面の上側に来るよう地図の向きを変更します。

[6] 2D/3D MAP: タップして 2D マップビューと 3D マップビュー間を切り替えます。

地図のブラウズ

ナビゲーションシステムの一部の機能では、地図を直接スクロールして位置を検索したり、選択したりすることができます。タッチスクリーンをタップ & ホールドし、地図を目的の方向にスクロールさせてカーソルを動かします。地図を拡大 / 縮小表示するには、2本の指でスクリーンに触れ、指の間隔を狭めるか (縮小)、広げます (拡大)。

Search (検索)

「検索」メニューには、ナビゲーション システムのルート設定用に利用可能な多くの選択肢があります。

Where to (目的地は)?

Where to? をタップすると、オンスクリーン キーボードが開き、目的地を設定できます。

POI アイコン

本アイコンをタップすると、地図上に同種の POI (周辺施設) が表示されます。☰ をタップすると、POI 用の選択肢がさらに表示されます。

Planned (計画ルート)

タップすると、計画済みの走行前ルートの一覧が表示されます。

Recents (最近の目的地)

タップすると、最近設定した目的地が表示されます。

Home/Work (自宅 / 勤務先)

タップすると、保存済みの自宅または勤務先の住所が目的地に設定されます。

Favourites (お気に入り)

保存したお気に入りガリストの下部に表示されます。

Points of Interest (POI/ 周辺施設)

検索窓から POI を選択するか、地図上のポイントをタップ & ホールドして POI を設定できます。

ポップアップ ウィンドウが表示され、POI の種類に応じてさまざまな情報が表示されます。

Business (事業所)

POI が商業施設の場合、ウィンドウには以下が表示されます：

- 施設名
- 事業の種類
- 現在営業中かどうか
- 始業 / 終業時間
- 電話を掛けるための通話オプション

住所

目的地が住所の場合は、ウィンドウに住所、町名、郵便番号が表示されます。

Location (ロケーション)

そのロケーションが事業所や住所と関連付けされていないときは、ウィンドウに最寄りの町やランドマーク名が表示されます。

目的地を設定するには、選択した目的地のポップアップ ウィンドウで GO をタップします。

Active Route (アクティブ ルート)



[1] LANE/TURN NOTIFICATION (車線/右左折の通知): ポップアップ ウィンドウが開き、次の右左折地点または車線変更地点が右左折地点までの距離と共に表示されます。

[2] ルート: 走行中のアクティブ ルートが青色で表示されます。そのルートに沿った代替道路は灰色で表示されます。

[3] JOURNEY INFORMATION (トリップ情報): 到着予測時刻、所要時間残、距離数残が表示されます。選択済みのルート案内を終了するには、**Cancel Route (ルートの取り消し)** をタップします。

 をタップし、ルート上の追加立寄地の住所を入力します。複数の立寄地を追加するときは、 をタップし、ルート上の立寄地の順序を設定します。

ナビゲーション設定

地図ソフトウェア

地図ソフトウェアの現在のレベルと GPS の状態が表示されます。更新情報が利用可能な場合は、それに表示されません。

- **GPS Status (GPS ステータス) :**
GPS 信号を使用可能かどうかが表示されます。
- **Map Version(地図のバージョン) :**
地図の現在のソフトウェアバージョンが表示されます。

Traffic and Map Display (交通 & 地図表示)

- **Show real time traffic information (リアルタイム交通情報表示) :**
インターネットからのライブ交通情報を使用する場合に設定します。
- **Show Mecca direction on the map (地図上にメッカの方向を表示) :**
タップして設定すると、メッカへの方角が地図に表示されます。¹
- **Automatic re-routing (自動再ルート検索) :**
タップして設定すると、より迅速または効率的なルートが利用可能になった場合にルートが再案内されます。
- **Customise POIs shown on map (地図に表示される POI のカスタマイズ) :**
地図上に表示する一連の POI を選択します。
- **Show current street name(現在の通り名を表示) :**
タップして設定すると、現在の通り名が地図に表示されます。

Sound & Voice (サウンド & 音声)

ナビゲーション システムの音量とオーディオ機能を設定できます。

- **Voice Guidance Volume (音声案内音量) :**
ナビの音声案内の音量を調整できます。
- **Play Voice Guidance Over Music (音楽再生中の音声案内) :**
音楽再生中にナビの音声案内を行うか設定できます。
- **Play Voice Guidance During Phone Calls (通話中の音声案内) :**
通話中にナビの音声案内を行うか設定できます。
- **Default Voice Guidance Level (デフォルトの音声案内レベル) :**
Full (フル)、*Alerts Only (アラートのみ)*、*Mute (消音)*
間の切り替えができます。

¹ 国によっては利用できません。

ルートの条件

ルートが設定されているときにナビゲーションシステムに適用可能なフィルタの一覧が表示されます。

- **Avoid Motorways (高速道路を使用しない) :**
自動車道または高速道を使用するルート部分が除外されます。
- **Avoid Toll Roads (有料道路を使用しない) :**
有料道路を使用するルート部分が除外されます。
- **Avoid Ferries (フェリーを使用しない) :**
フェリーを使用するルート部分が除外されます。
- **Avoid Trains (列車を使用しない) :**
列車輸送を利用するルート部分が除外されます。
- **Avoid Congestion Zone (渋滞ゾーンを回避) :**
渋滞ゾーンを通過するルート部分が除外されます。
- **Avoid Tunnels (トンネルを回避) :**
トンネルを使用するルート部分が除外されます。

History & Destinations (履歴 & 目的地)

保存済みの住所と検索履歴が表示されます。

- **Home Address (自宅住所) :**
 - **Add/Edit (追加 / 編集) :** 自宅住所の追加や設定済み自宅住所の編集ができます。
 - **Delete (削除) :** 設定済みの自宅住所が削除されます。
- **Work Address (勤務先) :**
 - **Add/Edit (追加 / 編集) :** 設定済みの勤務先住所の編集ができます。
 - **Delete (削除) :** 設定済みの勤務先住所が削除されます。
- **Manage Favourite Destinations (お気に入りの目的地の管理) :**
設定済みのお気に入りの目的地一覧を開き、個々の目的地を削除できます。
- **Clear Search History (検索履歴の消去) :**
ナビゲーションシステム内の全検索履歴が消去されます。
- **Clear Destination History (目的地履歴の消去) :**
ナビゲーションシステム内のすべての設定済み目的地が消去されます。

VICS情報有料放送サービス契約約款

<p>第1条</p>	<p>(約款の適用) 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (以下「当センター」といいます。) は、放送法(昭和25年法律第132号)第147 条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サ ービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を 定め、これによりVICS情報有料放送サービスを 提供します。</p>		<p>第4条</p> <p>VICSサービスの種類 VICSサービスには、次の種類があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文字表示型サービス 文字により道路交通情報を表示する形態 のサービス 2. 簡易図形表示型サービス 簡易図形により道路交通情報を表示する 形態のサービス 3. 地図重畳型サービス 車載機のもつデジタル道路地図上に情報 を重畳表示する形態のサービス
<p>第2条</p>	<p>(約款の変更) 当センターは、この約款を変更することがありま す。この場合には、サービスの提供</p>		
<p>第3条</p>	<p>(用語の定義) この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味 で使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. VICSサービス 当センターが自動車を利用中の加入者の ために、FM多重放送局から送信する、 道路交通情報の有料放送サービス 2. VICSサービス契約 当センターからVICSサービスの提供 を受けるための契約 3. 加入者 当センターとVICSサービス契約を締 結した者 4. VICSデスクランブラ FM多重放送局からのスクランブル化 (攪乱)された電波を解読し、放送番組の 視聴を可能とするための機器 	<p>第5条</p> <p>VICSサービスの提供時間 当センターは、原則として一週間に概ね120時間 以上のVICSサービスを提供します。</p> <p>第6条</p> <p>契約の単位 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に 1のVICSサービス契約を締結します。</p> <p>第7条</p> <p>サービスの提供区域 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波 の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK -FM放送を受信することができる範囲内)としま す。ただし、そのサービス提供区域であっても、電 波の状況によりVICSサービスを利用することが できない場合があります。</p>	

第8条	<p>契約の成立等</p> <p>VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。</p>	第12条	<p>当センターが行う契約の解除</p> <p>当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。</p> <p>第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。</p>
第9条	<p>VICSサービスの種類の変更</p> <p>加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。</p>	第13条	<p>料金の支払い義務</p> <p>加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。</p> <p>なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。</p>
第10条	<p>契約上の地位の譲渡又は承継</p> <p>加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。</p>	第14条	<p>当センターの保守管理責任</p> <p>当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。</p>
第11条	<p>加入者が行う契約の解除</p> <p>当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき 2. 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき 	第15条	<p>利用の中止</p> <p>当センターは、放送設備の保守上又は工事やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。</p> <p>当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。</p> <p>ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。</p>

第16条	<p>利用に係る加入者の義務</p> <p>加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。</p>
第17条	<p>免責</p> <p>当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ない困難となった場合には一切の責任を負いません。</p> <p>また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。</p> <p>但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。</p>

別表

視聴料金 300円（税抜き）ただし、車載機購入価格に含まれております。

VICS サービスのお問い合わせ

VICSセンター 運用管理室

受付時間：9:30～17:45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

電話受付番号：0570-00-8831

- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。#
- PHS、IP電話等からはご利用できません。

Fax 受付時間：24時間

Fax 受付番号：03-3562-1719

- 電話番号/Fax番号は予告なく変更される場合がありますので、予めご了承下さい。
- ナビゲーション製品本体は、三菱電機株式会社が製造しております。
- ナビゲーションの操作等のお問い合わせは、アストンマーチン販売店にお問い合わせください。

アストンマーティン販売店へのお問い合わせ

アストンマーティン東京サービスセンター

- 電話受付番号：03-3521-6887

アストンマーティン横浜サービスセンター

- 電話受付番号：045-349-4007

アストンマーティン名古屋サービスセンター

- 電話受付番号：052 353 8555

アストンマーティン大阪サービスセンター

- 電話受付番号：06-4392-1085

アストンマーティン広島サービスセンター

- 電話受付番号：082-255-0070

アストンマーティン神戸

- 電話受付番号：078-392-4385

アストンマーティン福岡サービスセンター

- 電話受付番号：092-611-8889

電話番号は予告なく変更される場合がありますので、予めご了承下さい。



コンバーチブル ルーフ

ルーフの操作.....	11.2
横転保護システム	11.4
ウィンド デフレクター	11.6
ルーフの緊急操作	11.8

ルーフの操作

⚠ 警告：ルーフを開閉する前に、全乗員がトノパネル、フロントガラスフレーム、ドアウィンドウから離れているか確認してください。

⚠ 警告：特にお子様は、ルーフスイッチを誤用してルーフ機構やロック部に挟まって負傷するおそれがあります。

⚠ 注意：0°C 以下でのコンバーチブルルーフの操作はお勧めしません。

⚠ 注意：ルーフの操作時には、常に開閉動作が完了したか確認してください。

⚠ 注意：ルーフまたはトノパネルの上に物や衣類を置いたままルーフを開かないでください。

⚠ 注意：ルーフを開閉する前に、リアのスロープ付きデッキ部分に、ルーフの折り畳み/格納動作と干渉する障害物(特にヒートッドリアウィンドウガラス)がないか確認してください。小物でも損傷の原因になります。

⚠ 注意：エンジンを始動せずにルーフを連続的に作動させると、車両バッテリーが急激に消耗します。

ルーフの操作

⚠ 警告：ルーフの動作が完了するまでは超低速で走行してください。

⚠ 注意：ルーフの操作は、停車し、バッテリー性能が最適な状態で維持されるよう必ずエンジンを作動させた状態でのみ行うことをお勧めします。

 ルーフの開閉操作中には、デッキリッドがロックされます。

コンバーチブルルーフの操作を行う前に：

- デッキリッドは必ず閉めてください。
- イグニッションを ON にし、エンジンを作動させてください。
- 外気温が -10 °C 以上か確認してください。
- 可変収納スペースの仕切りを下げてください。
- ルーフの開閉に必要な最大ヘッドルーム (A) は、1795 mm です。



操作

⚠ 警告：ルーフの動作が完了していない状態では、インストルメント クラスタに "Open/close top completely (トップを完全に開閉してください)" と表示されます。

ルーフを操作するには、センター コンソールのスイッチ (A) を使用します。



ルーフを開くには：スイッチを後方に引いたまま保持します。

ルーフを閉めるには：スイッチを前方に押したまま保持します。

ルーフの動作が完了すると、インストルメント クラスタから確認音が鳴ります。

ウィンドウの操作

ウィンドウはルーフとは独立して開閉できます。ルーフの全開全閉後は、ウィンドウ スイッチを使用して通常どおりにウィンドウを開閉します。

ルーフの弛緩

ルーフ システムはルーフの位置を継続的に監視します。イグニッションが ON のときに、全開位置と全閉位置の間に 7 分間留まると、ルーフは下がります。警告音が鳴り、ルーフが緩み、最下部の収納位置へと下がります。

 イグニッションからキーを抜き取ると、7 分が経過する前に警告音が鳴り、ルーフが閉まります。

⚠ 警告：ルーフ システムの油圧が失われるため、ルーフが急激に下がるおそれがあります。警告音が鳴り始めたときは、負傷や挟み込み事故を防ぐためにルーフ機構に近付かないでください。

速度超過時の動作

ルーフの操作は、車速が 55 km/h (34 mph) 未満のときに行ってください。

車速が 55 km/h (34 mph) を超えると、コンバーチブル ルーフの開閉動作が停止します。後方視界が制限されるため、事故が起きるおそれがあります。50 km/h (31 mph) 以下に減速してください。ルーフ スイッチを再度押ししてルーフの操作を続行させます。

安全を確認し、ルーフの動作を続行してください。ルーフが 7 分間休止状態になると、ルーフ機構の油圧が失われます。ルーフとトノ リッドが弛緩して下降します。

横転保護システム

⚠ 警告：展開式ロールバー システムの整備や改造は行わないでください。

⚠ 警告：展開式ロールバー カバーには絶対に人を座らせないでください。

⚠ 警告：展開式ロールバー カバーには物を載せないでください。

⚠ 警告：展開後、展開式ロールバー システムのリセットを試みないでください。

⚠ 警告：ロールバー システムの展開後は、ルーフの開閉を行わないでください。

⚠ 注意：ルーフを開めると、展開式ロールバーがリア ガラスを突き破ります。

⚠ 注意：極端な運転操作を行うと、車両システムが横転を想定して横転保護システムを起動させることがあります。そうした状況が予測されるとき（例えばトラック テーの走行時）は、ルーフを完全に開き、車両を損傷させずにロール バーが展開可能な状態にしてください。

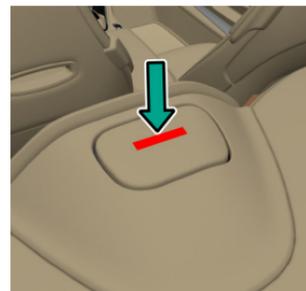
横転保護システムは、車体上に装着された電子センサーを使用して車両の姿勢を監視し、横転の発生を検知します。システムが横転の危険を検知すると、トノリッド内のトリムパネル下に設置されている2本のロールバーが展開し、乗員を保護します。

 ロールバーが展開すると、ドアに装着されているエアバッグも展開し、乗員を保護します。



警告ラベル

ロールバー上のトノカバーには "Do Not Cover (カバーしないでください)" と明記されています。



ウィンド デフレクター

ウィンド デフレクターを使用してルーフ開放時の風の影響を大幅に和らげることができます。車内のマウントに簡単に取り付けることができ、ルーフの開放、閉鎖を問わず装着しておくことができます。

▼ 注意：ウィンド デフレクター装着状態で運転席や助手席の位置を調整するときは、注意してください。シートをウィンド デフレクターに接触させないでください。

収納

使用しないときは、ウィンド デフレクターは簡単に折り畳み、保管できます。不要なときは、ウィンド デフレクターを車両から取り外し、収納バッグに入れます。収納バッグはラゲージ コンパートメントに保管してください。

取り付け

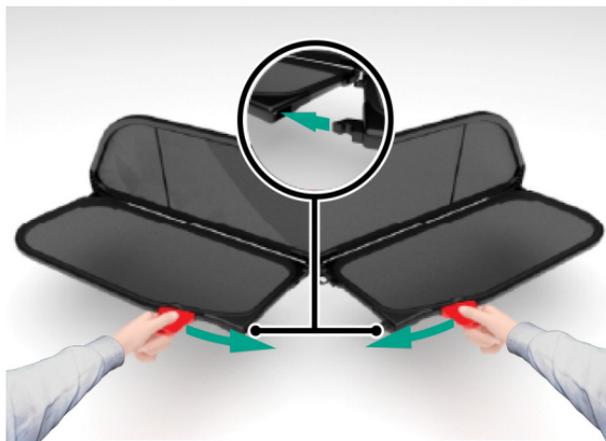
ウィンド デフレクターの取り付け

1. ウィンド デフレクターを収納バッグから取り出します。
2. ベース パネルを開きます。

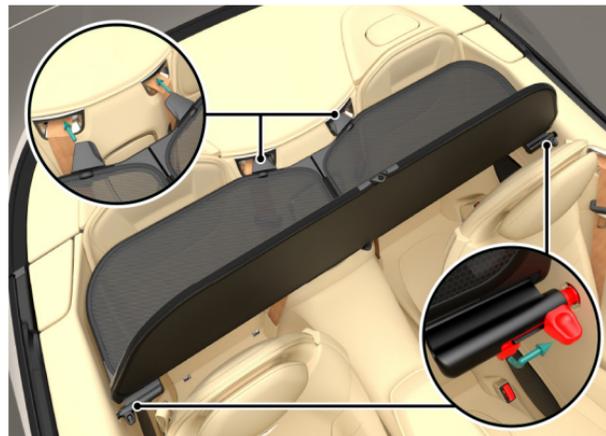


3. メイン ネット パネルを開き、両方のベース パネルをスナップ コネクタで接続します。

⚠ 注意：収納位置から展開させるまでは、ベース パネルをスナップ コネクタで接続しないでください。スナップ コネクタが破損するおそれがあります。



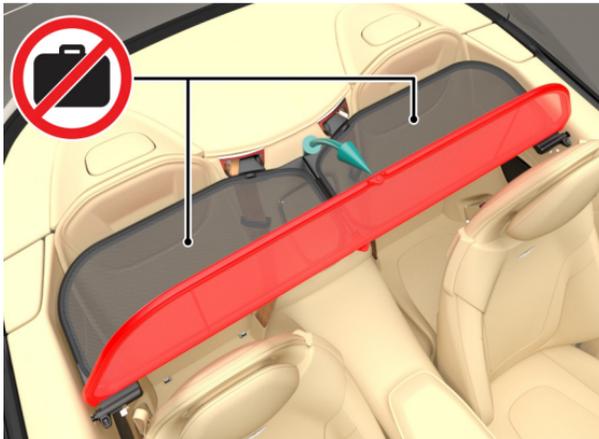
4. 2 個の位置決めタブをリア シートベルト 開口部に挿入します。2 本のスライド ボルトを使用してウインド デイフレクタをリア シート上部でロックします。



ウインド デイフレクタを取り付けた後は、上下両方のポジションで使用できます。ウインド デイフレクタのトップバーをつかみ、クリック音が聞こえて定位置にロックされるまでパネルを上下させます。

❗ **注意:** ウィンドディフレクタは、物を収納する目的に使用しないでください。ウィンドディフレクタのネット部分が裂けるおそれがあります。

❗ **注意:** メイン ネット パネルをつかまないのでください。鋭利な物体が刺さり、ネットが損傷するおそれがあります。



取り外し

ウィンドディフレクタを取り外すには、取り付け手順を逆に行います。

ルーフの緊急操作

万が一、ルーフが開いたときは、手動で閉めてロックできます。

⚠ **警告:** イグニションが OFF になっているか確認してから本操作を行ってください。ルーフが偶発的に作動して負傷する危険を避けることができます。

⚠ **警告:** ルーフを手動で閉めてロックする際には、少なくとも2名で作業を行うことをお勧めします。ルーフ機構は重く、手動で閉めるときは非常にゆっくりと動きます。

⚠ **警告:** ルーフの手動操作中は、ルーフ リンケージに指を挟まれないよう注意してください。

❗ **注意:** 車両の安全: 万が一、ルーフが開いたときは、必ず閉めてロックしてください。トノロックが働かないため、ルーフは開かないでください。

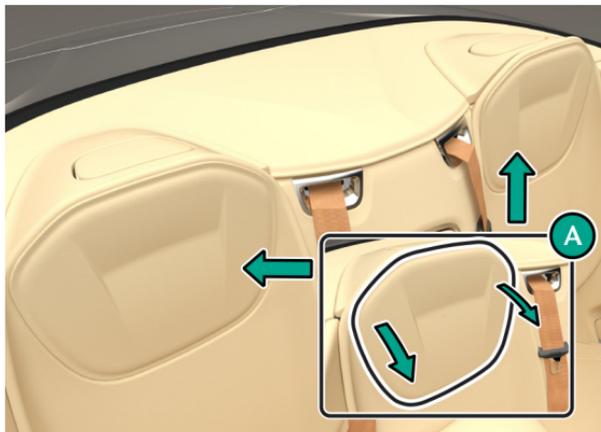
📖 ルーフが収納位置で故障したときは、収納状態のままにし、必要に応じてロックできます。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

📖 トノロックの解除後、コンバーチブル ルーフが故障したときは、インストルメント クラスタに "Open/close top completely (トップを完全に開閉してください)" と表示され、ルーフを閉めてロックするまでは警告音が鳴り続けます。

ルーフを閉めるには

 ルーフを手動で閉めた後は、アストンマーティンディーラーがリセットするまではコンバーチブルルーフは操作できなくなります。

1. ウィンドディフレクタを取り外します (装着されている場合)。
2. リアシートのヘッドレスト (A) を取り外します。



3. ルーフ緊急ツール (B) を取り出し、片側に配置します。本ツールは、ルーフをロックするために必要です。

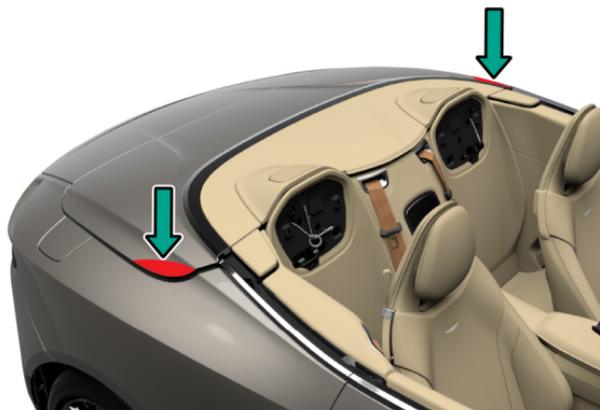


11.10 コンバーチブル ルーフ

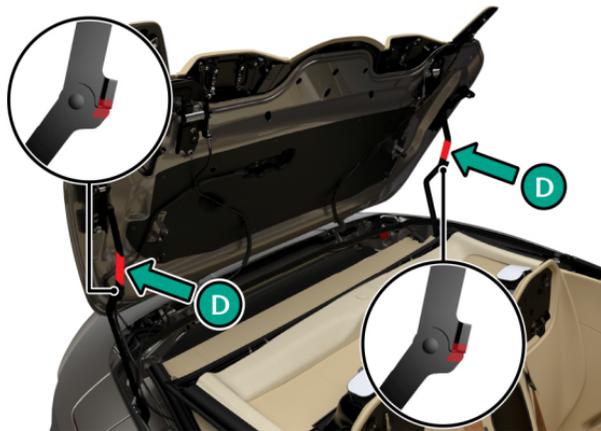
4. トノ ラッチの 2 本のリリース ケーブル (C) を引きま
す。



5. 図示した位置でトノ カバーを持ち上げます。

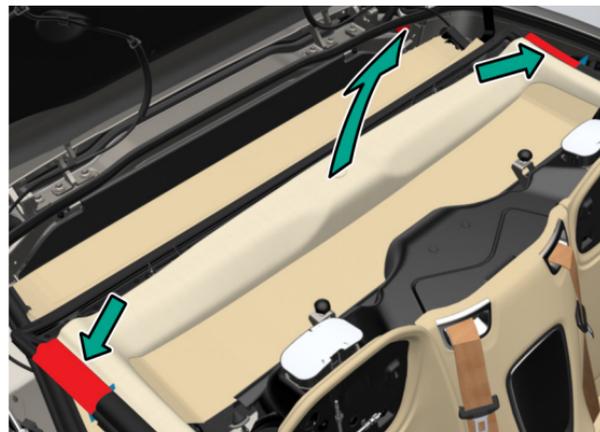


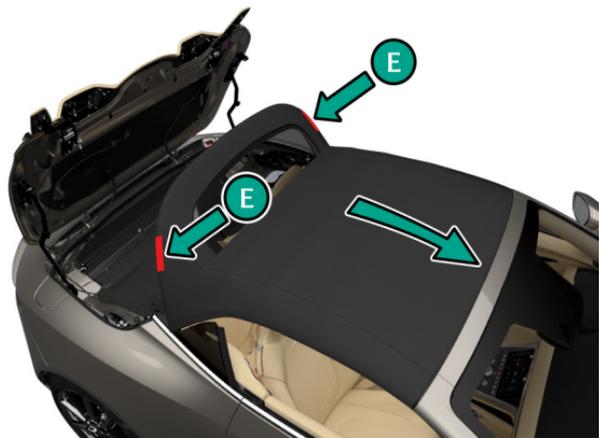
6. ヒンジ ピボット (D) を後方に押し、トノを定位置にロックします。



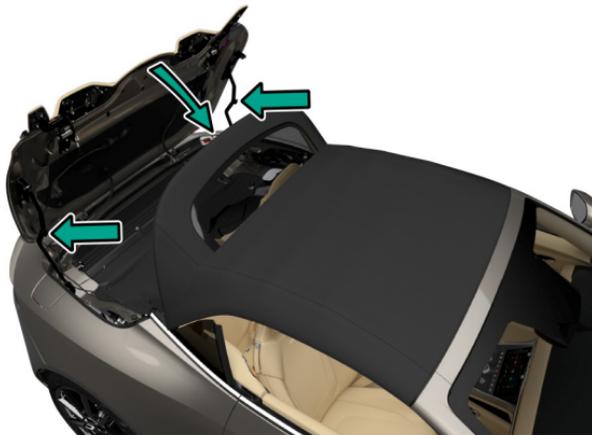
7. 各側に 1 名が立ってテンション ボウ (E) を支え、ルーフを完全に上昇させて閉めます。

⚠ 注意：テンション ボウは、ルーフの前側ラッチがレシーバーに入るまでは下げないでください。それ以前にテンション ボウを下げると、ルーフのインナーライニングが損傷します。





8. テンション ボウを支えながらヒンジのロックを解除し、トノカバーを閉めます。



9. トノカバーが完全に閉まってからテンション ボウを下
げます。

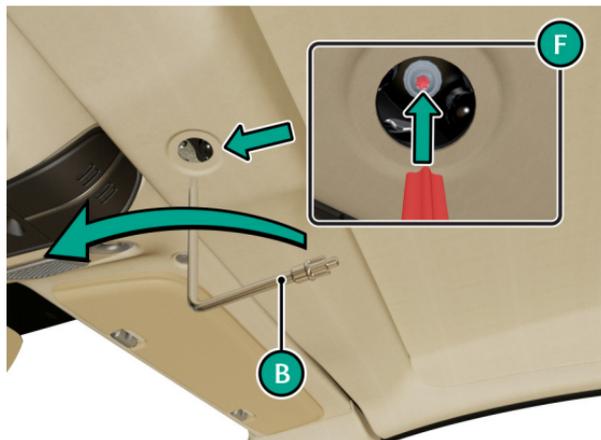
! 注意：トノリッドをルーフ生地に載せないでござ
い。



10. 車内で、フロントヘッダーパネルからトリムプラグを
取り外します。

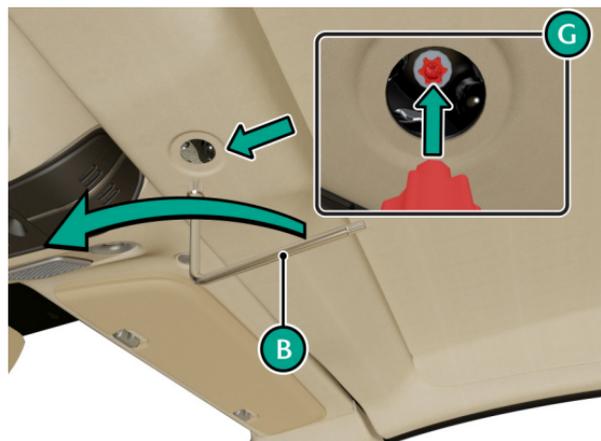


11. ルーフ緊急ツールの細い方の端を使用してルーフ モーターのスクリュー (F) を取り外します。



12. ルーフ緊急ツールの太い方の端を使用してドライブ ス プライン (G) を解除し、モーターを反時計回りに回し ます。

 ルーフラッチモータードライブのリセットはアストン マーティンディーラーにご依頼ください。



 ルーフを手動で開閉する場合、テンションボウとトノカバーの両方ともロックできません。

車両および車両設定

Vehicle (車両)	12.2
System Settings (システム設定)	12.6

Vehicle (車両)

Vehicle (車両) メニューにアクセスするには、 をタップします。以下の選択項目が表示されます。

- **Drive Modes (ドライブモード):**
Drive Modes (ドライブモード) メニューが開きます。
- **Telemetry (テレメトリー):**
Telemetry (テレメトリー) メニューが開きます。
- **Assistance (アシスタンス):**
Assistance (アシスタンス) MENU が開きます。
- **Lights (ライト):**
Light (ライト) メニューが開きます。
- **Vehicle (車両):**
Vehicle (車両) メニューが開きます。
- **Parking (パーキング):**
Parking (パーキング) メニューが開きます。

ドライブモード

Drive Mode (ドライブモード) 画面には現在設定されているドライブモードが表示されます。ここでは *Individual (個別設定)* ドライブモードのパラメータを設定することもできます。

Individual (個別設定) モードを設定するには、センターコンソールのドライブモードダイヤルを回して *Individual (個別設定)* に合わせ、*Personalise (パーソナライズ)* を選択します。¹ 以下から選択します。

パワートレイン

ドライブ	Wet	GT	Sport	Sport+
Exhaust	GT	Sport	Sport+	

ドライブダイナミクス

ステアリング	GT	Sport	
サスペンション	GT	Sport	Sport+

¹ Individual (個別設定) のモードパラメータが設定済みのときは、*Personalise (パーソナライズ)* が *Edit (編集)* に変化します。

Telemetry (テレメトリー)

Telemetry (テレメトリー)画面にはメイン インストルメント クラスタの表示を補う補助的なエンジン情報が表示されます。以下を示すオンスクリーン ダイアルが表示されません。

- バッテリー電圧
- エンジン出力
- エンジン トルク
- エンジン オイル温度

Assistance (アシスタンス)

Assistance (アシスタンス)メニューは、車両に搭載されているさまざまなドライバー支援システムの挙動を制御するために使用されます。

アダプティブ クルーズ コントロール

法定速度制限の採用方法を *Automatic* と *Manual* から選択します。

自動緊急ブレーキ

自動緊急ブレーキの ON または OFF を切り替えます。

感度

自動緊急ブレーキの感度レベルを *Early (早期)*、*Medium (中間)*、*Late (遅め)* から選択します。

ブラインド スポット アシスト

ブラインド スポット アシスト機能を ON/OFF に設定します。

交通標識アシスト

交通標識アシスト システムを *Visual (視覚)*、*Visual & Audible (視覚 & 聴覚)*、*Off* から選択します。

制限速度変更時の警告音

現在走行中の道路の制限速度が変更されたときに警告音を鳴らせるときに選択します。

車線キープアシスト

車線キープアシスト (LKA)

選択して LKA 機能の ON/OFF を切り替えます。

車線逸脱警告 (LDW)

選択して LDW 機能の ON/OFF を切り替えます。¹

リア クロス トラフィック アシスト

リア クロス トラフィック アシスト 機能を ON/OFF に切り替えます。

ライト

Lights (ライト) メニューは、車両のさまざまな照明システムのパラメータを設定する際に使用します。

- **Ambient light (アンビエント ライト) :**
Ambient light (アンビエント ライト) メニューが開きます。
 - **Colour (色) :**
スライダ バーを使用して色を選択します。
 - **Brightness (明るさ) :**
スライダ バーを使用してキャビンの明るさを設定します。
- **Courtesy Lights (カーテシー ランプ) :**
カーテシー ランプを ON/OFF に設定します。
- **Exterior Light Shut-off Timeout (車外灯シャットオフ タイムアウト) :**
イグニッションを OFF にした後、エクステリア ランプが点灯し続ける時間を調整します。
- **Interior Light Shut-off Timeout (室内灯シャットオフ タイムアウト) :**
イグニッションを OFF にした後、インテリア ランプが点灯し続ける時間を調整します。

¹ LKA が OFF に設定されているときだけ有効。

Vehicle (車両)

Vehicle (車両)メニューは、車両のさまざまなシステムのパラメータを設定する際に使用します。

Comfort (コンフォート)

- **Acoustic Lock (ロック確認音) :**
ロック時の確認音の ON/OFF を設定できます。
- **Automatic door lock (自動ドアロック) :**
15 km/h (9 mph) 以上で走行中に車両ドアがロックされるよう設定できます。
- **Automatic Mirror Folding (ミラー自動格納) :**
車両ロック時にドアミラーが自動的に格納されるよう設定できます。
- **Easy Entry/Exit (乗降サポート) :**
乗降サポート機能によってシートとステアリングホイールを移動させるか、ステアリングホイールのみを移動させるか、機能を *Off* にするかを設定できます。
- **Interior motion sensor(車内モーションセンサー) :**
車内モーションセンサーによるアラームを ON/OFF に切り替えることができます。
- **Tow-Away Protection(トアウェイ保護) :**
車両チルトセンサーによるアラームを ON/OFF に切り替えることができます。

その他

- **Standby mode(スタンバイモード) :**
車両を長期にわたって使用しないときにバッテリーの消耗を抑えるために、車両をスタンバイモードに設定し、必須でないシステムをシャットダウンさせることができます。
- **Winter tyres limit(ウインタタイヤ制限) :**
ウインタタイヤ装着時の最高速度を設定できます。

Parking (パーキング)

Parking (パーキング)メニューは、車両パーキングシステムのパラメータを設定する際に使用します。

- **Audio fadeout warning tones (警告音発生時のオーディオフェードアウト):**
障害物からの距離で警告をフェードアウトさせる場合に設定します。
- **Warning Volume Tones (警告音量):**
警告時の音量を設定します。
- **Warning Tone Pitch(警告音ピッチ):**
警告音の高さを設定できます。
- **Automatic Reversing Camera (オートリバースカメラ):**
リバースギア選択時に自動的にリバースカメラの画像を表示させる場合に設定します。

Visual Warnings (警告表示)

- **Front:**
車両前方の障害物に関して、標準的な距離または早期に警告を表示する場合に設定します。
- **Rear:**
車両後方の障害物に関して、標準的な距離または早期に警告を表示する場合に設定します。
- **Side:**
車両側面の障害物に関して、標準的な距離または早期に警告を表示する場合に設定します。

System Settings (システム設定)

System Settings (システム設定)メニューにアクセスするには、をタップし、ホーム画面を表示させ、右へスワイプしてメニューを表示させます。を選択して **System Settings (システム設定)**を開き、以下の項目を表示させます。

- **Apps (アプリ):**
個々のアプリの設定を調整するには、**Apps (アプリ)**メニューを開きます。
- **Audio (オーディオ):**
Audio (オーディオ)システム設定メニューが開きます。
- **Device Manager (デバイス マネージャ):**
接続されているデバイス用の **Device Manager (デバイス マネージャ)**メニューが開きます ('Bluetooth 対応デバイスの管理', 7.2 ページ参照)。
- **Display (ディスプレイ):**
表示内容を変更するには、**Display (ディスプレイ)**メニューを開きます。
- **Language & Units (言語 & 単位):**
システムの言語と単位を設定するには、**Language & Units (言語 & 単位)**メニューを開きます。
- **Privacy Mode (プライバシー モード):**
すべてのコネクテッドカー機能とリモートによる車両の制御を一時的に無効にします。

- **Reset (リセット) :**

車両ソフトウェアシステムが初期設定にリセットされます¹。

- **Software (ソフトウェア) :**

システムのソフトウェアバージョンを表示し、ソフトウェアのアップデートに使用します。

- **Time & date (時刻 & 日付) :**

Time & Date (時刻 & 日付) メニューが開きます。

- **Bluetooth Name (Bluetooth 名) :**

Bluetooth 画面が開き、Bluetooth 機能の ON/OFF 切り替えを行ったり、車両の Bluetooth 名を設定したりできます。

Apps (アプリ)

インストルメント クラスタとインフォテインメント システムの表示パラメータを設定します。

- **Navigation (ナビゲーション) :**

Navigation (ナビゲーション) 設定メニューが開きます ('ナビゲーション設定'; 10.5 ページ参照)。

- **Phone (電話) :**

Phone (電話) 設定メニューが開きます。

¹ 本機能は停車中のみ利用できます。

Audio (オーディオ)

インフォテインメントシステムのオーディオパラメータを設定します。

- **Auto Volume Adjustment (自動音量調整) :**
外部騒音を補正するためのシステム自動音量調整機能を使用するか設定します。
- **Navigation Guidance Volume (ナビゲーション案内音量) :**
ナビゲーションによる案内の音量を設定します。
- **Incoming Ringtone Volume (着信音の音量) :**
着信音の音量を設定できます。
- **Default In-Call Volume (デフォルトの着信音量) :**
デフォルトの通話音量を設定します¹。

Radio (ラジオ)

- **Traffic Announcements (交通情報) :**
ナビゲーションシステムで交通情報を有効にするか設定します。

Display

インストルメントクラスタとインフォテインメントシステムの表示パラメータを設定します。

- **Auto Display Brightness (ディスプレイの明るさ自動調整) :**
ディスプレイスクリーンの明るさを自動調整する場合に設定します。
- **Display brightness (ディスプレイの明るさ) :**
ディスプレイの明るさを手動で設定できます²。
- **Display Theme (ディスプレイのテーマ) :**
ディスプレイ画面を *Light (ライト)*、*Dark (ダーク)* または *Auto* モードに設定します。

¹ 通話音量は通話中に変更できます。

² オーディオディスプレイの明るさが OFF に設定されているときだけ有効。

Language & Units (言語 & 単位)

システム言語

インストールメント クラスタ、インフォテインメント システム、警告に使用する言語を設定します。

速度の単位

車速の単位を設定します。

温度の単位

温度表示の単位を設定します。

圧力の単位

圧力表示に使用する単位を設定します。

燃費の単位

燃費表示に使用する単位を設定します。

ソフトウェア

ソフトウェアページには、以下のコンポーネントのソフトウェアレベルと、ソフトウェアが最新版かどうかが表示されます。ソフトウェア アップデートが利用可能なときは、それがメニュー上部にポップアップ通知として表示されます。('ソフトウェア アップデート', 13.52 ページ参照).

- ソフトウェア バージョン
- 部品番号
- ブート ロードのバージョン

Time & date (時刻 & 日付)

- **Set Time Automatically (時刻の自動設定)** :
時刻とタイムゾーンが自動設定されるよう選択できます。
- **Manual time (手動時刻設定)**
Set Time Automatically (時刻の自動設定) が OFF に設定されている場合は、手動で時刻を設定できます。
- **Time Format (時刻の表示形式)** :
時刻表示を 12 時間または 24 時間から設定できます。
- **Date Format (日付の表示形式)** :
日付の表示形式を設定できます。



保守および技術データ

はじめに	13.2
点検整備の危険防止	13.3
オーナーによる整備点検	13.5
ボンネットの開放	13.6
フルードの点検と容量	13.8
ウォッシュおよびワイパ	13.13
シャーシ システム	13.14
ホイール & タイヤ	13.16
電気系統	13.20
車両ケア	13.30
パワートレーンの仕様	13.37
性能	13.38
寸法	13.39
緊急事態と故障	13.42
燃料	13.50
ソフトウェア アップデート	13.52

はじめに

本車両の各種システムは洗練され、メンテナンスには特別な機器が必要なため、オーナーによるメンテナンスは本章に記載されている定期的な整備手順に限定されます。

車両が正常に作動しているかどうか不確かなときは、アストンマーティンディーラーに連絡し、専門スタッフによる車両の点検をご依頼ください。

部品と潤滑剤

整備時には、推奨潤滑剤と（フルードの点検と容量，13.8 ページ参照）推奨部品の使用をお勧めしています。

⚠ 注意：要求される仕様を満たさない油脂や潤滑剤を使用すると、コンポーネントが過剰に摩耗し、スラッジや堆積物が溜まり、環境汚染を引き起こすおそれがあります。推奨外の製品の使用が車両/エンジンの損傷原因になったことが明らかな場合、当社はメーカー保証の規約に従い、そうした損傷に対する修理の承認を拒否することがあります。

電子燃料噴射装置

⚠ 警告：燃料が切れた状態で燃料系統を作動させると、燃料ポンプに修理不能な損傷が生じるおそれがあります。

⚠ 警告：燃料系統の変更や、アストンマーティン社が設計していない部品の追加は禁止されています。そうした部品を装着すると燃料系統が損傷し、状況によっては火災が発生するおそれがあります。「サービスアクション」や「セーフティリコールアクション」は、必ずアストンマーティンディーラーにご依頼ください。

車両から余すところなく性能を引き出し、燃費と信頼性を高め、有害な排ガスを抑制するために、電子燃料噴射装置の調整や保守には専用工具や試験機器が必要です。そのため、すべての整備作業をアストンマーティンディーラーに依頼されることを強くお勧めします。

拘束システム

当社では、認可証ラベルに記載された製造日から10年ごとに本車両の拘束システム（エアバッグ）とシートベルトコンポーネントの交換をお勧めしています。

点検整備の危険防止

エンジンの回転中またはイグニッションをオンにした状態でボンネットを開ける際には、怪我をしないように次の安全上の注意事項を厳守してください。

- ⚠ 警告：危険物の取り扱いには、十分注意してください。**
- ⚠ 警告：駆動ベルト、プーリー、作動機構に、手や髪の毛、工具、衣服やアクセサリが巻き込まれないよう、十分注意してください。エンジンが停止していても、クーリングファンが作動する場合があります。**
- ⚠ 警告：すべての排気系統、およびエンジン部品、エンジンフルード類、車両が発生する蒸気などに触れないようにしてください。これらは非常に高温であり、火傷の恐れがあります。**
- ⚠ 警告：作業前に、ネクタイなどは取り外してください。また、特に電気系統の作業を行う際には、アクセサリも取り外してください。**
- ⚠ 警告：触媒コンバータは有害な排気ガスの毒性を弱め、環境汚染を軽減します。触媒コンバータは高温で働き、イグニッションをオフにした後もかなりの熱を発生します。**

⚠ 警告：排気ガスを吸い込まないでください。排気ガスには一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は無色無臭の危険なガスで、吸い込むと意識を失って死に至る場合もあります。閉めきった場所、換気の悪い場所でエンジンを始動したり、かけたままにしておくことは絶対に避けてください。

⚠ 警告：ジャッキのみで車体を持ち上げ、その下で作業を行わないでください。必ず適切なスタンドで車体を支えてください。

⚠ 警告：お子様やペットを作業中の車に近づけないでください。必要時以外は、車内に人がいる状態で作業を行わないでください。

⚠ 警告：できる限り、エンジンが冷えた状態で、イグニッションをオフにし、バッテリーを切断してエンジンコンポーネントの作業を行ってください。

⚠ 警告：ガソリンは引火性が強く、閉めきった場所では爆発性が高まるうえに、有毒でもあります。ガソリンがこぼれた場合は、エンジンを切ってください。燃料や燃料蒸気の付近では炎や火花を避けてください。燃料または燃料蒸気の付近で喫煙しないでください。燃料蒸気や排ガスを吸い込まないでください。

危険を伴う物質について

⚠ 警告：危険物は、お子様の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告：車両には、毒性のある液体や危険物質が何種類も使われています。絶対に飲み込まないでください。皮膚に付かないように気をつけてください。バッテリー電解液、不凍液、オイル、ブレーキ/クラッチフルード、ガソリン、フロントガラス洗浄液添加剤、潤滑剤、冷媒、各種接着剤などは特に注意が必要です。

⚠ 警告：使用済みのエンジン オイルには不必要に触れないよう厳重な注意が必要です。常にラベルや部品に記載された指示をよく読み、必ず従ってください。これらの指示内容は、健康と安全を守るために必要なものです。厳守してください。

エンジン オイル

⚠ 警告： 使用済みエンジン オイルは長時間にわたって接触を繰り返すと、皮膚炎や癌を含む重度の皮膚疾患の原因となる場合があります。皮膚に触れないようにし、皮膚に付いた場合は完全に洗い落としてください。また、お子様の手の届かないところに保管してください。エンジン オイルの交換は、必ず経験のある人が行ってください。また廃油や毒性の液体の処分に關するあらゆる法律を遵守してください。

環境の保護

⚠ 警告： 下水、水路、土壌を汚染することは法律により禁じられています。使用済みオイルの処理設備のある公共処理場や自動車修理工場など、認可された廃棄物処理施設を利用してください。不明な点は、管轄官庁にお問い合わせください。

オーナーによる整備点検

安全性と信頼性に万全を期すため、指定の間隔で以下の点検を行うことをお勧めします（使用頻度が高いか、悪条件下で運転する場合は、間隔を狭めてください）。長距離走行の前にも必ず点検を実施してください。アドバイスや点検手順については以下のページをご参照ください。

走行前点検：

- ・ ランプ類、ホーン、表示灯、ワイパー、ウォッシャー、警告灯の動作
- ・ 走行前、特に夜間や高速道路を走行する前には、走行距離に見合う十分な燃料が残っているか確認してください。
- ・ シートベルトの動作
- ・ ブレーキの動作
- ・ 車両下の液漏れ

週次点検

（長距離またはツーリング時は毎日）

- ・ タイヤの状態
- ・ 冷却水量
- ・ ブレーキ フルード量
- ・ エアコンの作動
- ・ フロント ガラス ウォッシャー フルード量
- ・ フロント ガラス ウォッシャーの動作確認

給油ボウル

給油時は、給油ボウルのドレン パイプに詰まりの原因となる異物がないか確認してください。パイプが詰まると、ボウル内に水が溜まって溢れ、燃料タンクに流入するおそれがあります。

エンジン オイル レベル

▼ 注意：エンジン オイル量は定期的に点検することが重要です。エンジン オイル量が下限マークよりも下側にある状態や上限マークよりも上側にある状態でエンジンを作動させると、エンジンに重大な損傷が生じるおそれがあります。

エンジン オイル量は、4 回目の給油ごとか、週 1 回 (どちらか早い時期) に行ってください。

工具セット

以下の緊急時用備品は、ラゲージ コンパートメント内の収納ボックス ツール キットに収められています。

- 応急手当てセット (オプション)
- 三角警告板
- タイヤ修理キット (以下も含む) :
 - 牽引用フック
 - 緊急給油用ファネル
 - ロッキング ホイール ボルト キー (オプション)

ボンネットの開放

インストルメント クラスタ下のレバー (A) を引いてボンネットのラッチを解除し、ボンネットを開きます。ボンネットはわずかに開きますが、ボンネットのセカンダリ ラッチによってロック状態が維持されます。



ⓘ ボンネット リリース レバーは、常にインストルメント パネルの助手席側にあります。

ボンネットの前端をわずかに引き上げ、セカンダリ ラッチ (B) をずらして解除します。全開位置までボンネットを持ち上げます。ボンネットは、2 本のガス ストラットによって開位置で固定されます。



ボンネットを閉めるには、自重で下がる位置まで下げた後、ボンネットから手を放して落下させます。この操作でボンネットが閉まらないときは、ボンネットを再び開き、落下させながら手で軽く押しします。

⚠ 警告：ボンネットのセカンダリ ラッチは先端が尖っています。エンジンルーム内で作業を行う際には、負傷しないよう注意してください。



フルードの点検と容量

エンジン オイル レベル

⚠ 警告：エンジン オイル/コンポーネントは高温になることがあります、重度の火傷を負うおそれがあります。

▼ 注意：エンジン オイル量が下限マークよりも下側にある状態や上限マークよりも上側にある状態でエンジンを作動させると、エンジンに重大な損傷が生じるおそれがあります。

▼ 注意：不適切なエンジン オイルの使用によって損傷が生じると、車両保証が無効になることがあります。低品質のオイルや旧タイプのオイルでは、現代の高性能エンジンに必要な保護機能が発揮されません。

▼ 注意：要求される仕様を満たすエンジン オイルを使用しないと、エンジンが過度に摩耗したり、スラッジや堆積物が溜まったり、汚染が増したりするおそれがあります。エンジンが故障するおそれもあります。

エンジン オイル量の検知

本車両には電子エンジン オイル量検知 (OLS) システムが装備されており、4 時間以上にわたり水平面に駐車し、油温が規定の範囲内のときにエンジンを始動すると、オイル量が記録されます。

▼ 注意：エンジン オイル量が下限以下の状態でエンジンを作動させると、エンジンに重大な損傷が生じるおそれがあります。

 エンジン オイルの温度が低いときは、オイル量が記録されないことがあります。

エンジン オイル量が下限マークに近付くと、インストールメント クラスタに警告灯と共にメッセージが表示されます。さらに、エンジン マネジメント システムにコードが保存されます。早急にエンジン オイル量を点検し、必要量のエンジン オイルを補充してください。必要量に達するまでオイルを 1 L 以上補充し、OLS システムによってオイル量が適切に点検されると、メッセージは消去されます。

エンジン オイル量の点検

 10,000 km (6200 miles) を走行した後は、1000 km (620 miles) を走行するたびにエンジンは最大で 0.8 L のオイルを消費することがあります

1. 平坦な面に駐車します。
2. 標準作動温度に達するまでエンジンを暖機します。
3. インストルメント クラスタ メニューの *Service* (サービス) に進み、次に *Oil Level Check* (オイル量点検) に進みます。
4. オイルが不足しているときは、エンジンを切り、エンジン オイル フィラー キャップを取り外し、推奨エンジン オイルを補充します ('エンジン オイル', 13.12 ページ参照)。
5. 油面が安定するまで 2 分程度待ち、手順 3 を繰り返します。必要に応じてエンジン オイルを補充してください。**オイルは入れ過ぎないでください。**
6. エンジン オイル フィラー キャップを確実に取り付けます。



エンジン冷却水量

⚠ 警告：フィラー キャップは冷却システムが冷えるまで取り外さないでください。吹き出した蒸気や冷却水で火傷を負うことがあります。

📖 手を保護するために布か手袋を使用し、顔や腕を十分に保護してください。

1. リザーバ キャップを取り外し、冷却水量を点検します。リザーバ タンクの上部に達していれば冷却水量は適正です。



2. 補充後は、リザーバ キャップが締まっているか確認してください。

⚠ 注意：リザーバ キャップは過度に締め付けしないでください。過剰な締め付けによってリザーバ キャップやリザーバ タンクのネジ山が損傷することがあります。

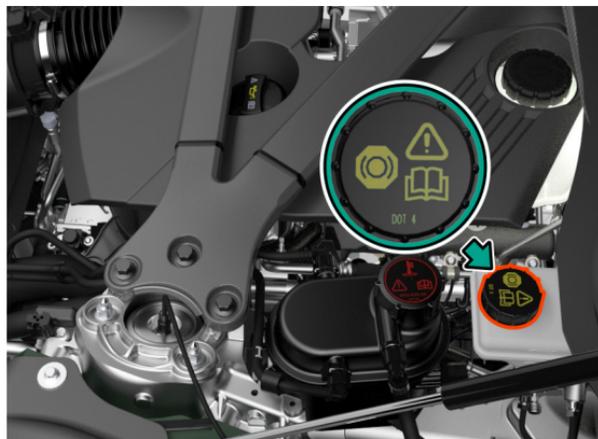
ブレーキフルード量

⚠ 警告：ブレーキフルード量が下限 (Min) マーク以下のときは運転しないでください。

⚠ 注意：補充時にはブレーキフルードを塗装に付着させないように注意してください。塗装に重度の損傷が生じるおそれがあります。ブレーキフルードをこぼしたときは、直ちに浄水で塗装部分から洗い流し、湿らせた清潔な布で拭き取ってください。

適正なブレーキフルード量は、下限 (Min) と上限 (Max) の両マーク間です。

1. リザーバキャップを取り外します。上限マークまで補充します。



2. リザーバキャップを確実に取り付けます。

フルードの仕様

燃料

95RON 以上の無鉛ガソリン

エンジンから性能を最大限引き出すには、98RON 無鉛スーパーを推奨。

エタノール含有率が 10% を超える燃料は使用しないでください。



エンジン オイル

▼ 注意：合成油から本来の高い性能を引き出すために、鉱物油と混合しないでください。

以下の仕様を満たす 0W-40 の完全合成油を使用してください。他の粘度グレードや仕様のオイルは使用しないでください。

規格	基準
API	SN
ILSAC	GF5

エンジン冷却水

エンジン冷却水の詳細は、アストンマーティン デイラーまでお問い合わせください。

ブレーキ フルード

DOT 4

エアコン冷媒

▼ 注意：異種の冷媒ガスを混合しないでください。混合すると、エアコンシステムが損傷するおそれがあります。ご不明な点は、アストンマーティン デイラーにお問い合わせください。

HFO-1234yf

容量

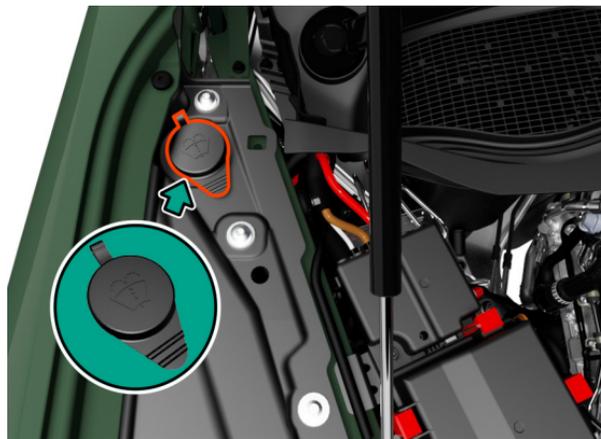
フルード	容量
燃料タンク	75 L
エンジン オイル (フィルタを含む)	8.5 L
エンジン冷却水 (トランスミッション冷却用を含む)	18.6 L
チャージクーラー冷却水	6.7 L
オートマチック ギアボックス (クーラーを含む)	8.5 L
オートマチック トランスミッション デファレンシャル	1.1 L
スクリーン ウォッシュリザーバ	4.0 L

ウォッシャーおよびワイパ

フロント ガラス ウォッシャー液

ウォッシャー液（洗浄液）を補充するには、ウォッシャーリザーバキャップを開き、必要量を補充します。冬季には、凍結を防止するために濃度を高めたウィンドウウォッシャー液を使用してください

（ウォッシャー液容器の注意書きを参照）。



フロント ガラス ウォッシャー液が不足すると、メッセージセンターに情報メッセージが表示され、黄色の警告灯が点灯します。

一部の国や地域では揮発性有機化合物（VOC）の使用が法律で制限されていますが、VOCは凍結防止剤としてフロントガラス洗浄液に一般に使用されています。VOC濃度の低いフロントガラス洗浄液は、年間を通じて洗浄液が凍結しない地域でのみご使用ください

ワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードを交換するには、ワイパー アームを起こして(B)の位置を押し、ワイパー ブレードを取り外します。



定位置にロックされるまで新しいワイパー ブレードをワイパー アームに押し込みます。

シャーシ システム

車両ボディ

2 ドア クーペ、2+2 シーター

2 ドア コンバーチブル、2+2 シーター

- 押し出しアルミ製接着モノコック ボディ構造
- フロントのカーリキューとリアのアストンマーティン エアブレードによって補完されたエアロダイナミクス
- 格納式スポイラー

ステアリング

電動アシスト、車速感応式ラック & ピニオン パワー ステアリングテレスコピック / チルト調整機能付きコラム

回転数 (ロックからロックまで)

2.375 回転

ターニング サークル

12.4 m

サスペンション

フロント

アルミ製独立ダブル ウィッシュボーン式 (アンチダイブ ジオメトリ採用) アルミ製コイル オーバー モノチューブ ダンパーとアンチロール バー

リア

マルチリンク サスペンション (アルミ製コイル オーバー モノチューブ ダンパーとアンチロール バー付き)

ブレーキ

フット ブレーキ

鑄鉄

	フロント	リア
ディスク構造	溝付きベンチレーテッド鑄鉄	溝付きベンチレーテッド鑄鉄
直径	400 mm	360 mm
キャリパー	6ピストン	4ピストン

カーボン セラミック

	フロント	リア
ディスク構造	ベンチレーテッドカーボン セラミック	ベンチレーテッドカーボン セラミック
直径	410 mm	360 mm
キャリパー	6ピストン	4ピストン

パーキングブレーキ

電動式独立パーキングブレーキキャリパー(各リアブレーキディスクを制動)

シャーシの機能

- 3種類のアダプティブダンピング設定から選択可能。
 - GT
 - Sport
 - Sport+
- アンチロックブレーキシステム (ABS)
- ハイドロリックブレーキアシスト (HBA)
- 電子制御制動力配分 (EBD)
- 電子制御リアデファレンシャル (Eデフ)

ホイール & タイヤ

ホイール & タイヤ情報

サマー タイヤ

	フロント	リア
ホイール サイズ	9.5J x 21	11.5J x 21
タイヤ サイズ	275/35 ZR21 (Y)	325/30 ZR21 (Y)
タイヤ空気圧 (270 km/h / 167 mph 以下)	2.3 Bar 34 Psi	2.3 Bar 34 Psi
タイヤ空気圧 (270 km/h / 167 mph 以上)	2.9 Bar 42 Psi	2.9 Bar 42 Psi

本車両用のタイヤの最大荷重定格は、フロントが 875 kg (1929 lbs) 以上、リアが 1000 kg (2205 lbs) 以上。荷重指数は、フロントが 103、リアが 108。

ウィンタ タイヤ

 速度記号が V のタイヤの最高速度は 240 km/h (149 mph)。

	フロント	リア
ホイール サイズ	9.5J x 21	11.5J x 21
タイヤ サイズ	275/35 R21 (V)	315/30 R21 (V)
タイヤ空気圧	2.5 Bar 36 Psi	2.5 Bar 36 Psi

本車両用のタイヤの最大荷重定格は、フロントが 875 kg (1929 lbs) 以上、リアが 925 kg (2039 lbs) 以上。荷重指数は、フロントが 103、リアが 105。

ホイール ボルトの締め付けトルク

ホイールボルトの締め付けトルクについては、('ホイールボルトの締め付けトルク', 13.47 ページ参照)。

ホイール アライメント

最新のホイールアライメント値については、アストンマーティンディーラーにお問い合わせください。

タイヤ

種類、メーカー、サイズが適切なタイヤを使用し、冷間時の空気圧を適正に維持することは、各車両の構造にとって不可欠です。タイヤの定期点検は、安全性を高めるだけでなく、車両から本来の性能を引き出すことにもつながります。

不適切なタイヤ空気圧、タイヤの不適切な取り付け、摩耗したタイヤは、特にロードグリップ性、操舵性能、制動性能に悪影響を及ぼします。

サイズと種類が適切であっても、メーカーが異なる場合は、タイヤの特性に大きな差異があります。

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧は慎重に点検し、必ず適正值で維持してください。不適切なタイヤ空気圧は、特にグリップ性能、操舵性能、制動性能、タイヤの摩耗に悪影響を及ぼします。

タイヤ空気圧は定期的に点検し、出発前にも毎回点検し、適正值に調節してください。

タイヤが高温になると空気圧は多少上昇します。したがって正確な空気圧は、タイヤが冷えた状態で測定してください。タイヤの空気圧調整後は、空気が漏れたり異物が侵入したりしないように、バルブキャップをしっかりと取り付けてください。

タイヤ情報

損傷

 本車両は高性能を発揮するポテンシャルを有しているため、タイヤに損傷や摩耗が見られるときは交換することを強くお勧めします。

タイヤは定期的に点検し、摩耗や損傷がないか確認してください。タイヤのトレッドとサイドウォールに損傷（異常な膨らみ、ひび割れ、剥離など）がないか点検します。損傷が発見されたり、損傷が疑われたりしたときは、タイヤ専門店にて点検を受けてください。

タイヤのトレッドの間に挟まった小石や他の異物は慎重に取り除いてください。

フラットスポット

外気温が高い場所や低い場所に駐車しておくと、駐車時間とは無関係に一時的に「フラットスポット」が生じることがあります。そうした現象は、高性能タイヤの特徴です。

そうした「フラットスポット」は、タイヤが冷えている状態で発進した直後にわずかな振動を発生させます。タイヤが作動温度まで暖まると、正常なタイヤ形状に戻り、振動は解消されます。振動が収まらない場合は、アストンマーティンディーラーにご相談ください。

劣化

 地域によっては、タイヤ寿命に関する規則が適用されることがあります。

たとえ使用しなくとも、タイヤには経年劣化が生じます。一般的に6年間の標準的な使用後は、タイヤを交換することをお勧めします。高温の気候や頻繁な重量物の積載によって生じる熱によってタイヤの劣化が早まることがあります。

新品タイヤ

効率的な操舵、タイヤ摩耗の最適化、最高の乗り心地を実現するには、各ホイールとタイヤの動的なバランス調整とラジアルフォースバリエーション(RFV)の計測が必要です。高速走行を得意とする車両のため、新品タイヤの装着時にはホイールバランスを行うことが不可欠です。詳細については、アストンマーティンディーラーまでお問い合わせください。

新品タイヤの慣らし運転

新品タイヤの装着後は、特に最初の80 km (50 miles)程度は速度を抑えて走行してください。その間は、高速コーナリング、急ブレーキ、急加速も避けてください。

トレッド摩耗インジケータ

全タイヤには、トレッド摩耗インジケータ(A)が構造の一部として組み込まれています。摩耗インジケータはタイヤ全周に一定間隔で配置された一体成形のリップ(隆起部分)であり、トレッド全幅にわたって主なトレッド溝を横切るように設けられています。



タイヤが摩耗し、一か所以上でインジケータがトレッドと同じ高さになったならば、タイヤは摩耗限界に達しています。国によっては摩耗限界に達したタイヤの使用は違法とみなされ、タイヤ交換が必要になります。

サマー タイヤ

本車両の推奨タイヤは、非対称タイヤです。タイヤの 'OUTSIDE' (外側) マークがホイール リムの外側に来るように取り付けてください。

さらに、前輪と後輪のタイヤ サイズが異なるため、アクスル (車軸) 間でホイールを交換することはできません。

ウィンタ タイヤ

本車両のオリジナル タイヤは、ゴム コンパウンド、トレッド パターン、幅が特に標準的な路面条件下の高速走行用に最適化されており、極端な低温時や氷雪路の走行には不向きです。そうした条件下では、ウィンタ タイヤを使用するとハンドリング性能が大幅に向上します。

アストンマーティン認定ウィンタ タイヤのみを使用してください。詳細については、アストンマーティン ディーラーまでお問い合わせください。

⚠ 警告：ウィンタ タイヤ装着時は、最高速度を落としてください。ウィンタ タイヤの速度制限や情報は、装着時に提供されます。詳細はアストンマーティン ディーラーまでお問い合わせください。

ウィンタ タイヤは適切な冬季用ホイールに装着してください。

ウィンタ タイヤは車両単位で (全四輪に) 使用してください。ウィンタ タイヤ使用時は、タイヤの規定速度を超えないでください。

スノートラクション デバイス (スノーチェーン)

⚠ 警告: スノートラクション デバイス装着時の最高速度は 48 km/h です。路面に雪がないときは、速やかにスノートラクション デバイスを取り外してください。

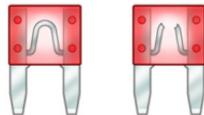
それらの装備は、深い雪道を走行する際に一時的に使用するものです。スノートラクション デバイスは、リア (駆動輪) のウィンタ タイヤにのみ装着してください。車両に適したスノートラクション デバイス (スノーチェーン) の詳細については、アストンマーティン ディーラーまでお問い合わせください。

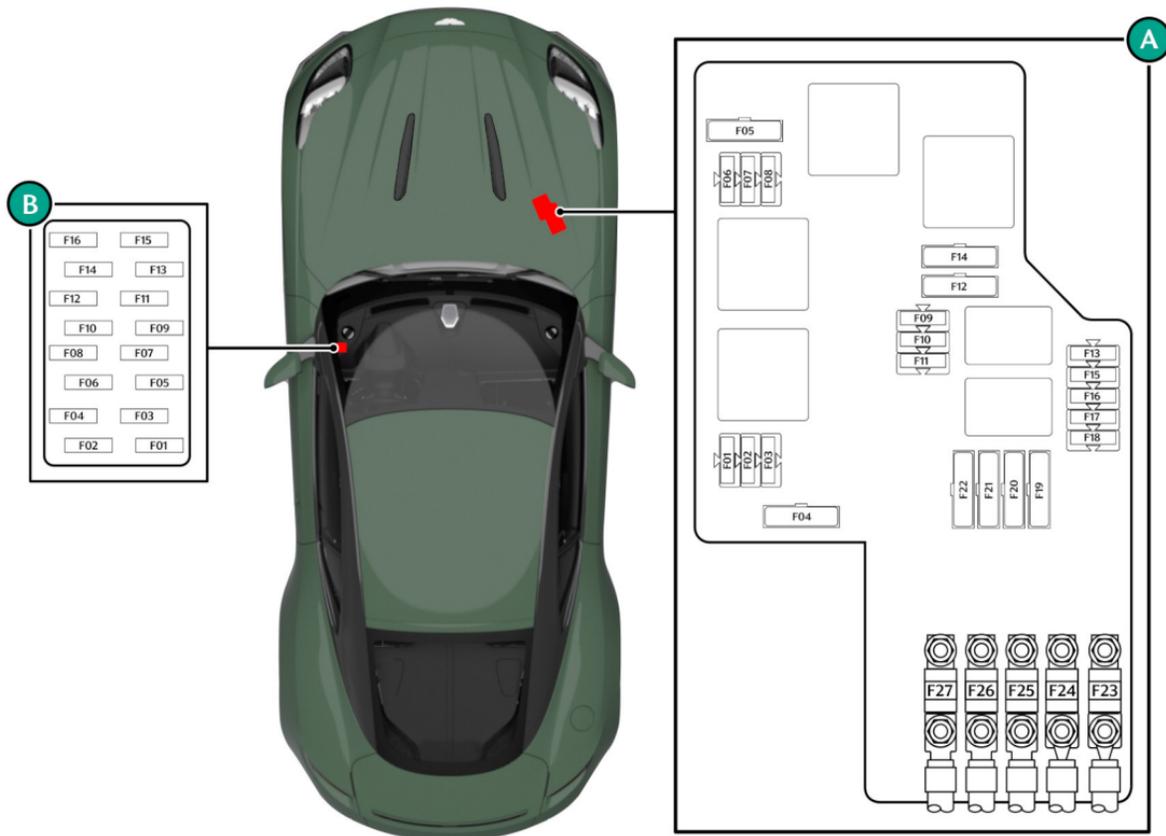
電気系統

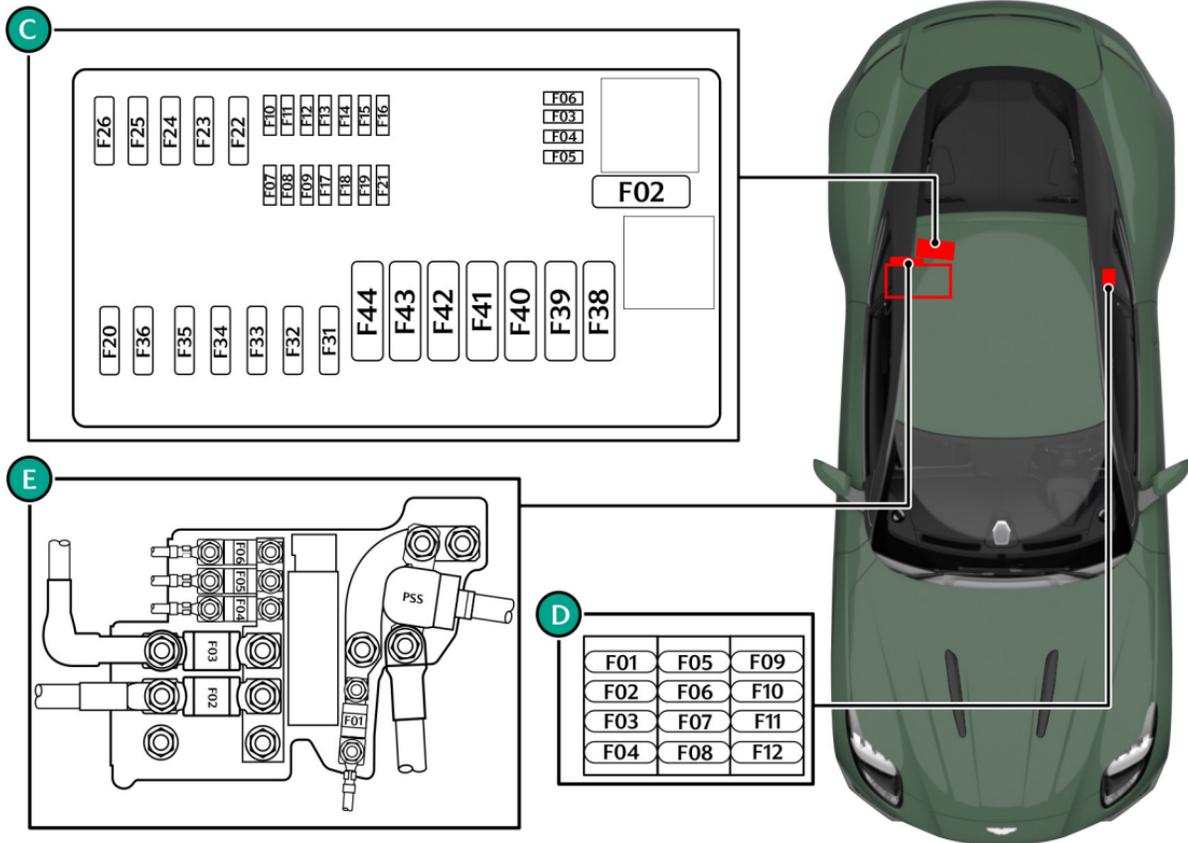
ヒューズ

電気系統はヒューズで保護されています。ランプ、アクセサリ、制御スイッチが働かないときは、関連ヒューズを確認してください。

ヒューズが切れると、内部の線が溶断します。同一ヒューズが繰り返し切れるときは、そのシステムの使用を避け、早急にアストンマーティン ディーラーにご相談ください。







(A) エンジン ルーム ヒューズボックス

F1	15A	エキゾースト バイパス バルブ
F2	15A	デファレンシャル冷却ポンプ
F3	15A	冷却水ポンプ
F4	20A	冷却水ポンプ
F5	15A	エンジン制御モジュール (ECM)
F6	15A	ECM
F7	15A	ECM
F8	15A	ECM
F9	5A	前方レーダー
F10	5A	ECM
F11	5A	ブレーキ制御モジュール
F12	10A	フロント ボディ制御モジュール (BCM)
F13	15A	ホーン
F14	30A	スタータ モーター

F15	5A	-
F16	5A	-
F17	5A	-
F18	7.5A	-
F19	20A	ヘッドランプ
F20	20A	ヘッドランプ
F21	30A	ワイパー
F22	30A	ワイパー
F23	40A	ブレーキ制御モジュール
F24	60A	ブレーキ制御モジュール
F25	100A	冷却ファン
F26	100A	電動パワー ステアリング (EPAS)
F27	-	-

13.24 保守および技術データ

(B) ダッシュボードヒューズボックス

F1	7.5A	アンビエントライト モジュール
F2	15A	HVAC モジュール
F3	10A	センター コンソール スイッチ バック
F4	7.5A	インストルメント クラスタ
F5	-	-
F6	7.5A	ステアリング コラム制御モジュール (SCCM)
F7	20A	ドライブ ユニット
F8	5A	電子料金収受システム (ETC) リーダー
F9	15A	SCCM
F10	10A	オン ボード診断 (OBD) ソケット
F11	5A	HVAC 制御パネル
F12	7.5A	ワイヤレス スマホ充電器
F13	7.5A	インフォテインメント ディスプレイ スクリーン
F14	15A	共通パワートレイン制御 (CPC) モジュール
F15	20A	ステアリング コラム ロック
F16	7.5A	ワイヤレス スマホ充電器

(C) リア キャビンヒューズボックス

F2	30A	ヒートドリア ウィンドウ
F3	15A	フロント 12 V ソケット
F4	15A	-
F5	15A	-
F6	5A	-
F7	5A	-
F8	5A	タイヤ空気圧モニタ システム
F9	5A	コネクテッド カー モジュール
F10	5A	E デフ
F11	5A	レイン / ライト センサ
F12	7.5A	駐車距離制御
F13	7.5A	USB パネル
F14	7.5A	乗員拘束制御 (ORC) モジュール
F15	10A	シート モジュール
F16	10A	-
F17	15A	インフォテインメント モジュール
F18	15A	左側シート調整
F19	15A	右側シート調整
F20	20A	アクティブ エアロ
F21	15A	トランスミッション制御モジュール (TCM)
F22	30A	燃料ポンプ制御モジュール

F23	25A	-
F24	25A	アダプティブ ダンピング モジュール
F25	25A	運転席制御モジュール
F26	25A	助手席制御モジュール
F31	30A	コンバーチブル ルーフ
F32	30A	ドア モジュール
F33	30A	ドア モジュール
F34	30A	コンバーチブル モジュール
F35	30A	E デフ
F36	30A	コンバーチブル モジュール
F38	40A	フロント ボディ制御モジュール (BCM)
F39	40A	リア BCM
F40	40A	リア BCM
F41	40A	オーディオ アンプ
F42	40A	コンバーチブル ルーフ モジュール
F43	40A	HVAC ブロワー
F44	40A	フロント BCM

(D) 補助キャビン ヒューズボックス

F1	10A	トリクル (細流) 充電器
F2	10A	電子イグニッション スイッチ (EIS)
F3	5A	コネクテッドカー モジュール
F4	10A	アラーム
F5	10A	せり出し式ハンドル モジュール
F6	7.5A	インストルメント クラスタ
F7	5A	デッキリッド ラッチ
F8	5A	ECM
F9	-	-
F10	30A	オーディオ アンプ
F11	30A	オーディオ アンプ
F12	-	-

(E) バッテリーヒューズ

PSS		火薬式安全スイッチ
F1	40A	キーブ アウエイク
F2	250A	エンジン ヒューズボックス
F3	200A	リア ヒューズボックス
F4	60A	-
F5	60A	-
F6	60A	ダッシュボード ヒューズボックス

火薬式安全スイッチ

火薬式安全スイッチ (PSS) は、過電流や衝突が生じたときに働くよう設計されています。働くと、PSS は電装システムをバッテリーから完全に切り離し、感電や車両火災のリスクを低減します。

PSS は一回しか使用できないため、作動後は交換する必要があります。

バッテリー**バッテリーに関する警告事項**

⚠ 警告：バッテリーには炎、火花、火の付いた物を近づけないでください。一般的にバッテリーは、充電中やジャンプスタート時に引火性ガスを発生します。バッテリー付近で作業を行うときは、必ず作業着やバッテリーに静電気が帯電していないことを確認してください。常に換気を十分に行ってください。

⚠ 警告：絶対にバッテリー上に金属製の物体を載せたり、バッテリーのプラス端子を車体パーツに接触させたりしないでください。火花や短絡が生じ、バッテリー充電中に発生したガスに引火するおそれがあります。

⚠ 警告：プラスチックケース入りバッテリーを持ち上げるときは、側面に過剰な力を加えるとバッテリー電解液がベントキャップから漏れ出し、負傷したり、車両やバッテリーの損傷につながったりするおそれがあります。バッテリーは運搬部が対角線上の角で持ち上げてください。

⚠ 警告：バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告：バッテリーには電解液 (硫酸) が含まれています。電解液を皮膚、目、衣服に付着させないでください。バッテリーの付近で作業を行うときは、酸性の電解液が撥ね飛ぶおそれがあるため、目を保護してください。バッテリー電解液が皮膚や目に付着/入ったときは、直ちに水で15分以上洗い流し、救急処置を受けてください。電解液を誤飲したときは、直ちに医師の診察を受けてください。

! 注意：車両バッテリーの接続を外した状態では絶対にエンジンを作動させないでください。車両の電子モジュールが損傷するおそれがあります。

! 注意：車両の回収時を除き、バッテリーでエンジンを始動できない状態では絶対に運転しないでください。そうした場合には車両バッテリーを交換する必要があります。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

! 警告：バッテリーポスト、端子、関連アクセサリーには鉛や鉛化合物が含まれています。取り扱い後は、手を洗ってください。



車両バッテリー：Banner 92AH

本車両バッテリーはメンテナンスフリータイプであり、定期点検時のアストンマーティンディーラーによる点検以外の保守作業は不要です。車両バッテリーにアクセスするには、ラゲージルーム右側のトリムパネルを取り外します。

バッテリー電力の保護

! 注意：バッテリーでエンジンを始動できなくなったときは、早急にバッテリーを交換してください。

イグニッションを ON にし、エンジンを始動させずにインフォテインメントシステムなどの車両電装品を使用すると、バッテリーが消耗します。

バッテリー電圧がエンジン始動に必要な水準以下に低下するのを防ぐために、車両バッテリー モニタ システムは未然に不必要な電気系統を停止させます。

約 2 ~ 10 分後 (バッテリー電圧の低下速度による)、インフォテインメント画面にメッセージが表示されます。

バッテリーの電圧低下警告メッセージが表示されたときは、バッテリーが充電されるようエンジンを始動し、アイドリング状態にしてください。¹ または適切なバッテリー充電器やコンディショナーを接続してください。

車両バッテリーの廃棄

車両バッテリーの不適切な廃棄は、健康や環境に非常に大きな害を及ぼすおそれがあります。ほとんどの車両バッテリーには、不適切な方法で廃棄すると環境に漏れ出す物質が含まれています。土壌や水質が汚染され、野生の生物 / 動物に害を及ぼすおそれがあります。

バッテリーを燃やしたり、水中に廃棄したりしないでください。

地域の規制に従って廃棄してください。自動車用バッテリーのリサイクルについては、地域の認定リサイクル センターまでお問い合わせください。車両バッテリーは家庭ごみとして廃棄しないでください。



¹ バッテリーを充電するために走行するときは、48 km (30 miles) 程度の走行で十分です。

バッテリー コンディショナー

(オプション)

⚠ 注意：バッテリー充電器を電源コンセントに接続したままエンジンを始動しないでください。

アストンマーティンのバッテリー コンディショナーは、あらゆるタイプの 12 V AGM および鉛酸蓄電池に適合します。

車両の使用予定がなく、電源コンセントを利用できるときは、バッテリー コンディショナーを使用してバッテリーの充電状態を維持してください。接続すると、バッテリー コンディショナーは細流充電を続け、バッテリーを満充電状態に保ちます。バッテリー コンディショナーは、半充電または満充電したバッテリーのコンディショニング (保守) 用です。上がったバッテリーは効果的に充電できません。

バッテリー コンディショナーを充電ソケット (A) に固定するには、磁気ディスクが必要です。バッテリー コンディショナーを接続するには、デッキリッドを開き、充電プラグを充電ソケットに差し込みます。その後、コンディショナーを接続したままデッキリッドを閉めてロックできます。



 安全面での詳しい注意事項や操作方法については、バッテリー コンディショナーに付属する取扱説明書を参照してください。

ランプ類

エクステリアランプ

すべてのエクステリアランプ（車外灯）にはLEDが採用されており、それらは密閉式ランプユニット内に収められています。

ランプユニットは修理できません。ランプまたはランプユニットが故障したときは、アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

インテリアランプ

インテリアランプはすべてLEDのため、修理できません。LEDが故障した場合は、アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

車両ケア

洗車

⚠ 警告：シリコンを含有する洗浄剤や研磨剤は、ガラスに使用しないでください。使用するとフロントガラスワイパーの効率が低下して汚れが残り、特に夜間や雨天の視界が悪くなります。

⚠ 注意：自動洗車機、高圧洗浄機、電動モップの使用は、お勧めしません。使用されている洗剤には、長期的には一部の車両エクステリアパーツに悪影響を及ぼす特定の化学薬品が含まれていることがあります。さらに、自動洗車機や電動モップを長期にわたって使用すると、塗装面に細かな傷が付きまします。

アストンマーティン社は、車両を清掃し、保護するためのさまざまな製品を提供しています。詳しくは、アストンマーティンディーラーまでお問い合わせください。

冬季は洗車回数を増やすことをお勧めします。凍結防止剤が撒かれた道路から車両に付着した汚染源（塩や砂）による悪影響を防ぐために、特に車体下側に注意を払ってください。

ブレーキコンポーネントに腐食が発生するのを遅らせるために、洗車後は短距離を走行し、水分や洗剤を完全に乾燥させることをお勧めしています。

洗車時の注意：

- 強い直射日光下では洗車しないでください。車両の温度が下がってから洗車してください。
- 家庭用洗剤は使用しないでください。
- ドアやトランク リッドのシール周囲にホースを向け、水量を最大にして当てないでください。
- 細かいキズができるため、車体部分にはブラシを使用しないでください。

お勧めの洗車方法：

1. 2つのバケツに水を張ります。一方のバケツに中性洗剤（メーカーの説明書きを参照）を入れます。
2. ホースで車両からほこりや泥を完全に洗い流します。砂粒で塗装に傷が付くおそれがあるため、水流を強くしないでください。
3. 清潔な大型洗車用ミトンや柔らかいスポンジを洗剤溶液に浸し、洗車を開始します。車両の上部から狭い範囲に区切って洗浄します。車両の周囲を何回か回り、一周ごとにより低い位置のエリアを洗車します。ミトンやスポンジの汚れは、水のみを入れたバケツ内で頻繁にすすぎ落とします。
4. 一つのエリアを洗浄した後、ホースですすぎ、次のエリアに進みます。染みになるおそれがあるため、塗装上で洗剤溶液を乾かささないでください。塗装上で水滴が乾いて跡が残らないよう、常に車体を濡れた状態に保ちます。
5. セーム革で車両から水滴を取り除いた後、自然乾燥させます。

塗装

最近の水性塗料は、溶剤ベースの塗料に比べて安全性が高く、環境に対する影響も少なくなっています。ただし水性塗料には、腐食性物質によって汚染や染みが発生しやすいという弱点があります。車両の塗装に悪影響を与える、ごく一般的な汚染物質の例は次のとおりです。

- 鳥の糞、
- 不凍液、
- 樹液、
- オイル、グリース、
- 昆虫の死骸

これらの汚染物質は、特に汚染の進行を早める好天下では、早急にカーシャンプーと清浄な温水を使用して洗い流してください。

 水性塗料や仕上げ剤の使用経験が深まるにつれて、他の種類の汚染物質が上記のリストに加わることも考えられます。

サテン塗装

(オプション)

! アストンマーティン新車保証は、塗装に使用された部材の不具合と塗装作業における不具合に適用されます。本保証は、サテン塗装のつや消し効果を消失させる原因となった過失、整備不履行/整備不良(ワックス掛け、仕上げの研磨)、環境の影響、不適切な修理や損傷に起因するサテン塗装またはつや消し塗装の修理には適用されません。

従来のグロス/メタリック仕上げ塗装と比較して、サテン塗装のお手入れ方法はわずかに異なります。サテン塗装の損傷を避けるため、以下のクリーニングおよびケアを行ってください。

1. アストンマーティン社が推奨するクリーニング製品のみをご使用ください。研磨剤の入ったクリーニング製品は、塗装のつや消し効果に影響するため、使用しないでください。
2. 塗装を磨いたり、ワックス掛けをしたりしないでください。塗装に光沢が生じるおそれがあります。
3. 自動洗車設備で洗車しないでください。砂や粉塵などの粒子によって塗装面に傷が付くおそれがあります。
4. 洗車には、柔らかなスポンジのみを使用してください。研磨性のクリーニング用具は使用しないでください。
5. 虫の死骸、鳥の糞、樹液、タールの染み、燃料、オイルは速やかに取り除いてください。洗車時は車両を強くこすらないでください。
6. 塗装面にシールを貼ると、剥がしたときに跡が残ります。
7. 塗装の修理は、アストンマーティン車体修理工場（カテゴリー A または B）にご依頼ください。

フロント グリル

車両のフロントグリルは、塗装部分と同様に洗浄します。ただし、水滴が残らないよう完全に乾かしてください（最後にセーム皮で水分を取り除いてください）。クローム用研磨剤や研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

セラミック ブレーキ ディスク (オプション)

セラミック ブレーキ ディスクの損傷を防ぐために、ホイールの洗浄に中性洗剤の水溶液以外の製品や洗剤を使用するときは、必ずホイールを車両から取り外してください。

ホイール

アロイ（合金）ホイール、ホイール ナット、ホイール センター トリムがブレーキ ダストの堆積によって損傷しないよう、アロイ ホイールは中性洗剤溶液だけを使用して頻繁に洗浄してください。アロイ ホイール用ケミカル クリーナーは使用しないでください。そうしたクリーナーには強い酸性やアルカリ性の成分が含まれていることが多々あるため、変色が生じるおそれがあります。ホイールは必ず一度に一本ずつ洗浄し、ホイール上で洗浄溶液を乾燥させないでください。清浄な水で完全にすすいでください。

ヘッドライトレンズ

ヘッドライトレンズの洗浄には、中性洗剤の水溶液のみを使用してください。溶剤を含む洗剤は使用しないでください。

タール除去剤、ガソリン、ワックス、研磨剤などの溶剤を含む洗剤は、ヘッドライトレンズを損傷させるおそれがあります。

エンジンルームの洗浄

高圧ホースやスチームクリーナーを使用したエンジンルームの洗浄は行わないでください。高圧洗浄機でエンジンルームを非選択的に洗浄すると、電子制御モジュールやヒューズボックスが損傷するおそれがあります。

研磨

年に2回程度の頻度で車体に高品質の研磨剤(ポリッシュ)を塗り、糸くずのない柔らかな布で磨いてください。

アロイホイールのリムは、必ず専用クリーナーを使用して磨いてください。

ボディワーク(車体)の整備

各ドアの底面にある排水穴は定期的に点検し、必要に応じて清掃してください。

内装、トリム、カーペット、シート

⚠ 警告: 清掃用の溶剤から発生するガスは、閉め切った場所では危険を生むおそれがあります。そうした製品の使用時は車内を十分に換気し、容器に記載されている使用方法に従ってください。

⚠ 注意: デニムや植物由来のなめし液を使用したレザーなどの特定の衣服には、「色移り」が生じる傾向があります。それにより車内のレザーが変色するおそれがあります。変色部分は速やかに清掃し、再び保護してください。

本車両のシートやソフトトリム部品には、天然皮革が使用されています。一般的にこうした天然皮革の内装部品にはお手入れはほぼ不要です。時々、柔らかいブラシをかけ、石鹸水を含ませた布で拭いてください。

洗剤、アルコール系クリーナー、クイッククレンザー、家具用研磨剤は使用しないでください。そうした製品は、当初は優れた効果を発揮するかもしれませんが、レザーの劣化を早め、保証が無効になります。

年に数回、皮革用コンディショナーや皮革油でお手入れしてください。適切なお手入れ用品は、アストンマーティンディーラーからお求めいただけます。

ブラッシュドアルミやアルマイト加工したトリムは、糸くずの出ない乾いた清潔な布で汚れを取り除いてください。

Alcantara®¹ ルーフライニングと他のソフトトリム部分も、柔らかいブラシでお手入れしてください。コーヒー、紅茶、ソフトドリンクなどの水溶性の染みは、速やかに中性洗剤の水溶液で拭き取ってください。

オイルやグリース、ボールペンのインキなどの落ちにくい染みについては、アストンマーティンディーラーにご相談ください。

カーペットは定期的に掃除機で清掃してください。染みや油汚れは、カーペット用の高品質の溶剤を使用して取り除いてください。

シートベルトのお手入れと点検整備

⚠ 注意：シートベルトは完全に乾くまで巻き取らないでください。

拘束装置のウェビング（布部分）が正常に働くか確認するために、シートベルトは定期的に点検してください。ほつれ、切り傷、焦げ跡、同様の不具合がないか点検します。ラッチやバックルが正常に働くことを確認します。シートベルトの状態や動作に不具合があるときは、アストンマーティンディーラーにご相談ください。

激しい衝突事故で損傷したベルトは、アストンマーティンディーラーに交換をご依頼ください。

シートベルトは中性の石鹸水で洗浄し、漂白剤、溶剤、染料は素材を弱めることがあるため使用しないでください。ベルトは完全に乾燥させてから使用してください。

¹ Alcantara（アルカンターラ）はイタリアの Alcantara SPA の登録商標であり、許可を受けて使用しています。

コンバーチブル ルーフの清掃

▼ 注意：車両の長期保管中は、ルーフを下げた（折り畳んだ）状態にしておかないでください。折れ目に沿って汚れや色あせが生じ、ルーフ生地が永久的に損傷するおそれがあります。

▼ 注意：自動洗車機は使用しないでください。ブラシ、洗剤、高圧水がルーフ生地を傷めるおそれがあります。高圧洗浄機は使用しないでください。高圧水が防水シールやルーフ生地を傷めるおそれがあります。シミ抜き剤、ケミカル希釈液、有機クリーナーは使用しないでください。ご不明な点は、アストンマーティン ディーラーにお問い合わせください。

ルーフ生地の外観と状態を維持するため、清掃に関する以下の推奨事項に従ってください。明るい色のルーフ生地は、特に注意が必要です。

鳥の糞は直ちに取り除いてください。鳥の糞に含まれる有機酸は、ルーフ生地に悪影響を及ぼすおそれがあります。ルーフ生地には慎重に掃除機をかけ、ごみや埃を取り除きます。中性洗剤の溶液と柔らかなブラシを使用し、強い力を加えずに、むらなくルーフ生地を洗浄します。

 硬いブラシは生地の繊維を傷めます。

ルーフ生地を浄水ですすぎ、洗剤成分を完全に取り除きます。ルーフ生地が完全に乾いてからルーフを操作してください。

パワートレーンの仕様

4.0 L V8 エンジン

オール アロイ 32 バルブ V8 エンジン (特徴は以下のとおり) :

- デュアル ツインスクロール ターボチャージャ
- 独立クワッド可変カムシャフト タイミング
- エンジン ストップ / スタート (アイドリング ストップ)
機能
- ツイン水冷チャージ エア クーラー

エンジン排気量

3982 cc (242 CID)

ボア : 83 mm (3.26 inch)

ストローク : 92 mm (3.62 inch)

圧縮比

8.6:1

点火順序

1 - 5 - 4 - 2 - 6 - 3 - 7 - 8.

燃料デリバリー

マルチポイントシーケンシャル燃料噴射

アイドリングスピード

800 rpm

イグニション

「コイル オン プラグ」イグニション システム

潤滑方式

ウェット サンプ圧送式システム

排ガス規制

4 個の O₂ センサー (各バンクに 2 個) および 4 基の触媒コンバータ (各バンクに 2 基)

エバポレーティブ ロス パージ システム

トランスミッション

- リア マウント式 ZF 8HP75 8 速オートマチック ギアボックス
- ラテラル トランスミッション ダンパ
- カーボン ファイバー ドライブ シャフト搭載の鋳造アルミトルク チューブ
- 電子制御ロックキング デファレンシャル (冷却ジャケット内蔵)
- フロント マウント式トランスミッション ラジエータ (トランスミッション マウント式熱交換器とポンプ付属)

ギア比

1 速	4.714
2 速	3.143
3 速	2.106
4 速	1.667
5 速	1.285
6 速	1.000
7 速	0.839
8 速	0.667
リバース	3.317
ファイナル	3.083

性能

パラメータ	値
最高出力 / エンジン回転数	680 PS 670 Bhp 500 kW @ 6000 rpm
最高エンジン回転数	7200 rpm
最大トルク / エンジン回転数	800 Nm (590 lb.ft) @ 2800 rpm ~ 5500 rpm
最高速度 (許容されている場合)	325 km/h (202 mph)
0-100 km/h (0-62 mph)	Coupe : 3.6 秒 Volante : 3.7 秒

寸法

車内寸法	
フロント	
有効ヘッドルーム	980 mm (38.5 Inches)
有効レッグルーム	1145 mm (45 Inches)
有効ショルダールーム	1380 mm (54 Inches)
リア	
有効ヘッドルーム	635 mm (25 Inches)
カップル距離 ¹	635 mm (25 Inches)
有効ショルダールーム	1235 mm (48.5 Inches)

1. リアシート乗員とフロントシート乗員のヒップポイント間の距離。

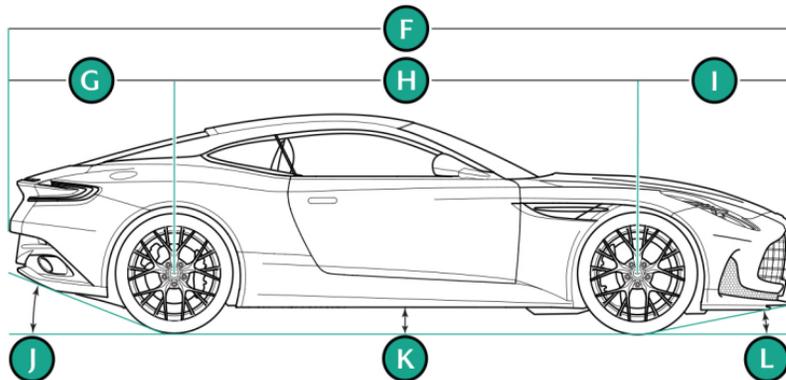
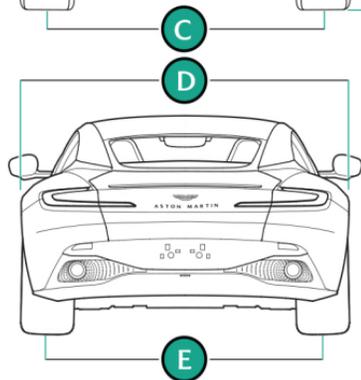
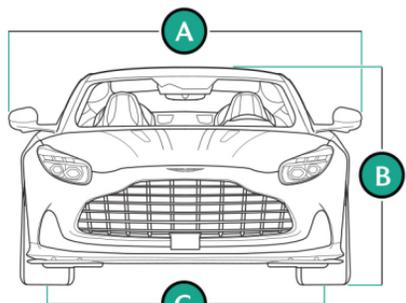
車両重量	Coupe	Volante
空車重量	1820 kg (4010 lbs)	1930 kg (4255 lbs)
車両総重量 (GVW)	2260 kg (4980 lbs)	2360 kg (5200 lbs)
ラゲージ コンパートメント容量	280 L (10 立方フィート)	
ラゲージ コンパートメント積載量	40 kg (90 Lbs) ₁	
牽引能力	非該当 ₂	

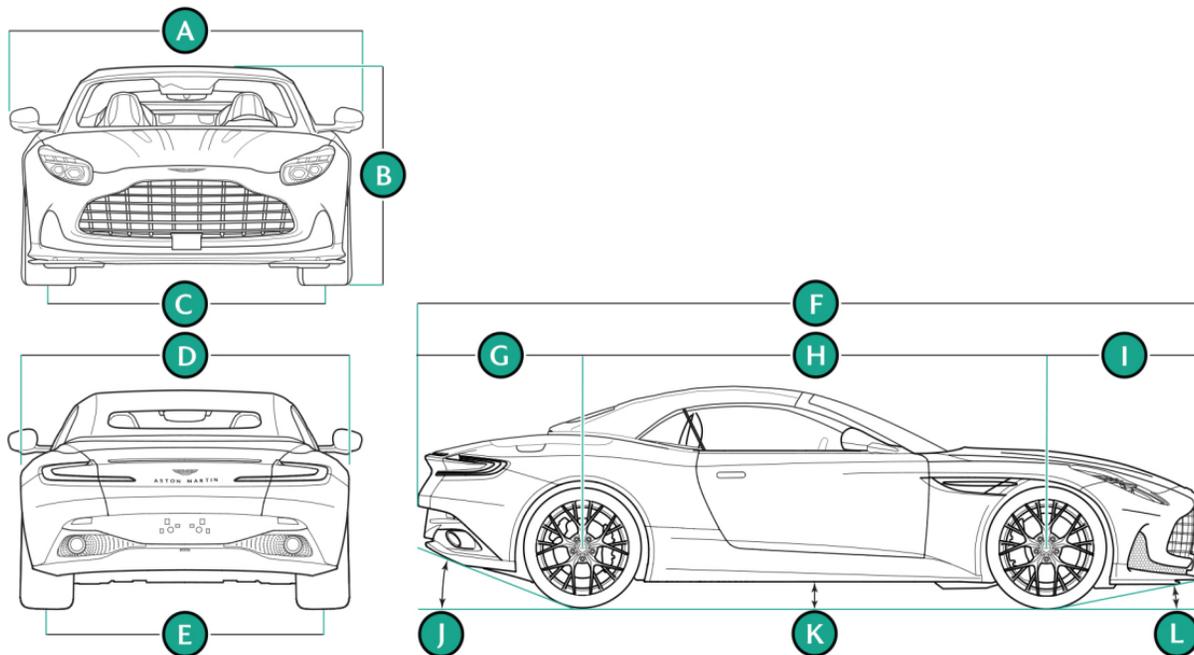
1. 最大積載量、均等配分時

2. 本車両は、キャラバン、ボート、トレーラーなどを牽引するようには設計されていません。車両の回収時や運搬車への搭載時に使用するフロントの牽引用フック以外は、本車両に牽引装置を取り付けしないでください。

外寸

Coupe



Volante

外寸			
		Coupe	Volante
A	全幅 (ミラーを含む)	2135 mm	
B	車高	1295 mm	1305 mm
C	フロントトレッド幅	1665 mm	
D	全幅 (ミラーを除く)	1980 mm	
E	リアトレッド幅	1650 mm	
F	全長	4725 mm	
G	リア オーバーハング	995 mm	
H	ホイールベース	2805 mm	
I	フロント オーバーハング	925 mm	
J	デパーチャ アングル	20.5°	
K	最低地上高	120 mm	
L	アプローチ アングル	10.1° ₁	

1. 10.0° (ブラックまたはカーボン ファイバー ロア ボディ パッケージ装着時)。

緊急事態と故障

故障車の回収

⚠ 注意: トランスポーター (陸送車) で車両を輸送する際は、サスペンションコントロール アームにストラップを取り付けて車両を固定しないでください。

⚠ 注意: エンジンを切った状態では、パワーブレーキとパワーステアリングは働かなくなります。エンジン作動時と比較して、ブレーキペダルの踏み込みとステアリングホイールの操作に格段に大きな力が必要になります。

⚠ 注意: トランスミッションの故障時は、必ずトランスポーターを利用してください。

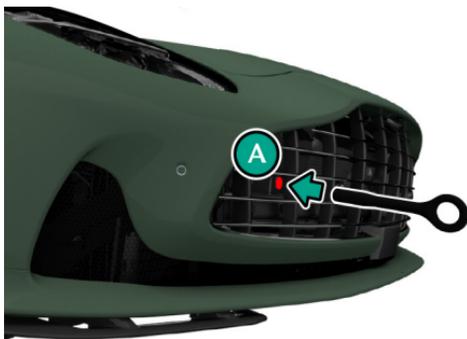
パーキングブレーキを掛けた状態で車両の電源が失われると、パーキングブレーキは解除されません。アストンマーティンアシスタンスまたは最寄りのアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

車両の回収は、必ず専門の車両運搬業者に依頼してください。₁ 牽引は交通を妨害しているときやトランスポーターへの引き上げが必要なときに行い、**短距離**に留めてください。

₁ 故障車の運搬には、専用の屋根付きトランスポーター (陸送車) を使用してください。

そうした状況で車両を移動させる場合：

1. 牽引フックを慎重にグリルに通し、露出しているメスねじ (A) に完全にねじ込み、車体に固定します。



 牽引フックは左ネジです。

 牽引フックの取り付け時は、車両の塗装を保護してください。

2. 牽引時は、牽引ロープがたるみ過ぎないように、必要に応じてフットブレーキを非常にゆっくりと踏みます。

別の車両の電源を使用したジャンプスタート

⚠ 警告：バッテリーの極性を適切に維持するために、救急車のバッテリーが 12V で、アース (-) 端子が存在することを確認してください。

⚠ 注意：車両の回収時を除き、バッテリーでエンジンを始動できない状態では絶対に運転しないでください。そうした場合には車両バッテリーを交換する必要があります。

⚠ 注意：救急車側のバッテリー電圧やアースが異なっていたり、不明な場合はジャンプスタートを行わないでください。

バッテリーが上がってエンジンを始動できないときは、車両を回収するために他車（救急車）のバッテリーを本車両（故障車）に接続します。

ジャンプ スタート手順

▼ **注意:** 指輪、腕時計の金属バンド、他の装身具を外してください。

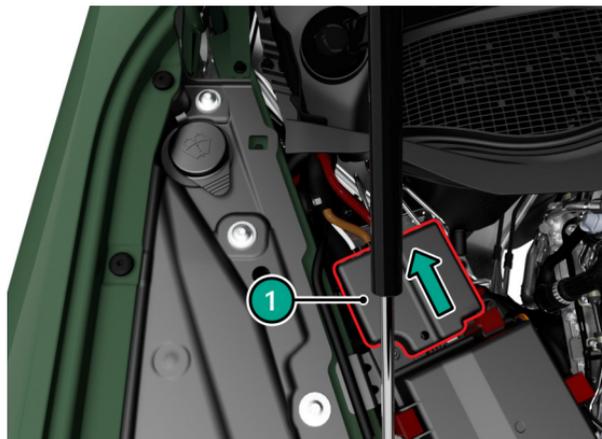
▼ **注意:** 両方の車両のすべての電気モーターや電装アクセサリーを OFF にします。

▼ **注意:** 車両の保護用や作業エリアの照明用を除くすべてのランプを消灯します。

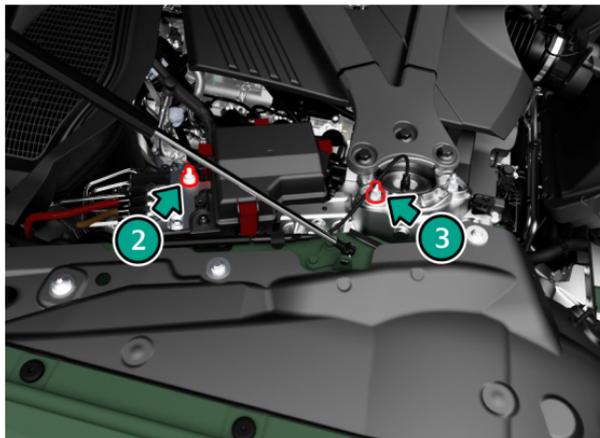
📖 再充電に要する時間は、放電したバッテリーの当初の「健康状態」によって異なります。

📖 エンジンが始動しないときは、アストンマーティン デイラーにご連絡ください。

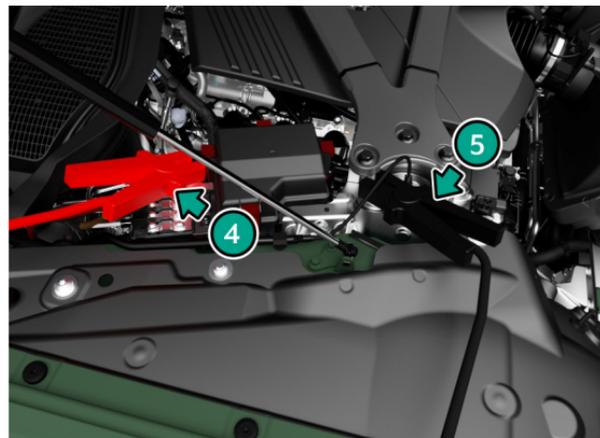
1. ジャンプ スタート ケーブルが故障車両のエンジン ルームに届く位置に救済車を駐車します。パーキング ブレーキを掛け、エンジンを作動させておきます。
2. 故障車のエンジン ルームでジャンプ スタート端子を探します。
3. メイン電源ヒューズバンク (1) のカバーをスライドさせて外し、ジャンプ スタート ポイントにアクセスします。



4. 図示したプラス側 (2) とマイナス側 (3) のジャンプ スタート ポイントを確認します。



5. 救援車側バッテリーのプラス端子と主電源のプラス側 (+) ジャンプ ポイント (2) 間をプラス ケーブル (4) で接続します。
6. 救援車側バッテリーのマイナス端子とサスペンション 接地ポイント (-) ナット (3) 間をマイナス ケーブル (5) で接続します。



7. 救援車のエンジンを始動させて回転数を上げ、およそ 1500 ~ 2000 rpm で 2 分間作動させます。¹

 救援車のエンジンを切ります。救援車のエンジンを切らないと、故障車両は始動しません。

¹ 充電時間は、救援車のバッテリーの状態によります。

8. 救援車のエンジンを切ります。
9. 故障車のエンジンを始動します。
10. ジャンプ スタート ケーブルを接続したままエンジンを 2 ~ 3 分作動させ、バッテリーを充電します。
11. 両車両のマイナス ケーブル (黒)、プラス ケーブル (赤) の順にジャンプ スタート ケーブルを取り外します。
上がったバッテリーが充電され、自力で始動できるようになるまで故障車両のエンジンを作動させておきます (15 ~ 20 分間)。エンジンを切り、再始動します。
長距離を走行し、バッテリーを満充電します。
アストンマーティン ディーラーに連絡し、バッテリーの点検または交換をご依頼ください。

車両のジャッキアップ

⚠ 警告：必ず全乗員を降車させてから車両のリフトアップを行ってください。

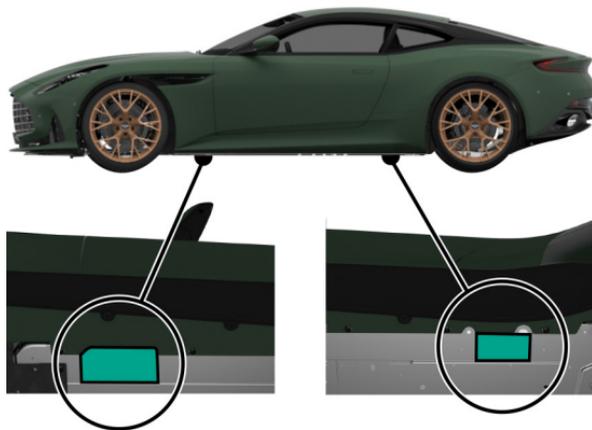
⚠ 警告：パーキングブレーキが掛かり、ギアが P (パーキング) に入っているか確認してください。

⚠ 警告：ジャッキの土台が安定するよう、地盤が堅固で平坦な面に駐車してください。

⚠ 警告：サスペンション アームの下側にジャッキや他のリフトアップ機器を入れてジャッキアップしないでください。

⚠ 警告：ジャッキやリフトアップ機器は、図示されているジャッキアップポイントよりも内側に使用しないでください。

車載ジャッキでジャッキアップする場合は、以下のジャッキアップポイントを使用してください。



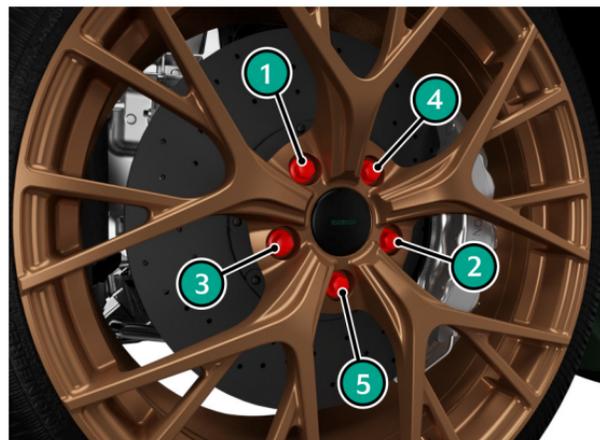
ホイール ボルトの締め付けトルク

▼ 注意: ホイール ボルトの取り外し、取り付け、締め付けには、適切なプラスチックスリーブ付きソケットを使用してください。ホイール表面が損傷するのを防ぐことができます。

すべてのホイール ボルトは 2 段階で締め付けてください。

- ホイール ボルトは (図示された順序で) 1 本おきに全 5 本を 70 Nm (52 lb/ft) まで締め付けます。

 ロッキングホイール ボルトを取り付ける場合は、最後に取り付けてください。



- ホイール ボルトは (図示された順序で) 1 本おきに全 5 本を 150 Nm (111 lb/ft) まで締め付けます。

タイヤ修理キット

⚠ 警告：修理システムは、タイヤ空気圧が不足した状態で走行したために破損した（例えば切れ目、ひび割れ、膨らみなどの損傷がある）タイヤの補修には使用しないでください。サイドウォールに損傷のあるタイヤの補修に使用しないでください。シーラントで補修可能なのは、トレッド部分がパンクしたタイヤのみです。

⚠ 警告：コンプレッサによるポンピング中はタイヤの真横に立たないでください。タイヤのサイドウォールを点検します。ひび割れ、膨らみ、同様の損傷が見られたときは、コンプレッサを停止させてください。それ以上は走行しないでください。最寄りのアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

⚠ 警告：タイヤ空気圧が 1.8 bar (26 psi) に達しないタイヤはシーラントで補修できません。タイヤの増圧を中止してください。アストンマーティンディーラーにご連絡ください。

⚠ 警告：3 km の走行後にタイヤ空気圧が 1.3 bar (19 PSI) 以下になったときは、タイヤは適切に補修されていません。それ以上は走行しないでください。最寄りのアストンマーティンディーラーにご連絡ください。

⚠ 警告：長時間の駐車後は、タイヤ空気圧を再点検してください。

⚠ 注意：タイヤシーラントキットは、一時的な走行を可能にする応急処置用です。一時的な走行用に処置を行ったタイヤの使用と修理については、その地域の法規制に従ってください。詳しくはタイヤ専門店にお問い合わせください。

 タイヤ専門店 / 修理工場には、タイヤにシーラントが注入されていることを伝えてください。

 残った液状シーラントはアストンマーティンディーラーに引き渡すが、地域の廃棄物処理規制に従って廃棄してください。空のシーラントボトルは家庭の一般ごみと共に廃棄できます。

操作

トランク内からタイヤシーラントキットを取り出します。蓋に記載されている取扱説明書に従います。

タイヤシーラントキットをご使用になる前に、以下の指示と警告事項を注意深くお読みください。車両とユーザーの安全のためには、そうした指示に従うことが不可欠です。そうした指示に従わないと、タイヤに重度の損傷が生じ、車両の挙動が危険な状態になり、人身事故や対物事故の原因となります。

 本車両のタイヤ修理には2本のキャニスター(付属品)が必要です。

- 通過車両の危険がなく、交通妨害にならないよう、往来から十分に離れた場所に駐車します。三角警告板を立て、他車に注意を促します。
- タイヤシーラントを使用した補修後は、80 km/h (50 mph) 以上で走行しないでください。
- タイヤシーラントは**応急処置**にすぎず、処置後に走行できる距離は最長 200 km (125 miles) または最寄りのアストンマーティンディーラーまでです。

- 最寄りのディーラーが 200 km (125 miles) 以上離れているときは、アストンマーティンディーラーにご連絡ください。
- 本システムは、直径が最大 6 mm の穴によってパンクしたタイヤを効果的に密閉します。特にそれによりも大きな損傷は密閉されないおそれがあります。パンクの原因となった異物が残っている場合は、タイヤから抜き取らないでください。
- タイヤシーラントは容器に記載された使用期限前に交換してください。ボトルやケースに記載されている使用期限に達しているタイヤシーラントは**使用しないでください**。最寄りのアストンマーティンディーラーにご連絡ください。
- システムアダプターを使用せずに他の品目を膨らませたり、50 L 以上の物(エアマットレスやゴム製ボートなど)を膨らませたりしないでください。ポンプは、途中で停止させて冷却時間を設けることなく 10 分以上連続的に作動させないでください。

システム使用後は、ホースとシーラントボトルの両方を交換してください。ホース内に残ったシーラントによってシステムが正常に働かなくなることがあります。新品のシーラントボトルはアストンマーティンディーラーからご購入いただけます。

燃料

 燃料タンクの給油ネックは開口部が狭く、無鉛ガソリン用給油ポンプのノズルだけを挿入できる構造になっています。

給油フラップの後端を押して給油フラップを開きます。給油フラップが開かない場合は、給油フラップの緊急リリースを使用してください。



燃料タンクは燃料が入りすぎない構造になっていますが、満タンになる前に給油ノズルが停止する場合があります。そうした場合には、一回だけ再給油を試みてください。それ以上給油を試みると燃料があふれ出すおそれがあります。10秒待つて給油ノズルを抜いてください。

給油ボウル

給油ボウルに水が溜まり、燃料タンクに流入するのを防ぐために、給油ボウルにはドレンパイプが設けられています。給油時は、パイプを詰まらせる異物がないか確認してください。

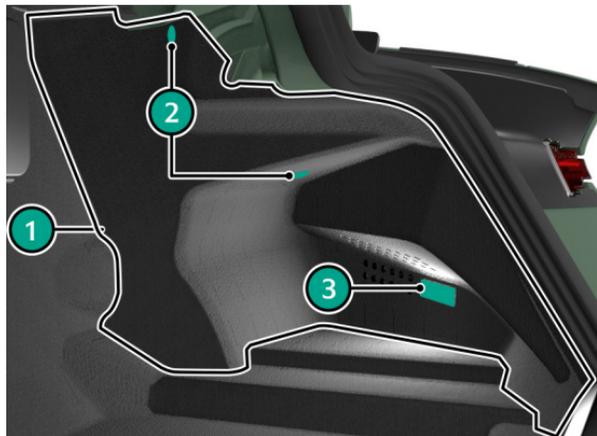
燃料遮断

事故発生時は車両の電気系統が衝突モードに入ります。燃料ポンプに給電されなくなり、火災が生じるリスクが低減されます。

緊急時の給油フラップの開き方

給油フラップのロックを手動で解除するには：

1. ラゲージコンパートメントの右側カーベット (1) をずらします。カーベットを固定する2個のファスナー (2) を外し、ラゲージコンパートメントランプ (3) を取り外します。カーベットを移動します。

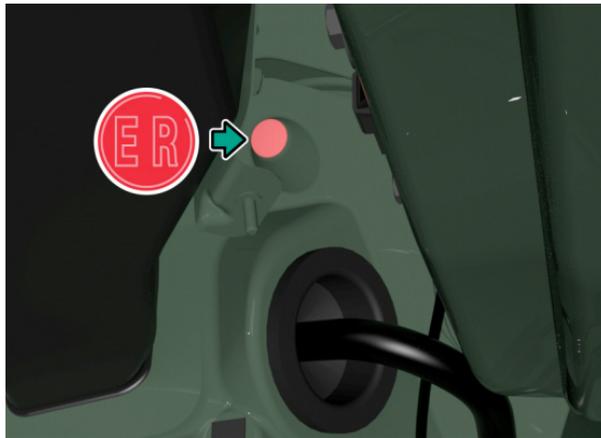


2. デッキリッド ヒンジの右側背面にアクセスします。



- 緊急リリース (ER) タブを引き、給油フラップのロックを解除します。

⚠ 注意: 緊急解除ケーブルは、給油フラップのロック解除用です。給油フラップは開きません。破壊するおそれがあるため、緊急リリースケーブルは強く引かないでください。



- 給油フラップの後端を押して給油フラップを開きます。

ソフトウェア アップデート

車両を最高の状態で作動させるには、インフォテインメントにソフトウェア アップデートをインストールする必要があります。ソフトウェア アップデートが利用可能になると、*System Settings (システム設定)* の *Software (ソフトウェア)* 画面に通知として表示されます。(‘ソフトウェア’, 12.9 ページ参照)。

更新プロセス

ソフトウェアの更新を開始するには、画面のインストールボタンをタップすると、ソフトウェアがインストールされます。インストールが開始されるためには、以下の条件を満たす必要があります。

- 停車する。
- トランスミッションを P (パーキング) に入れる。
- パーキング ブレーキを掛ける。
- 車両バッテリーが 80% 以上充電されている。
- E コール セッションが進行していない。

上記の条件が満たされていると、法的免責事項が表示され、それに同意するとプロセスが続行されます。選択済みドライブ モードの変更制限といった、車両に影響を与える条件がある場合は、それ也表示されます。

完了すると、インストールに成功したことを示すメッセージが表示されます。

点検整備担当者

アストンマーティン デイラー	A.2
車両記録	A.3
整備	A.5
点検整備の記録	A.6
エアバッグ ユニットの交換	A.28
シートベルト プリテンション交換	A.28
ブレーキディスクの点検	A.29
キャンペーン記録	A.32

アストンマーティン ディーラー

世界各国の正規ディーラーの一覧は以下のサイトをご参照ください：

www.astonmartin.com

ディーラー一覧には最新かつ正確な情報を掲載するよう万全を期しております。しかしながら、アストンマーティン社のフランチャイズ組織に変更が生じる可能性もあります。いかなる状況においても、当社、本書に記載されているインポーター（輸入業者）またはディーラーは、本書の内容の誤りや二次的損害に対する責任を負いません。

 アストンマーティン ディーラーは、衛星ナビゲーションシステムに POI としても含まれています。

すべてのディーラーは、アストンマーティン社の販売・整備基準を満たすよう尽力しています。しかし、当社が販売する全車両には、世界各地の法規制を満たすことが求められています。当初の購入国以外で整備点検を受ける場合は、お客様のご要望を満たすよう全力を尽くしますが、車両/部品の仕様が異なるために特定の部品を入手できないことがあります。

アストンマーティン ディーラーは独立事業者であり、当社の直営組織ではありません。したがってディーラーは、当社に対する法的拘束力を持たず、当社の代理人としてファイナンス関連の契約や他の契約を結ぶ権限もありません。アストンマーティン ディーラーのみが、保証業務を実施する権限を有します。

車両記録

モデル:

車両識別番号:

VIN プレートに記載

車体の色:

室内のプライマリーカラー:

室内のセカンダリーカラー:

ステッチの色:

ダッシュボードの色:

ジュエリーバックカラー:

第 1 オーナー

販売代理店

納車日

第 2 オーナー

販売代理店

納車日

A.4 点検整備担当者

第 3 オーナー

販売代理店

納車日

第 5 オーナー

販売代理店

納車日

第 4 オーナー

販売代理店

納車日

第 6 オーナー

販売代理店

納車日

整備

点検整備表

車両の点検整備は、1年が経過した時点が、走行距離が 15,000 km (9,300 miles) に達した時点のいずれか先に到来した時期に行います。

本車両の点検整備は、以下のスケジュールどおりに実施することをお勧めします。スケジュールは必要に応じて変更が可能です。点検整備スケジュールの変更についての詳細は、アストンマーティン ディーラーにご相談ください。

項目

年次点検整備

以下の項目の状態、動作、調整、固定 / 取り付け状態を点検します。

エンジンおよびトランスミッション マウント システム漏れがないか点検

補機ドライブ ベルト

燃料システム漏れや摩耗がないか点検

冷却システム漏れがないか点検

エアコン システム

ドライブ シャフト

ホイールアーチ ライナーおよびアンダーボディ保護

サスペンションおよびステアリング システム漏れや摩耗がないか点検

ブレーキ システム (パーキング ブレーキを含む) 漏れや摩耗がないか点検

ホイール、タイヤ、タイヤ空気圧モニタ システムタイヤ空気圧を点検し、必要に応じて調整

エキゾースト システム、ヒートシールド、バイパス バルブ漏れがないか点検

ランプ ユニットおよび車両ホーン

フロント ガラスワイパー ブレード / ウォッシュ システム (フルード量の点検と必要に応じた調整を含む) 漏れや摩耗がないか点検

乗員拘束システム (エアバッグ、シートベルト、チャイルドシート取り付け部を含む)

ロック、ラッチおよびヒンジ。テールゲートなどの電動開閉機能の動作点検必要に応じたジョイントの潤滑

インストルメント クラスタと警告灯

項目	間隔
フルード類および消耗品	
エンジン オイルとフィルタの交換	15000 キロメートル
スパーク プラグの交換	64,000 km / 40,000 miles
エンジン冷却水の交換	6 年
エア フィルタの交換	48,000 km / 30,000 miles
花粉フィルタ (オプション) の交換	2 年
ブレーキ フルードの交換	2 年
リア デファレンシャル オイル量の 点検と調整	毎年
リア デファレンシャル オイルの交 換	64,000 km / 40,000 miles

点検整備の記録

車両モデル:

登録番号:

車両識別番号 (VIN):

納車日:

無償納車前点検

サービス アクションの点検: はい / いいえ

未実施のサービス アクションの完了: はい / いいえ

署名:

日付:

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい/いいえ

エアフィルターの交換： はい/いいえ

花粉フィルターの交換： はい/いいえ

スパークプラグの交換： はい/いいえ

耐食性点検： はい/いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい/いいえ

エアフィルターの交換： はい/いいえ

花粉フィルターの交換： はい/いいえ

スパークプラグの交換： はい/いいえ

耐食性点検： はい/いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

点検整備情報

走行距離：

担当テクニシャン：

日付：

次回サービス予定：

正規代理店スタンプ

担当サービスアドバイザー：

サービスアドバイザー署名：

サービス内容

サービスアクションの点検： はい / いいえ

エアフィルターの交換： はい / いいえ

花粉フィルターの交換： はい / いいえ

スパークプラグの交換： はい / いいえ

耐食性点検： はい / いいえ

フルードの交換：

その他のサービス情報

エアバッグ ユニットの交換

アストンマーティンは、製造日から 10 年ごとにすべてのエアバッグユニットを交換することをお勧めしています。作業を適正かつ安全に行うために、交換作業はアストンマーティン代理店にご依頼ください。

エアバッグの交換 10 年目

走行距離：

日付：

署名：

エアバッグの交換 20 年目

走行距離：

日付：

署名：

シートベルト プリテンショナ交換

アストンマーティンは、製造日から 10 年ごとにすべてのシートベルトテンショナーを交換することをお勧めしています。作業を適正かつ安全に行うために、交換作業はアストンマーティン代理店にご依頼ください。

シートベルト プリテンショナの交換 10 年目

走行距離：

日付：

署名：

シートベルト プリテンショナの交換 20 年目

走行距離：

日付：

署名：

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:

ブレーキパッドの交換 - ブレーキディスクの点検

ディスク重量 (フロントアクスル): kg kg

ディスク重量 (リアアクスル): kg kg

走行距離:

署名: 日付:



アストンマーティン保証サービス

車両保証	B.2
保証期間	B.4
修理担当者	B.4
消耗品	B.5
保証対象外の項目	B.6
お客様の責任	B.8
ツーリング時の保証範囲	B.8
アストンマーティン延長保証サービス	B.9
消費者保護法	B.9
オーナーおよび車両の詳細情報	B.10

車両保証

アストンマーティンは、アストンマーティンが製造供給する新車 / 交換車両 / アセンブリについて、通常使用条件下で適用保証期間に材質および製造工程による不具合が発生しないことを保証します。

本契約の保証は、保証期間（以下の定義を参照）およびサービス対象国（以下の定義を参照）において、車両を購入した最初のお客様と所有権を引き継いだお客様に便益を提供するものです。

アストンマーティン車両は、製造「地域」の要件に対応して組立・認可され、当該地域の適用規制を遵守しています。そのため、保証が適用されるのは、当該地域の要件を満たして製造され、供給されたアストンマーティン車両です。

 保証は、車両が製造された地域に対してのみ有効です。車両を他の地域に輸入または輸出した場合は、保証は無効になります。

本オーナーズガイドにおいて、「地域」とは以下のいずれかの領域を指します。

- アメリカ大陸、または
- 英国、欧州諸国、ロシア、ウクライナ、および南アフリカ、または
- 中東、北アフリカ諸国、およびトルコ、または
- アジア太平洋、または
- 中国、または
- アストンマーティン正規代理店が存在しない他の市場

「サービス対象国」とは、(a) アストンマーティン車が購入され、正規代理店や修理店が存在する地域内の国または (b) アストンマーティン社が書面で合意した国のいずれかを意味します。

 タイヤについては、メーカーによる保証が別途提供されます。タイヤメーカーに対する保証請求に関しては、代理店がお客様のお手伝いをいたします。

保証における交換部品

納期前整備時および小売り段階で最初のお客様へ納車された日から3か月以内または5,000 kmのいずれか早い時期における修理には、新品の部品のみが使用されます。これ以降の交換部品には、アストンマーティンの交換プランに従って提供される部品が使用されます。以降の交換部品には、アストンマーティンの交換プランに従った部品が使用されます。

耐食性に関する保証

車体は、腐食による貫通孔が発生しないことが保証されています。いかなる部分も、アストンマーティン車の車体に貫通孔が発生した場合は、該当パネルを修理または交換いたします。

この場合の「貫通」とは、車両のボディパネルに内部から穴が開くことを意味します。

保証期間

各種の保証期間はすべて、車両に対して最初に登録されたお客様への納車日を開始日とします（デモ車両の場合は代理店）。

車両の保証期間は 3 年間（走行距離無制限）です。

車両の耐食性保証期間は 10 年間（走行距離無制限）です。

修理担当者

アストン マーティンが全面的技術支援を提供する正規代理店または認定修理工場が、アストンマーティン車の点検整備および修理設備を提供します。保証期間中に部品やアセンブリに材質や技術上の欠陥が発見され、アストン マーティンがこれを認めた場合、かかる正規代理店および認定修理工場のみが、本保証条項に従って無償で部品やアセンブリの修理、交換、調整を行います。

消耗品

消耗品は一般に、定期点検整備時に交換または調整を行うことが指定されているものと、使用条件に応じて交換または調整が必要とされるものの2つに分けることができます。

定期点検整備項目

以下の品目への車両保証は、定期点検時に交換または調整が必要とされている初回の整備時点まで有効です。点検整備の章には、そうした定期点検整備作業が規定されています。

- ドライブ ベルト
- スパーク プラグ
- オイル、エア、花粉、燃料の各フィルター

 これらの品目に対する保証期間は、車両保証の期限や上限走行距離を超えることはできません。

消耗品

以下の品目は耐用寿命に制限があるか、摩耗や破損の影響を受ける品目です。しかし、これらの品目も当初の1年間または最初の定期点検整備時（どちらか早い方）まで車両保証の対象となります。

- ワイパー ブレード
- ホイールのアラインメントとバランス調整
- 以下の調整（ただし、これらに限りません）：ヘッドランプとヒンジ付きパネルの調整、サスペンションの締め付け、ステアリング ジオメトリの調整、排ガス / 燃料系統の点検。
- 車両キーバッテリー

 ブレーキパッド、ブレーキディスクなど、摩擦により機能する部品の通常摩耗による交換は車両保証の範囲外です。ただし、保証期間内に材料または技術を原因とする製造上の欠陥が見つかった場合は、その例外とします。

消耗品

オイル、不凍液、ブレーキフルード、フロント ガラスウォッシュ液、冷媒などの消耗品の液類の交換や補充は、保証条項に従う修理で使用された場合に限り、車両保証の対象になります。

保証対象外の項目

商用利用

これらの保証は、車両の商用利用に起因する不具合、故障、損傷には適用されません。Aston Martin 社は、車両が商用利用されたことを示す証拠が得られた場合は、メーカー保証を取り消す権利を有しています。商用利用には車両のハイヤーとしてのリース、レンタカーとしての賃貸、カーレンタル アプリやウェブサイト上での仲間同士のリースが含まれますが、それらに限定されません。

車両の保証

以下が直接の原因の修理や交換は、車両保証の**対象外**です。

- 通常の摩耗
- 摩擦部品 (ブレーキパッド、ブレーキディスクなど)
- アストンマーティンの点検整備スケジュールと点検整備指示に従った適切な車両整備を怠った場合

- 保証修理時にアストンマーティン指定の部品やフルード (リテール修理の場合は同等品質の部品) を使用しなかった場合
- 怠慢、事故、洪水、誤用により発生した損傷
- アストンマーティンから許可を受けずに行った車両や部品の改造 (エンジン性能を向上させるための改造を含む)。
- 不適切な燃料の給油や補充 (ガソリンではなくディーゼル燃料を使用した場合など)
- バイオエタノール代替燃料の使用
- オーナーズガイド上でアストンマーティンが承認 / 推奨している以外の燃料を使用して車両に損害が及んだ場合、車両保証は適用されません。
- モータースポーツやトラックイベント (Aston Martin 社主催イベント以外) で使用された車両に発生した不具合
- 車両の標準的な個人利用以外による不具合
- 車両識別番号 (VIN) が変更されているか、取り除かれている車両や、オドメータの値が不正に変更されている車両

塗装表面と腐食に対する保護

以下が直接の原因で必要となった修理や交換に対しては、アストンマーティン社は責任を負いません。

- アストンマーティンの指示通りに定期的なクリーニングを実施し、塗装とボディワークを正しく維持しなかった場合
- アストンマーティン社が管理不能な要因 - 環境面でのリスク (工場からの落下物、嵐による損傷、酸性雨など) や損傷 (石による欠け、かき傷、不適切な洗浄剤の使用など)。
- アストンマーティン社が承認していない素材や方法を用いて実施された事故修理。
- アストンマーティン社の初期仕様から車両を改造した場合。
- 毎年の点検整備時にディーラーが塗装の傷や腐食を点検記録に記載したにもかかわらず、適切な修正を怠った場合。

その他の保証除外項目

- アストンマーティン保証には、保証の対象となる不具合の結果としてお客様 (または他者) が被った時間の損失、不都合、交通手段の喪失、その他の偶発的 / 間接的損害などに対する補償は含まれません。
- アストンマーティン保証は、保険会社またはその他の公的機関によって全損と判定された車両、または事故による損傷の明確な証拠がある車両には適用されません。

お客様の責任

本ハンドブックは、適切な車両の手入れと使用について説明するものです。車の取り扱いや整備を正しく行うことによって、誤用や整備不良の結果発生する高額な修理を回避できるばかりでなく、売却時の価値を維持することができます。

以下の整備はお客様の責任において実施してください。

- オーナーズガイドに記載された整備に従って、正しく車両を取り扱い、確実な点検整備を実施してください。アストンマーティンの指定する点検整備スケジュールに従った整備が実施されていない場合、問題が発生した部品に対する保証は無効になりますのでご注意ください。
- 故障が検知された場合は、速やかに代理店に保証条項に従った修理を依頼してください。
- 定期点検が完了したら、点検整備スケジュールに点検整備を実施した代理店の捺印が押されていることを確認してください。
- メーカーの指示に従った定期的なクリーニングにより、塗装とボディワークを適切に維持してください。
- アストンマーティン正規代理店で、毎年ボディパネルの点検を受け、オーナーズハンドブックの記録を確認してください。

ツーリング時の保証範囲

アストンマーティンの点検整備ネットワークは世界中に広がっています。アストンマーティン正規代理店は、車両保証の規定に従って修理を実施します。通常、お客様は代理店が実施した保証に伴う作業に対して支払いをする必要はありません。

お客様は、新車に対して発行された保証書をご提示ください。これによって、保証を受ける権利が確立され、整備点検の記録を確認することができます。お客様が保証書を提示できない場合には、代理店はアストンマーティンに問い合わせを行います。

アストンマーティン延長保証サービス

アストンマーティンは、車両保証満了後に発生する予期せぬ修理費をカバーし、最高のアフターサービスを提供するため、アストンマーティン延長保証サービスを用意しています。アストンマーティン延長保証サービスでは、専門の技術者が純正パーツを使用して修理を行うため、お客様は安心してご利用いただけます。

アストンマーティン延長保証サービスの内容と利点に関する詳細は、アストンマーティン代理店までお問い合わせください。

消費者保護法

アストンマーティンの保証はメーカーとしての保証であり、販売契約や各国の消費者保護関連法が定める所有者の権利に影響するものではありません。

オーナーおよび車両の詳細情報

氏名 / 名称:

住所:

:

:

:

郵便番号:

署名:

日付:

ディーラー印

ナンバープレートの番号:

車両 ID (VIN) 番号:

エンジン番号:

保証開始日:

車を売却した場合、残存保証は新規オーナーに譲渡できません。

新規オーナーは、次ページの書面を切り離して、新たな詳細を記載したうえで、次の宛て先へ送付してください。

Aston Martin Warranty Department

Aston Martin Lagonda Limited

Banbury Road

Gaydon

Warwick

CV35 0DB

England

保証の譲渡 (2)

車両 ID (VIN) 番号:

オドメータ:

購入日:

名称:

住所:

:

:

郵便番号:

電話番号:

E メールアドレス:

ご署名:

日付:

保証の譲渡 (1)

車両 ID (VIN) 番号:

オドメータ:

購入日:

名称:

住所:

:

:

郵便番号:

電話番号:

E メールアドレス:

ご署名:

日付:



保証の譲渡 (4)

車両 ID (VIN) 番号:

オドメータ:

購入日:

名称:

住所:

:

:

郵便番号:

電話番号:

E メールアドレス:

ご署名:

日付:

保証の譲渡 (3)

車両 ID (VIN) 番号:

オドメータ:

購入日:

名称:

住所:

:

:

郵便番号:

電話番号:

E メールアドレス:

ご署名:

日付:



保証の譲渡 (6)

車両 ID (VIN) 番号:

オドメータ:

購入日:

名称:

住所:

:

:

郵便番号:

電話番号:

E メールアドレス:

ご署名:

日付:

保証の譲渡 (5)

車両 ID (VIN) 番号:

オドメータ:

購入日:

名称:

住所:

:

:

郵便番号:

電話番号:

E メールアドレス:

ご署名:

日付:



緊急サービス

適用条件.....	C.2
ご利用方法.....	C.4
トラブル無料対応のサービス体制.....	C.5
車両の応急処置、牽引.....	C.6
運転者・同乗者の旅行の継続・帰宅の手配.....	C.7
修理後の車両の受け渡し.....	C.7
メッセージサービス.....	C.8
保険会社への連絡.....	C.9
一般的除外事項.....	C.9
一般的注意事項.....	C.10
備考.....	C.11

適用条件

本サービスは、皆様がお車でドライブ中に、故障あるいは事故により走行できなくなった場合、24 時間いつでもご連絡をお受けし、緊急サービス（応急処置やレッカーサービス、あるいは代替交通手段の手配など）をご提供するものです。

万一の場合には、本書にて説明いたします納車後 3 年間（新車保証期間内）のドライブ中のトラブル無料対応をご利用ください。

1. 対象車両
正規販売店（以下、「販売店」）を通して販売された新車のアストンマーティン車。
2. 対象となるお客様
道路運送車両法、道路交通法などに定められた運転方法を遵守し、かつアストンマーティンが発行する取扱説明書に従い対象車両を運転しているお客様（以下、「お客様」）およびその同乗者（車検証上に記載の乗車定員まで）。
3. 適用期間
納車から 3 年間（新車保証期間内）。
4. 車両名義の変更
適用期間内であれば、対象車両の登録名義人が変更となっても、その権利を継承することができます。継承の手続きのため最寄りの販売店にご来店ください。なお、住所が変更の場合にも、最寄りの販売店までご一報下さい。
5. 適用地域
北海道、本州、四国、九州およびアストンマーティンの正規販売店サービス工場もしくは指定整備工場（以下、「アストンマーティンサービス工場」）のある離島。（なお、一部離島でもサービスの一部が行える場合がございますが、アストンマーティンサービス工場のある島または地域までのフェリー代や橋の通行料はご利用の方の負担となります。）

6. 適用される場合

故障等による走行不能

事前に修理・対処を可能にする予兆なく、対象車両がその機械的あるいは電気・電子系統の不具合により、急に走行不能に陥るか、あるいは正常な走行に支障をきたすこと。このような場合には、本書の規定に従い原則として Aston Martin Emergency Service にて本サービスを提供します。

交通事故による走行不能

自動車保険によりカバーされるべき交通事故に伴う走行不能時には、対象車両あるいはお客様の契約保険会社への初期事故連絡を代行し、要請に基づき原則お客様負担にて本サービスを提供します。なお、契約保険会社の指示により、同保険会社へ直接請求する場合があります。

7. 適用されない場合

次のような場合には、本サービスを提供しません。

- 対象車両以外の車両にお客様が乗車の場合。
- 最寄りの販売店あるいはアストンマーティンサービス工場まで自走が可能な場合。
- 鍵を紛失あるいは盗難にあった場合。
- 車両あるいはその付属品が盗難にあった場合。
- 故意・過失による破壊・破損。
- 交通法規、運航管理業務の重大な不履行の場合。
- アストンマーティン発行の保証書に定められた、保証を受けられない事項に該当する場合。

- Aston Martin Emergency Service のコールセンターに連絡せず、独自で処理・手配などを行った場合。

サービス提供の除外項目

- スノータイヤ、タイヤチェーンの着脱、破損、損失
- フロントガラス等のガラス類、サイドミラー等の光学式ディスプレイ、ワイパーなどの破損、損失、劣化
- カーナビ、カーオーディオ類の不具合
- オフロード走行に起因する不具合
- 車両着雪時の救援
- その他、巻末の一般的適用除外条項

サービス費用負担除外項目

- 修理点検整備、消耗品、燃料、油脂類などはお客様の全額実費負担となります。
- 交通事故時もお客様の全額実費負担となります。(連絡の代行を除く。)
- 本書の規定に従い上限を超えた場合、超過分についてはお客様の实費負担となります。
- アストンマーティンサービス工場のない離島でサービスの一部が行えた場合、アストンマーティンサービス工場のある地域までのフェリー代や橋の通行料はお客様の实費負担となります。

ご利用方法

対象車両に万が一不具合が生じたり事故に遭ってしまった場合、次の電話番号にお電話ください。受付は 24 時間

・ 365 日いつでも行っております。

まず、フリーダイヤルにお電話ください。携帯電話および PHS から通じます。

フリーダイヤル

0120-977-866 365 日・ 24 時間対応

お電話の際は、下記のインフォメーションをお伝えください。

お電話をおかけ頂いたお客様のお名前（および対象車両の所有者・使用者のお名前）
--

お客様と次に連絡をつけることが出来る電話番号など

対象車両の所在地

グローブボックス内の車検証に記載された車台番号

対象車両の登録番号（ナンバープレート）

対象車両の車名

対象車両のボディーカラー、など

対象車両の走行距離

当初予定の目的地

現在の状況をご説明ください

後は指示に従ってください

ご注意

お客様、同乗者の方は 0120-977-866 以外（たとえば JAF、レッカー業者等）にご自分で手配をなさらないでください。ご自分で手配された場合、発生した費用の負担をいたしませんのであらかじめご了承ください。
--

トラブル無料対応のサービス体制

365日24時間オペレーション

ドライブ中に、故障や事故などで走行不能になった場合いつでも Aston Martin Emergency Service のコールセンターにお電話ください。

万全の無料サポート体制

1. 現場での修理
現場に急行して応急処置を行います。(鍵の閉じ込み、バッテリーのジャンプ・スタートなど)
2. 車両の牽引
現場での処置では自走が不能な場合、最寄りのアストンマーティンサービス工場への牽引・積載による入庫を行います。
3. 旅行の継続・帰宅の手配
最寄りのアストンマーティンサービス工場へ入庫した際に、長時間走行不能と判断された場合、目的地 (自宅を含む) へ行くもっとも便利な交通手段を手配します。

タクシー

レンタカー

バス

列車

飛行機

宿泊 (交通機関が利用可能になるまで)

4. 修理後の車両受け渡し

入庫アストンマーティンサービス工場でお引取りになるか、あるいは、お近くの販売店でお引取りになるかご選択のうえ、その手配をします。

メッセージサービス

お客様に代わって、旅程の変更などのメッセージをご家族、ご友人、会社などにお取り次します。

保険会社への連絡

事故の場合には、対象車両、あるいはお客様の契約自動車保険会社、および販売店への事故発生連絡を代行します。

車両の応急処置、牽引

1. 現場での応急処置

対象車両の故障時、原則として、まず故障現場での応急処置により走行可能と判断された場合、応急処置の手配を行い、その費用を負担します。

- 1.1 応急処置とは、あくまで 30 分以内の応急的な作業で走行できる程度の修理をいいます。実質的な修理は別途アストンマーティンサービス工場にご用命ください。保証書に基づき対応します。(なお、アストンマーティンサービス工場にて、その後必要な修理がなされないまま再度同原因の故障が起きても、同サービスならびに生じた結果に関しては一切の責任を負わないと同時に、本サービスの再提供をお断りします。)
- 1.2 費用負担は作業者の出勤料、現地での作業代金、および作業者の有料道路料金のみです。30 分を超えた場合やヒューズ等交換部品代・ガソリン等消耗部品代、対象車両の有料高速道路料金などの費用負担は除きます。

2. 車両の牽引

現場での処置が不可能な場合や長時間にわたると判断された場合には、走行不能の発生地点から最寄りのアストンマーティンサービス工場までの牽引の手配を行います。

- 2.1 車両の入庫先は、状況、時間などを判断し、コールセンターが決定します。また、アストンマーティンサービス工場が夜間などで閉まっている場合は、開業時間まで車両保管の手配を行います。
- 2.2 故障等により車両を牽引した場合、牽引車両の出勤・牽引料 (最長 200 km まで)、作業者の有料道路通行料、作業割増料金、車両保管料 (最長 2 日まで) のみ負担します。なお、交通事故による走行不能の場合には、費用はお客様負担となりますが、保険会社への初期連絡ならびに販売店への連絡および最寄りのアストンマーティンサービス工場までの牽引の手配は行います。

運転者・同乗者の旅行の継続・帰宅の手配

対象車両がアストンマーティンサービス工場に牽引入庫された際、急な故障等により対象車両が長時間（12時間以上）走行回復が不可能と判断された場合には、次の内いずれかひとつのサービスを提供します。

搭乗者の自宅までの交通手段◆

あるいは

当初予定の当面の目的地までの交通手段◆

上記に対するご希望に沿うよう、コールセンターが合理的な判断に基づき、お客様に代替交通機関を用意し、下記の条件に従い、その運賃あるいは料金を最高総額 50,000 円まで負担します。

1. 近距離（約 30 km 以内）の移動の場合、バス、地下鉄、タクシーその他適切な交通手段（約 30 km 分の運賃および消費税を上限に負担）
2. 長距離の移動の場合は、特急の普通席や飛行機のエコノミー席（運賃ならびに消費税および駅、空港までの交通費を上限 20,000 円まで負担）
3. 上記の交通手段が適当ではないと判断される場合は、レンタカー₁ など（貸出基本料ならびに消費税および貸出店舗までの交通費を上限 20,000 円まで負担）
4. 上記交通手段が利用不能の場合、利用可能になるまでの宿泊（宿泊料₂、サービス料、消費税および宿泊施設までの交通費を上限 20,000 円まで負担）

修理後の車両の受け渡し

遠隔地のアストンマーティンサービス工場に入庫し、帰宅サービスを受けたお客様に、現地での修理完了時に、次の内いずれかひとつの手配を行います。

入庫アストンマーティンサービス工場での引渡し

あるいは

1. 注 1 レンタカー

同等グレード（排気量）を原則として、搭乗者全員の同乗可能なレンタカーの手配を行い、目的地（駅、空港、自宅を含む）までを負担します。

ただし、運転者がレンタカー会社あるいは代車提供会社の規定する貸出基準を満たす必要があります。また、代車は貸出元への返却を原則とし、別途乗捨料金、延長料金、燃料代、免責保険料、有料道路料金、駐車場料金等個人的な費用はおお客様の負担となります。なお、貸出期限は、走行不能日より最長 3 日間あるいは修理完了までの短い方としますが、目的地へ到着の場合、修理の進捗とは無関係の取扱となりますので、あらかじめご了承ください。

2. 注 2 代替交通機関が利用可能になるまでの宿泊：

宿泊中の個人的な費用（飲食代、クリーニング代、電話代等）や雑費は、宿泊するお客様の負担となります。

自宅最寄りの販売店での引渡し

すなわち、

1. 修理が完了した対象車両を入庫アストンマーティンサービス工場に引き取りに行く場合、往路一名分の切符等の手配を行い、その費用を負担します。
2. 修理が完了した対象車両の自宅最寄りの販売店での受け渡しの場合、車両運送用大型トレーラーで店頭までの搬送の手配を行い、その費用を負担します。

お客様の自宅等まで搬送する場合がありますが、自宅等への運送は、付近道路状況、安全な積降場所、引渡時間、受取確認などの調整がお客様および運送会社双方にとり可能であることが条件となります。

メッセージサービス

必要に応じて、ご家族、ご友人、会社などへの旅程の変更・遅延などについてのメッセージを取り次ぎます。

保険会社への連絡

加入自動車保険への連絡が必要な場合に、初期連絡を代行します。あくまでも電話での聴取・連絡であり、確認作業不能なため、代行による結果についていかなる責任も負いません。同時に、最寄りのアストンマーティンサービス工場および販売店にも連絡します。

一般的除外事項

下記の事項によって生じる事柄に対しては、手配や費用の負担を行いません。

1. 最寄りのアストンマーティンサービス工場まで走行可能な不具合
2. もともと走行可能でなかった状態での使用により発生した不具合、あるいは車両の取扱説明書および保証書を遵守していなかった場合の不具合
 - 2.1 アストンマーティンサービス工場での修理、定期点検が行われていない車両の不具合
 - 2.2 所有者・使用者の日常点検の義務を怠り、整備不良のまま対象車両を運転したことによる不具合
 - 2.3 アストンマーティンが認めていない改造または架装が行われていたことに起因する不具合
3. 日本の法律・諸規則の故意による違反、また現地の条例により禁止されている行動の結果による不具合
 - 3.1 それらに起因する事故および障害、警察による走行制止・禁止（速度超過や酒気帯びなどの重過失の場合）、差押あるいは他の法的走行差止
 - 3.2 日本の法律で定められている運転者の運行管理義務を著しく犯すと判断された場合、または、運転者の事故運行管理責任の範疇であると判断された場合
4. 対象車両の利用者の故意によるもの、または犯罪・攻撃行為への加担による破損、損失あるいは障害
5. 自動車競走またはラリー等スピードや耐久性を競うものへの対象車両の参加ならびにその練習、興行およびそれに起因する不具合
6. 車両あるいはパーツの破壊行為、盗難もしくは盗難未遂、紛失による走行不能

7. 放射線、放射性燃料、毒性物質に起因するあらゆる不具合ならびに被害に対する費用、損害、損失、破損、または、その性質によらず、直接・間接的に結果として生じた損失、賠償責任
8. 異常気象または地震により直接・間接的に生じた破損、損失（台風、集中豪雨、洪水、雹、地滑り、火山の噴火、津波を含む）
9. 部品代、消耗品代、修理代（ただし、本書に明記される負担分を除く）、燃料代、有料道路料金など、走行不能がなくてもお客様が当然支出すると思われる費用
10. 事前の連絡および承認なく、お客様、警察、保険会社、販売店、アストンマーティンサービス工場、その他により手配された場合、およびその場合の本書に明記されたいかなるサービスの費用
11. 走行不能連絡時点における搭乗者（最大、車検証上の定員まで）以外に対する、本書に明記されたいかなるサービス費用

一般的な注意事項

- 必ず、Aston Martin Emergency Service のコールセンターにご連絡ください。
- Aston Martin Emergency Service のコールセンターが、お客様、同乗者の方に代わってすべての手配を行います。
- お客様、同乗者の方は、ご自分で Aston Martin Emergency Service のコールセンター以外（たとえば、JAF、レッカー業者等）に直接手配をなさらないください。
- Aston Martin Emergency Service のコールセンターに連絡せず、独自で手配された場合（JAF や保険会社などの他社、ディーラーで直接手配したなど）には、発生した費用の負担はいたしませんのでご了承下さい。
- Aston Martin Emergency Service のコールセンターの指示に従っていただけない場合は、サービスの手配・費用負担を控えさせていただくことがあります。
- 自動車保険等によりカバーされるべき費用は負担いたしませんのでご了承ください。自損事故時の走行不能に対しても、自動車保険などの規定により手配を差し控えさせて頂くサービスもあります。この場合の費用の負担にも一切応じられません。
- 対象車両を売却される際には、有効期限内（初度登録日より3年間）権利を新しいお客様の方に譲渡することができます。有効期限内に対象車両を取得された新しいお客様の方は、恐れ入りますが最寄りの販売店にご来店の上、名義変更のお手続きをおとりください。
- 転勤や転居などでご連絡先の住所、電話番号などが変更された場合にも、同様に、最寄りの販売店あてにご連絡ください。

備考

高速道路上での注意事項

- 高速道路上で対象車両が走行不能になった場合は、車両を路肩に寄せ、車両の後方に法定の三角表示板を置くなどの事故防止処理を行ってください。
- 車内にとどまらず、路肩などの安全な所へ避難してください。
- つぎに、
 - 携帯電話をお持ちの場合は、0120-977-866 へご連絡ください。
 - 携帯電話をお持ちでない場合は、本線上に 1 km (トンネル内では 500 m) 毎に非常電話が設置されていますので、日本道路公団の道路管理担当官に、状況を説明いただいた後、Aston Martin Emergency Service を呼び出すようご指示ください。その際、必ずフリーダイヤル 0120-977-866 をお伝えください。
- 日本道路公団に連絡した場合は、Aston Martin Emergency Service を指定して、コールセンターを依頼しない限り、Aston Martin Emergency Service のトラブル無料対応は受けられませんのでご了承ください。

- 本書に明記されているトラブル無料対応の限度額には消費税が含まれています。
- 対象車両の利用者が虚偽の申告をしたり、あるいは詐欺的行為が確認された場合は、Aston Martin Emergency Service トラブル無料対応の権利が無効になることがあります。この場合、そのために生じた一切の費用の負担および払い戻しを行いません。
- 電話受付ならびに上記サービスの提供を行うに当たって必要な道路、通信網ならびに通信機器、コンピューターシステム等に地震等の天災、台風洪水等の気象異常、火災等の災害などにより重大な障害が発生し、それらの点検や復旧のために、対応の提供を行いたい意志があってもこれを行うことができない場合には、このような状態が復旧した時点で、ただちに作業を再開することとします。



コンポーネントの認可	D.2
------------------	-----

コンポーネントの認可

レーダー モジュール

フロント レーダー

日本の無線法規

日本の無線法規への準拠本装置は日本国電波法下で承認されているため、改変しないでください (改変すると、承認参照番号が無効になります)。

219-220001

ブラインド スポット アシスト

日本の無線法規

日本の無線法規への準拠本装置は日本国電波法下で承認されているため、改変しないでください (改変すると、承認参照番号が無効になります)。

202-LSI013

索引

A		ウインドウ	3.5
Apple CarPlay	9.7	ウォッシュおよびワイパ	13.13
Audio (オーディオ)	9.2	エアバッグ	3.17
E		助手席側エアバッグ無効化	3.22
ESP (エレクトロニック スタビリティ プログラム) ...	5.36	警告ラベル	3.21
H		エアバッグ ユニットの交換記録	A.28
Homelink ワイヤレス コントロール	2.15	エンジン オイル レベル	13.8
R		エンジン オイル量	
Radio (ラジオ)	9.5	点検	13.9
V		エンジン始動	5.4
Vehicle Settings(車両設定)	12.2	緊急始動	2.13
Z		オーディオ	
アクセサリー ソケット	3.35	Aston Martin オーディオ	9.3
アストンマーティン ディーラー	A.2	Bowers and Wilkins	9.2
アストンマーティン保証サービス	B.1	オート ハイビーム	4.14
アダプティブ クルーズ コントロール	5.16	オーナーによる整備点検	13.5
アダプティブ ダンピング	5.27	お子様の安全	3.20
インストールメント クラスタ		チャイルド シートの取り付け	3.26
ドライバー アシスタンス	4.10	テザー アンカー	3.29
トリップ アシスト	4.11	リア チャイルド シートの取り付け	3.28
ナビゲーション	4.12	乗員分類システム	3.22
ビュー	4.11	ガソリン微粒子フィルタ (GPF)	5.44
メディア	4.12	キーの電池交換	2.4
メニュー	4.9	キャビン収納	3.33
インストールメント ディスプレイ	4.2	キャビン収納部	
		グローブ ボックス	3.33
		緊急サービス	C.1
		ご利用方法	C.4
		フリーダイヤル	C.4

E.2 索引

クイック スタート		シートベルトによる取り付け	3.27
インフォテインメント	1.9	テザーアンカー	3.29
クライメート コントロール	6.2	デフロストとデミスト	
インフォテインメント	6.4	オート	6.6
オート クライメート コントロール	6.5	ドライバァ アテンション アシスト	5.23
スイッチ	6.2	ドライビング システム	
マニュアル クライメート コントロール	6.6	交通 標識アシスト	5.22
クルーズ コントロール	5.14	車線キープ アシスト	5.18
コネクテッド カー		ドライビング ポジション	
利便性機能	8.4	クイック スタート	1.3
車両管理機能	8.5	ドライブ モード	5.10
シート	3.2	GT	5.11
制御部	3.3	Sport	5.12
シートベルト	3.12	Sport+	5.12
フロントシートベルト リマインダー	3.14	Wet (ウェット)	5.11
リアシートベルト リマインダー	3.14	個別設定	5.13
シートベルト プリテンション交換の記録	A.28	トラック デイ	5.2
ジャンプ スタート	13.43	トランスミッション コントロール	
ステアリング コラム	3.8	マニュアル モード	5.9
ステアリング ホイール コントロール	1.6, 4.8	トランスミッションの制御	5.5
ストップ / スタート	5.42	オートマチック	5.6
スマホ充電器	7.8	セミオートマチック モード	5.7
センター コンソール	1.5, 4.7	ナビゲーション	
センター収納ボックス	3.34	地図	10.2
タイヤ	13.17	パーキング ブレーキ	5.34
ウィンタ タイヤ	13.19	パーク アシスト システム	5.45
サマー タイヤ	13.19	360° カメラ システム	5.47
タイヤ修理キット	13.48	ヒューズ	13.20
タイヤ空気圧	13.17	ブラインド スポット アシスト	5.24
タイヤ空気圧モニタ システム (TPMS)	5.40	フルードと容量	13.8
チャイルドシート		フルードの仕様	13.12

フルードの量	13.12	車外	2.8
ブレーキ	5.28	ロック解除と開放	2.6
ABS	5.31	デッキリッド	2.9
カーボン セラミック ブレーキ	5.29	デッキリッドへの緊急アクセス	2.12
パーキング ブレーキ	5.34	乗降サポート	2.9
フットブレーキ	5.28	緊急キー	2.11
ブレーキ警告灯	5.30	車内	2.8
ブレーキディスクの点検	A.29	車外	2.6
フロント ワイパー	1.8, 4.12	ワイヤレス スマホ充電器	7.8
ボンネットの開放	13.6	乗員拘束システム	3.11
ミラー	3.7	エアバッグ	3.17
インナー	3.7	シートベルト	3.12
ドア	3.7	乗降サポート	2.9
メディア		仕様	
サウンド設定	9.9	エンジン	13.37
ラジオ	9.5	サスペンション	13.14
携帯型メディア	9.6	ステアリング	13.14
メモリー機能	3.9	トランスミッション	13.38
ライト	4.13	ブレーキ	13.15
インジケータ	1.8	ボディ	13.14
インテリア ランプ	4.16	可変ラゲージ スペース	3.34
エクステリア ライト	1.9, 4.13	可変速度リミッター	5.15
オート ハイビーム	4.14	工具セット	13.6
ストーク (レバー) スイッチ	1.8	性能	13.38
ハザード ランプ	4.15	情報および警告	4.4
マップ ランプ	4.16	故障車の回収	13.42
レバー スイッチ	4.15	整備	A.5
ランプ類	13.30	点検整備の危険防止	13.3
ロック操作		点検整備の記録	A.6
オート ロック	2.9	燃料	13.50
車内	2.8	盗難防止システム	2.13

E.4 索引

アラーム	2.14	着信	7.4
エンジン イモビライザー	2.14	電話会議	7.7
モーション センサー	2.14	速度リミッター	5.14
牽引保護	2.14	速度制御システム	5.14
緊急キー	2.11	運転技術	5.2
緊急始動	2.13		
自動ロック	2.9		
自動緊急ブレーキ	5.32		
設定			
システム	12.6		
警告			
ブレーキ	5.30		
警告灯	4.4		
車両キー	2.2		
クイック スタート	1.2		
ワンステップ ロック解除	2.3		
緊急キー	2.11		
電池	2.4		
車両制御部	1.5		
車両記録	A.3		
車両設定			
Assistance (アシスタンス)	12.3		
Lights (ライト)	12.4		
Parking (パーキング)	12.6		
Telemetry (テレメトリー)	12.3		
Vehicle (車両)	12.5		
ドライブ モード	12.2		
通話	7.4		
2 件のアクティブ コール	7.6		
アクティブ コール	7.5		
グループ通話	7.6		